

Ⅱ. 国内における視聴覚障害者のテレビ利用状況等に関する現状調査

1. 聴覚障害者アンケート調査結果

1.1 アンケート調査概要

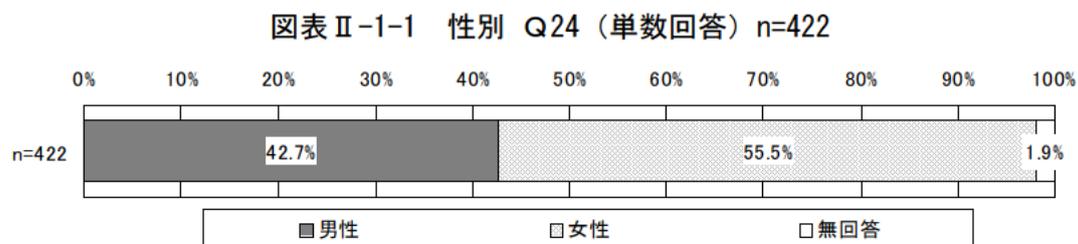
実施期間	2011年8月6日～2011年8月29日																								
対象地域	全国47都道府県																								
配布対象者	聴覚障害者988名（ろうあ者300名、中途失聴・難聴者688名）																								
配布方法	ろうあ者については財団法人全日本ろうあ連盟からの依頼により、各地区のろうあ者団体が、また中途失聴・難聴者については、社団法人全日本難聴者・中途失聴者団体連合会からの依頼により、各地区の難聴者・中途失聴者団体が各回答者に郵便または直接手渡して配布。回答は郵便にて回収。																								
配布内訳	<p>ろうあ者、中途失聴・難聴者の双方において、配布対象者は以下のようになるよう配布した。</p> <p>■男女比</p> <p>「平成18年身体障害児・者実態調査結果」のデータを参考とし、ほぼ半数ずつのため、1対1とした。</p> <p>※性別 聴覚障害者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>総数</th> <th>男性</th> <th>女性</th> <th>不詳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>291,800</td> <td>132,000</td> <td>153,700</td> <td>6,100</td> </tr> <tr> <td>100.0%</td> <td>45.2%</td> <td>52.7%</td> <td>2.1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>（資料）厚生労働省「平成18年身体障害児・者実態調査結果」より概算値を作成</p> <p>■年齢構成</p> <p>年齢は20歳以上を対象とした。</p> <p>年齢構成は、「平成18年身体障害児・者実態調査結果」のデータを参考とし、「20～49歳」を15%程度、「50～64歳」を20%程度、「65歳以上」を65%程度で割り付けた。年齢の低い層の比率が低いため、「20～49歳」「50～64歳」の割合を実際よりも若干高めに設定した。</p> <p>※年代別 聴覚・言語障害者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>計</th> <th>20～49歳</th> <th>50～64歳</th> <th>65歳以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>334,000</td> <td>45,000</td> <td>57,000</td> <td>232,000</td> </tr> <tr> <td>100.0%</td> <td>13.5%</td> <td>17.1%</td> <td>69.5%</td> </tr> </tbody> </table> <p>（資料）厚生労働省「平成18年身体障害児・者実態調査結果」より概算値を作成</p>	総数	男性	女性	不詳	291,800	132,000	153,700	6,100	100.0%	45.2%	52.7%	2.1%	計	20～49歳	50～64歳	65歳以上	334,000	45,000	57,000	232,000	100.0%	13.5%	17.1%	69.5%
総数	男性	女性	不詳																						
291,800	132,000	153,700	6,100																						
100.0%	45.2%	52.7%	2.1%																						
計	20～49歳	50～64歳	65歳以上																						
334,000	45,000	57,000	232,000																						
100.0%	13.5%	17.1%	69.5%																						
有効回収数	422件（42.7%）																								

1.2 調査結果

1.2.1 回答者属性

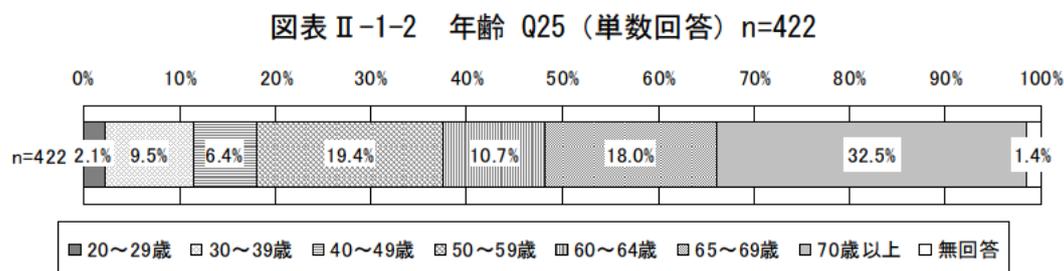
(1) 性別

性別について尋ねたところ、42.7%が男性、55.5%が女性である。



(2) 年齢

年齢について尋ねたところ、「20～29歳」「30～39歳」「40～49歳」を合わせた20～49歳が18.0%、「50～59歳」「60～64歳」を合わせた50～64歳が30.1%、「65～69歳」「70歳以上」を合わせた65歳以上が50.5%となっている。



(3) 居住地

居住している都道府県別の回収状況は下表のとおりである。

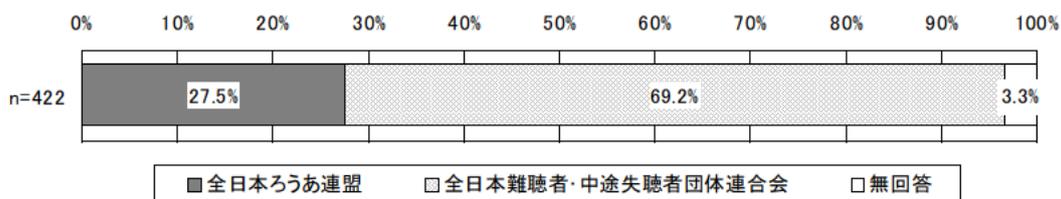
図表Ⅱ 1 3 居住地 Q26 (単数回答) n=422

都道府県名	件数	%
北海道	11	2.6
青森県	5	1.2
岩手県	4	0.9
宮城県	0	0.0
秋田県	5	1.2
山形県	15	3.6
福島県	12	2.8
茨城県	12	2.8
栃木県	7	1.7
群馬県	9	2.1
埼玉県	13	3.1
千葉県	13	3.1
東京都	34	8.1
神奈川県	1	0.2
新潟県	15	3.6
富山県	2	0.5
石川県	8	1.9
福井県	5	1.2
山梨県	0	0.0
長野県	6	1.4
岐阜県	9	2.1
静岡県	14	3.3
愛知県	8	1.9
三重県	10	2.4
滋賀県	2	0.5
京都府	8	1.9
大阪府	16	3.8
兵庫県	11	2.6
奈良県	11	2.6
和歌山県	9	2.1
鳥取県	3	0.7
島根県	11	2.6
岡山県	6	1.4
広島県	11	2.6
山口県	5	1.2
徳島県	5	1.2
香川県	0	0.0
愛媛県	8	1.9
高知県	11	2.6
福岡県	2	0.5
佐賀県	9	2.1
長崎県	10	2.4
熊本県	13	3.1
大分県	9	2.1
宮崎県	8	1.9
鹿児島県	7	1.7
沖縄県	3	0.7
無回答	26	6.2
全体	422	100.0

(4) 所属団体

所属団体について尋ねたところ、「全日本ろうあ連盟」が 27.5%、「全日本難聴者・中途失聴者団体連合会」が 69.2%となっている。

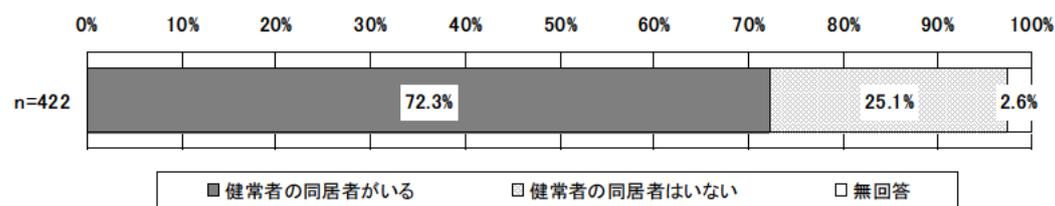
図表Ⅱ-1-4 所属団体 Q27（単数回答）n=422



(5) 同居している健常者の有無

同居している健常者の有無について尋ねたところ、「健常者の同居者がいる」が 72.3%、「同居の健常者はいない」が 25.1%となっている。

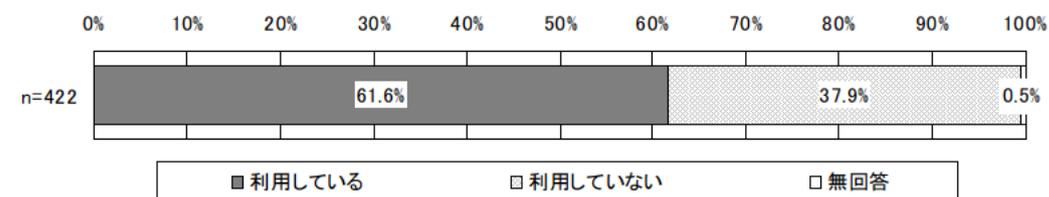
図表Ⅱ-1-5 同居している健常者の有無 Q28（単数回答）n=422



(6) インターネットの利用状況

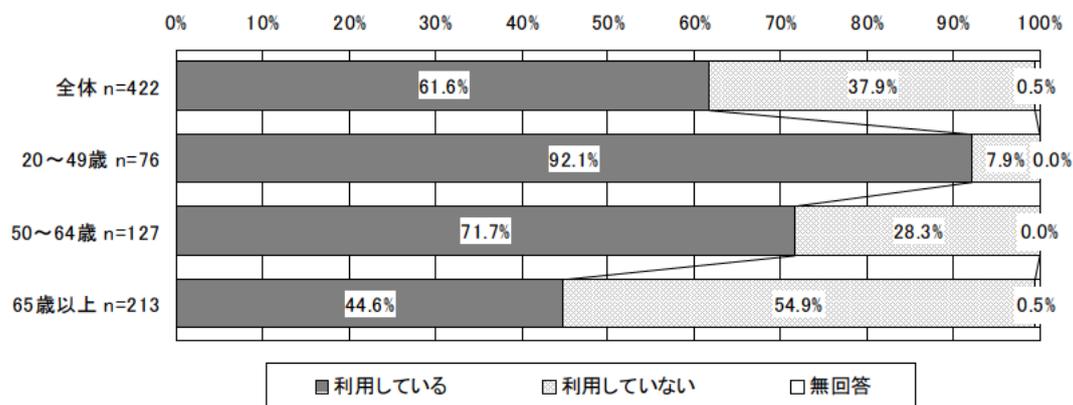
インターネットの利用状況について尋ねたところ、「利用している」が 61.6%、「利用していない」が 37.9%となっている。

図表Ⅱ-1-6 インターネットの利用状況 Q29（単数回答）n=422



年齢別にインターネットの利用状況をみると、「20～49歳」は「利用している」が92.1%と9割以上を占めている一方、「50～64歳」は71.7%、「65歳以上」は44.6%に留まっている。

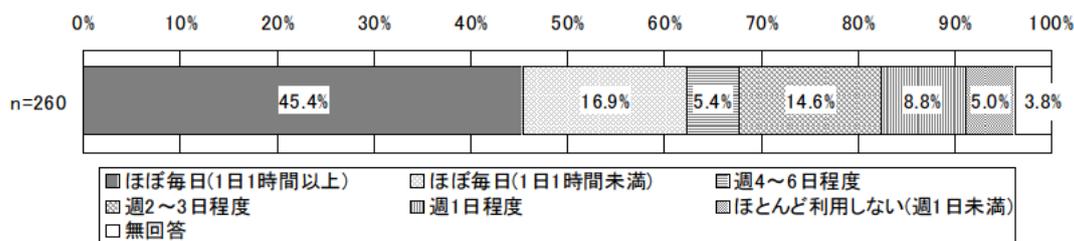
図表Ⅱ-1-7 年齢別 インターネットの利用状況 Q29（単数回答）n=422



(7) インターネットの利用頻度

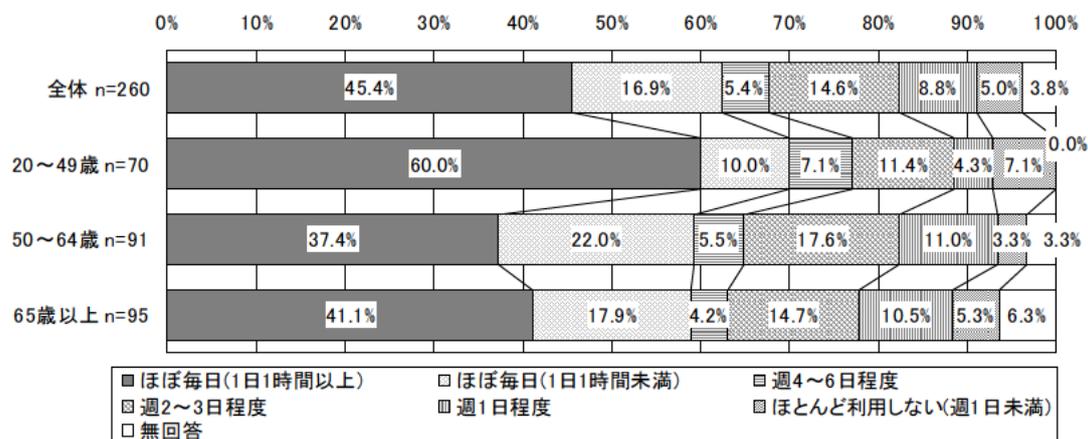
インターネットを利用している人について、インターネットの利用頻度について尋ねたところ、「ほぼ毎日（1日1時間以上）」が45.4%で最も割合が高く、ついで「ほぼ毎日（1日1時間未満）」が16.9%で、ほぼ毎日利用している人が6割強を占めている。

図表Ⅱ-1-8 インターネットの利用頻度 Q29-1（単数回答）n=260



インターネットを利用している人について、年齢別にインターネットの利用頻度をみると、他と比較して「20～49歳」は「ほぼ毎日（1日1時間以上）」の割合が高く、60.0%を占めている。

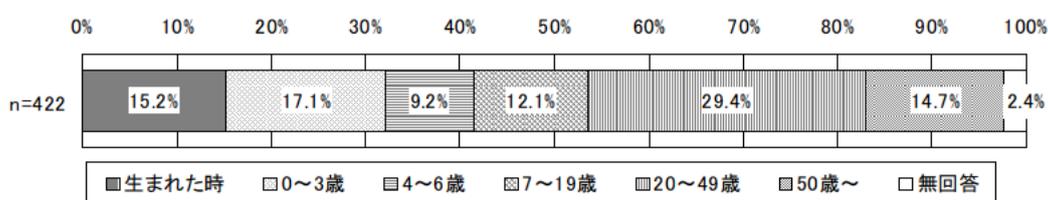
図表Ⅱ-1-9 年齢別 インターネットの利用頻度 Q29-1（単数回答）n=260



(8) 失聴年齢

いつ頃から聞こえにくくなったかについて尋ねたところ、「20～49歳」が29.4%で最も割合が高く、ついで「0～3歳」が17.1%、「生まれた時」が15.2%、「50歳～」が14.7%が続いている。

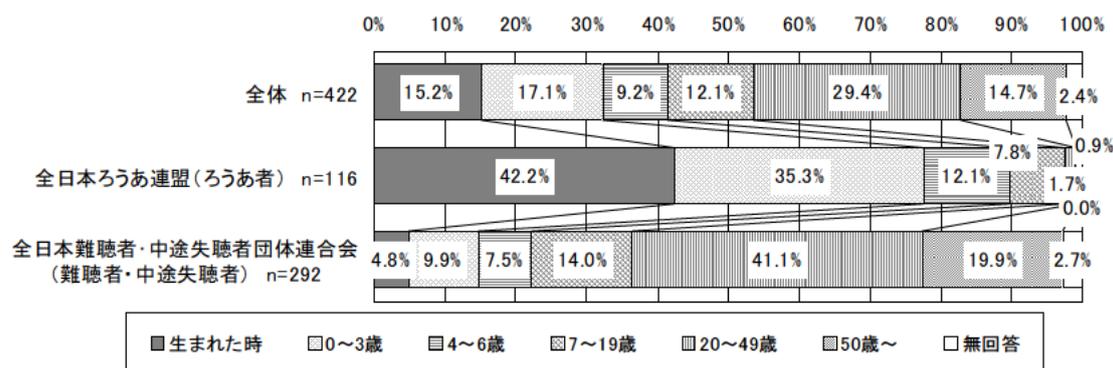
図表Ⅱ-1-10 失聴年齢 Q30（単数回答）n=422



団体別（障害別）に、いつ頃から聞こえにくくなったかをみると、全日本ろうあ連盟（ろうあ者）は、「生まれたとき」が42.2%で最も割合が高く、ついで「0～3歳」が35.3%を占めている。

全日本難聴者・中途失聴者団体連合会（難聴者・中途失聴者）は、「20～49歳」が41.1%、「50歳～」が19.9%を占めている。

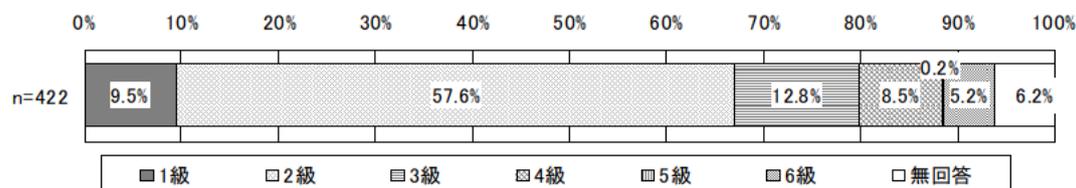
図表Ⅱ-1-11 団体別 失聴年齢 Q30（単数回答）



(9) 障害の等級

聴覚障害の等級について尋ねたところ、「1級」「2級」が合わせて67.1%を占めている。

図表Ⅱ-1-12 障害の等級 Q31（数値回答） n=422

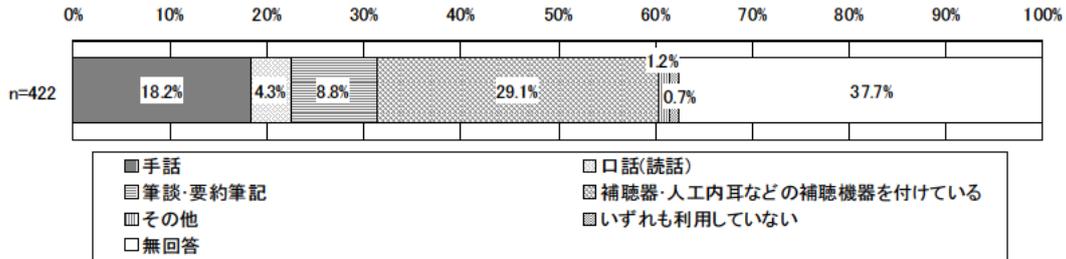


※聴覚障害の場合、「2級」が最も重い等級で両耳の聴力レベルがどちらも100dB以上（両耳全ろう）。他の障害を併せ持つ場合などは1級に認定されることがある。

(10) コミュニケーション手段

普段、どのような方法でコミュニケーションをとっているかについて尋ねたところ、「補聴器・人工内耳などの補聴機器を付けている」が 29.1%で最も割合が高く、ついで「手話」が 18.2%、「筆談・要約筆記」が 8.8%で続いている。

図表Ⅱ-1-13 コミュニケーション手段 Q32 (単数回答) n=422

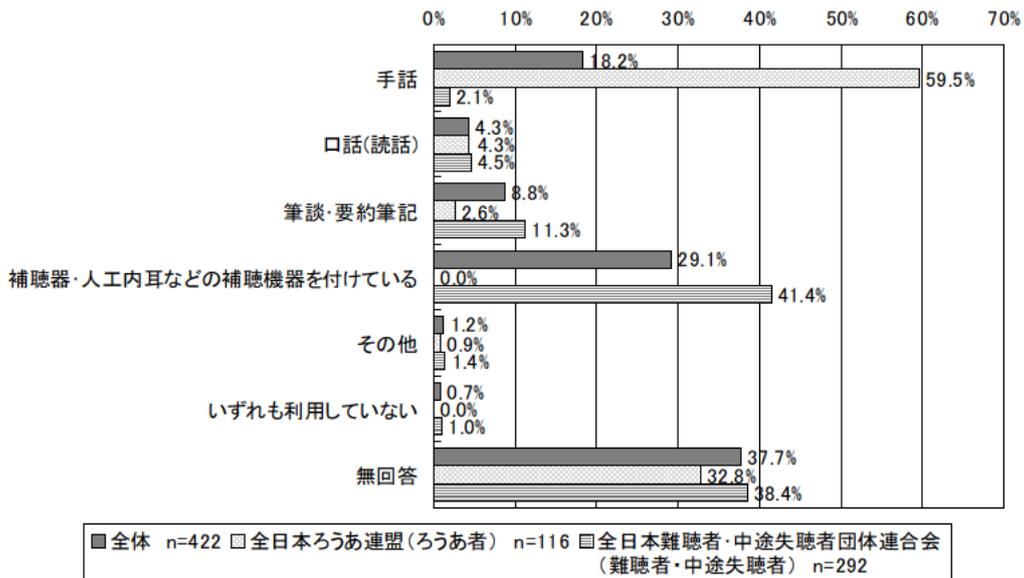


※単数回答の設問のため、複数回答したものは「無回答」としている。

団体別（障害別）に、普段、どのような方法でコミュニケーションをとっているかをみると、全日本ろうあ連盟（ろうあ者）は、「手話」が 59.5%を占めている。

全日本難聴者・中途失聴者団体連合会（難聴者・中途失聴者）は、「補聴器・人工内耳などの補聴器気を付けている」が 41.4%を占めている。

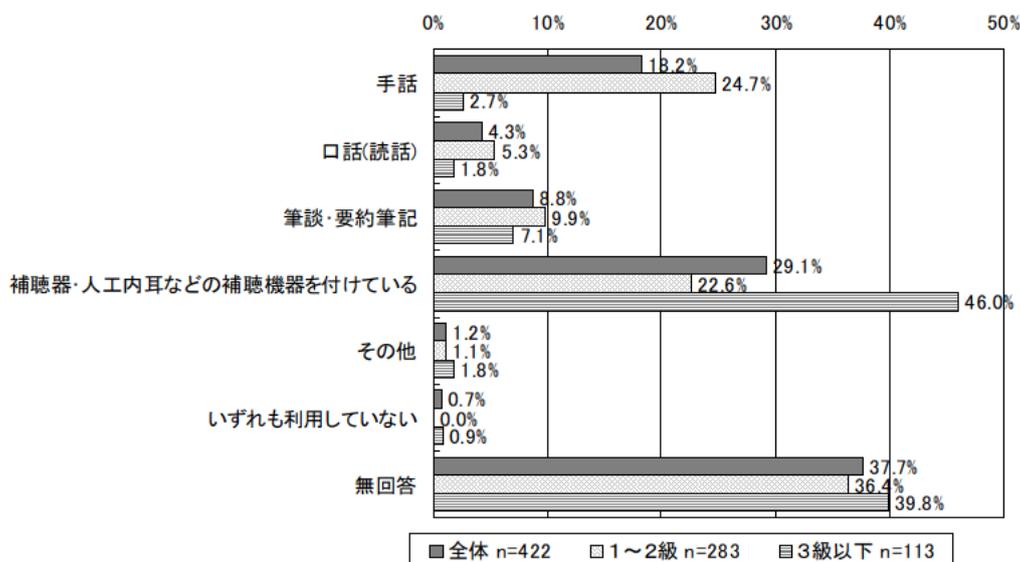
図表Ⅱ-1-14 団体別 コミュニケーション手段 Q32 (単数回答)



※単数回答の設問のため、複数回答したものは「無回答」としている。

障害程度別に、普段、どのような方法でコミュニケーションをとっているかをみると、他と比較して、「1～2級」は「手話」(24.7%)、「3級以下」は「補聴器・人工内耳などの補聴機器を付けている」(46.0%)の割合が高くなっている。

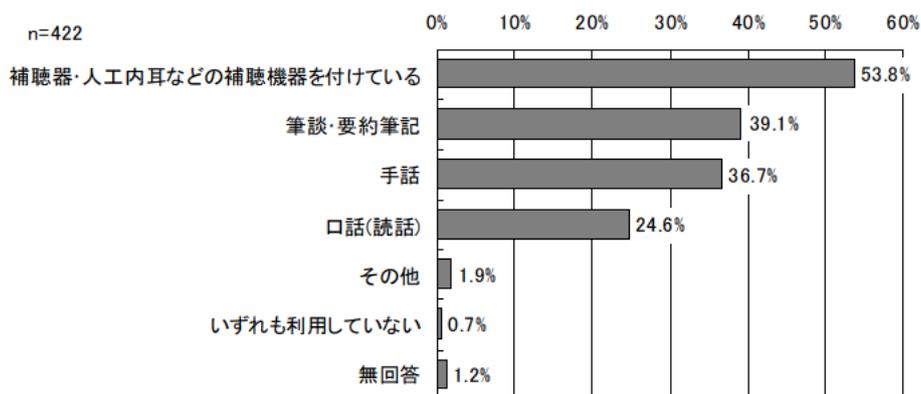
図表Ⅱ-1-15 障害程度別 コミュニケーション手段 Q32 (単数回答)



※単数回答の設問のため、複数回答したものは「無回答」としている。

単数回答のところ、複数選択した人が多かったため、参考値として複数回答での集計を行ったものをみると、「補聴器・人工内耳などの補聴機器を付けている」が53.8%で最も割合が高く、ついで「筆談・要約筆記」が39.1%、「手話」が36.7%、「口話(読話)」が24.6%で続いている。

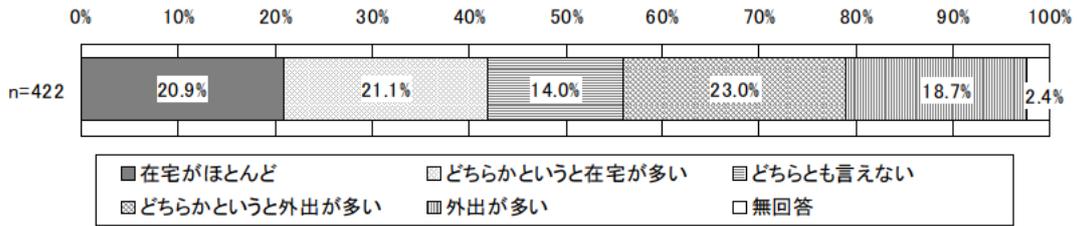
図表Ⅱ-1-16 コミュニケーション手段 Q32 (複数回答) n=422



(11) 普段の生活様式

普段の生活様式が在宅中心か外出中心かについて尋ねたところ、「在宅がほとんど」(20.9%)、「どちらかという在宅が多い」(21.1%)を合わせた在宅が多い人が42.0%、「外出が多い」(18.7%)、「どちらかという外出が多い」(23.0%)を合わせた外出が多い人が41.7%となっており、それぞれ約4割で、ほぼ同割合となっている。

図表Ⅱ-1-17 普段の生活様式 Q33 (単数回答) n=422

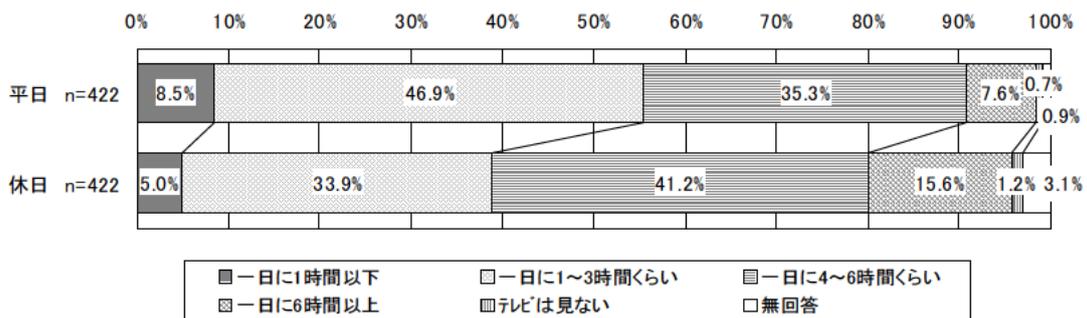


1.2.2 一般的なテレビ番組及び字幕・手話番組の利用状況について

(1) 普段のテレビ利用状況

平均すると、一日にどれくらいテレビを見ているかについて尋ねたところ、平日は、「一日に1～3時間くらい」が46.9%で最も割合が高く、ついで「一日に4～6時間くらい」が35.3%となっている。休日は「一日に4～6時間くらい」が41.2%で最も割合が高く、ついで「一日に1～3時間くらい」が33.9%となっている。

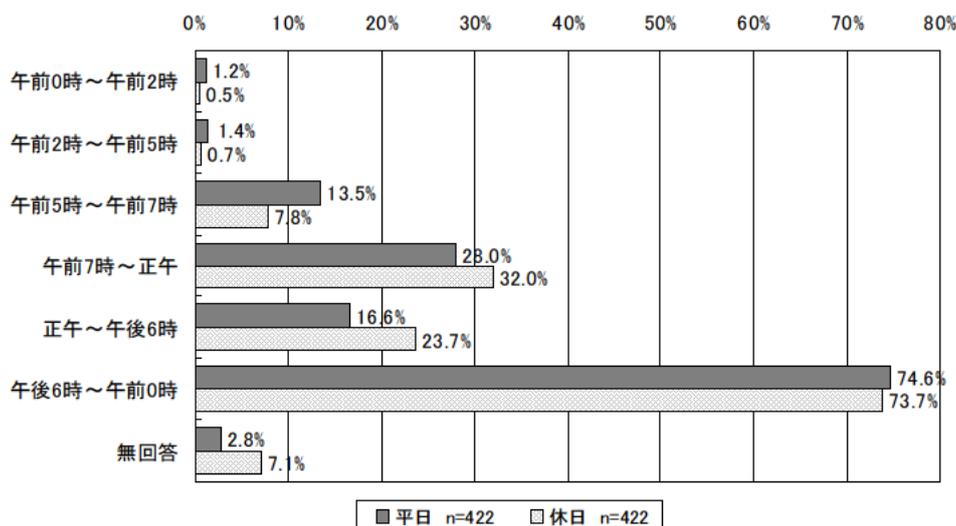
図表Ⅱ-1-18 普段のテレビ利用状況 Q1 (単数回答) n=422



(2) テレビをよく見る時間帯

1日のうちで、テレビをよく見る時間帯について尋ねたところ、平日、休日とも「午後6時～午前0時」の割合が高く、平日が74.6%、休日が73.7%を占めている。

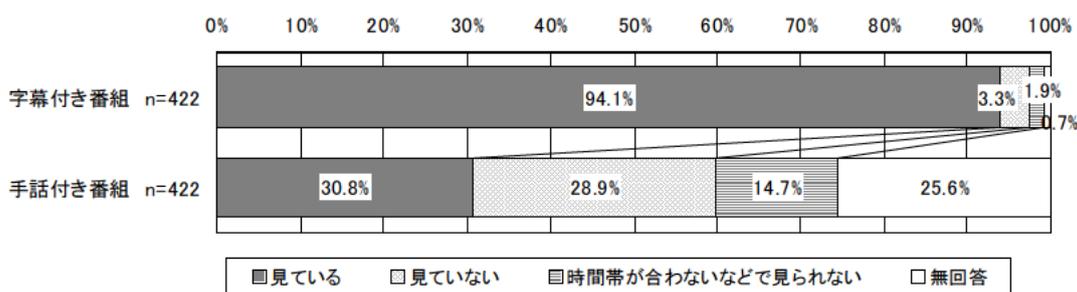
図表Ⅱ-1-19 テレビをよく見る時間帯 Q2（複数回答） n=422



(3) 字幕付き番組と手話付き番組の利用状況

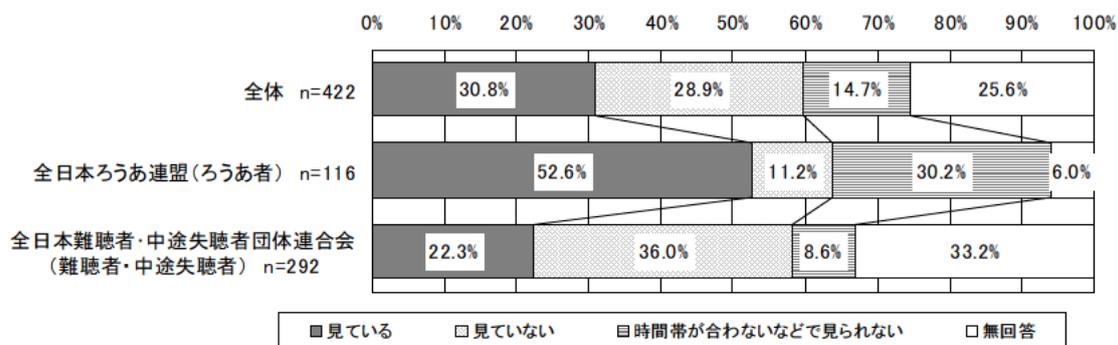
字幕付き番組、手話付き番組の利用状況について尋ねたところ、「字幕付き番組」は94.1%が「見ている」と回答している。「手話付き番組」は「見ている」が30.8%である一方、「時間帯が合わないなどで見られない」も14.7%を占めている。

図表Ⅱ-1-20 字幕付き番組と手話付き番組の利用状況 Q3（単数回答） n=422



団体別（障害別）に、手話付き番組の利用状況をみると、全日本ろうあ連盟（ろうあ者）の52.6%が「見ている」、30.2%が「時間帯が合わないなどで見られない」と回答している。

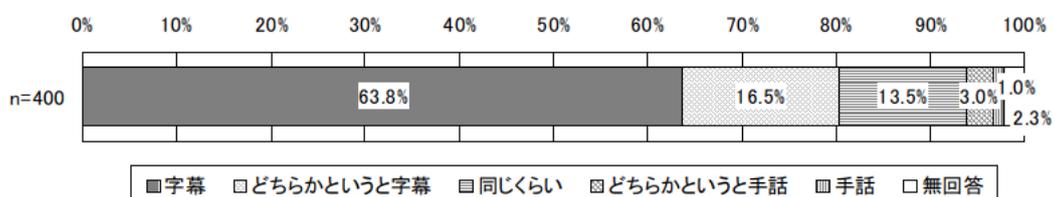
図表Ⅱ-1-21 団体別 手話付き番組の利用状況 Q3（単数回答）n=422



(4) 字幕と手話の利用意向

(3)で字幕付き番組や手話付き番組のいずれかを見ていると回答した人に対して、字幕と手話、どちらでテレビを見たいかについて尋ねたところ、「字幕」が63.8%、「どちらかという字幕」が16.5%を占めている。

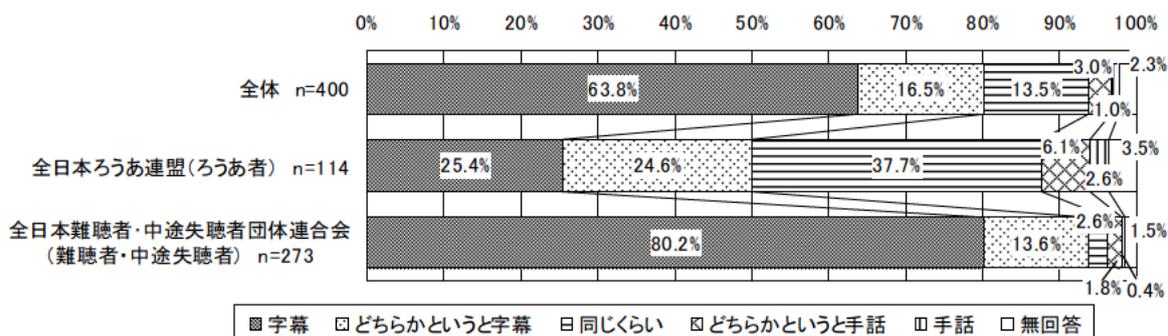
図表Ⅱ-1-22 字幕と手話の利用意向 Q3-1（単数回答）n=400



(3)で字幕付き番組や手話付き番組のいずれかを見ていると回答した人に対して、団体別（障害別）に、字幕と手話、どちらでテレビをみたいかをみると、全日本ろうあ連盟（ろうあ者）は、「同じくらい」が37.7%を占めている。

全日本難聴者・中途失聴者団体連合会（難聴者・中途失聴者）は、「字幕」（80.2%）、「どちらかという字幕」（13.6%）を合わせた93.8%が「字幕」と回答している。

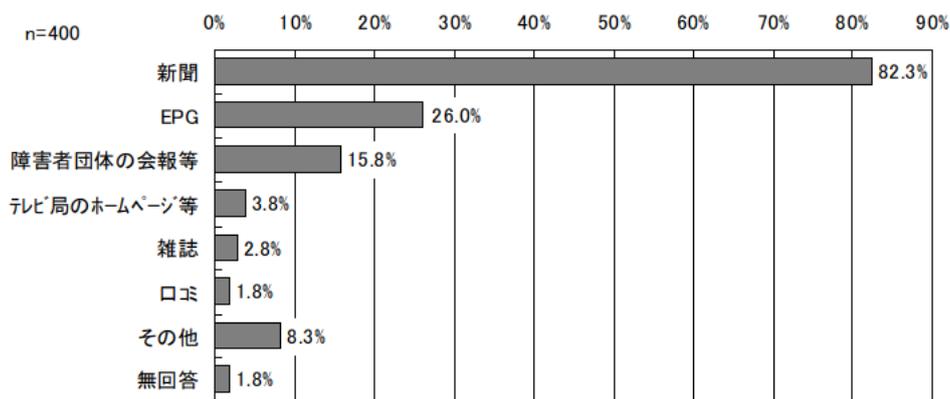
図表Ⅱ 1 23 団体別 字幕と手話の利用意向 Q3 1（単数回答）n=400



(5) 字幕付き番組や手話付き番組のスケジュールの入手方法

字幕付き番組や手話付き番組のいずれかを見ていると回答した人に対して、字幕付き番組や手話付き番組のスケジュールの入手方法について尋ねたところ、「新聞」が82.3%で最も割合が高く、ついで「EPG」が26.0%、「障害者団体の会報等」が15.8%で続いている。

図表Ⅱ 1 24 字幕付き番組や手話付き番組のスケジュールの入手方法 Q3 2（複数回答）n=400



(6) 字幕付き番組や手話付き番組のスケジュールの入手に関する課題

字幕付き番組や手話付き番組のスケジュール入手に関する課題について尋ねたところ、以下の意見があげられている。

図表Ⅱ 1 25 字幕付き番組や手話付き番組のスケジュールの入手に関する課題 Q3 3 (自由記入)

■番組表への記載方法、表示方法

- ・番組欄に「字」の表示記号が示されれば参考になる。
- ・新聞番組表に「字」と必ず入れて欲しい。
- ・「字」 この文字を太字にしてもらえるとよく分るが。
- ・「字幕付」というのがよく分かる表示（太字とか）として欲しい（新聞などの表示を含む）。
- ・テレビに出る番組表の「文」が解りにくい。
- ・新聞に「文」が付いていない番組もあるので、必ず付けて欲しい。
- ・字幕が付く番組は、できれば番組名を太字にして欲しい。
- ・字幕付きでテレビを見るので、特に字幕付に特化したスケジュールを見たい。
- ・新聞のテレビ案内欄には「字幕」と必ず入れて欲しい。

■テレビ画面への表示

- ・番組案内などの放送時、「字幕」「手話」付きと画面に出して欲しい。
- ・テレビの画面の片隅に字幕付き手話付きの合図があるとよい。

■デ タ放送、EPGでの情報提供

- ・今の媒体で十分だが、もっと欲を言えば、TVの機能に字幕付き、または、手話付き番組リストが出せるようにして欲しい。
- ・デジタルテレビの番組表に字幕のマークが付いているものと付いていないものがあるので、はっきりと表示して欲しい。
- ・EPGに関して字幕付きの記入は普及しているが統一されていない。

■Web等での情報提供

- ・話題作などはツイッターでの情報発信も。Facebookに字幕・手話番組のサイトがあるとよいかも。
- ・携帯やスマートフォンからでもスケジュールが分かりやすく出るとよい。
- ・携帯でも見られるようになればいいかなと思う（字幕付きということが）。

■放送の変更等への対応

- ・新聞に一週間分の番組表が毎週入るので、これでチェック。録画撮りの際にも、その都度、分かりやすい表示有。これで充分。ただし、予め「字」と表示あって、楽しみに待っていたのに、当日になってから稀に字幕が入らなかったことも。また、入っていても途中から中断し、結局後半は字幕なしで内容もよく分からず、ドラマが楽しめなかったことも。
- ・字幕と書いてあっても、字幕でないものがある。また、その逆もある。全てに字幕を付けて欲しい。
- ・事前に「字」の表示があっても局側の都合で付かなくなった時など、がっかりする度

合いが高いので、もう少し早く分かる方法はないか、できれば検討して欲しい。

■その他

- ・字幕付き番組のスケジュールの入手はできるが、手話付き番組のスケジュールの入手はできない（分かりにくい）。
- ・番組もスケジュールも新聞以外では入手の方法さえ知らない。情報も分からない。
- ・老人のひとり暮らしでも分かりやすいように。
- ・番組紹介や予告の中で字幕付き、手話付きと予め紹介して欲しい。
- ・新聞の番組で十分。情報の氾濫はかえって判断に戸惑いを感じる。
- ・以前はNHKに問い合わせして、字幕放送の時間を教えていただいたが、毎月請求するのは面倒くさいからやめた。
- ・TVガイドを購入して見ているので、課題や要望は別れない。
- ・全てに字幕が付くのが望ましいと思う。スケジュールを入手しないといけないというところがすでに課題。
- ・地デジになってから、字幕放送に設定しているのだから、字幕番組を見ると、字幕放送がすぐに見られて便利。

(7) 字幕付き番組や手話付き番組を見ていない理由

字幕付き番組や手話付き番組を見ていない人について、その理由について尋ねたところ、以下の意見があげられている。

図表Ⅱ 1 26 字幕付き番組や手話付き番組を見ていない理由 Q3 5（自由記入）

■見たい番組や時間帯に字幕や手話が付いていないため

- ・手話付き番組の時間帯は見ていない（時間帯が合わない）。
- ・見られる時間帯が限られている（手話付き番組）。
- ・もう少し時間帯を考えて欲しい。見たい番組に字幕がない。
- ・見たい番組ではないし、時間帯が合わない。

■いつ放送されているか分からないため

- ・いつ、何時に出てくるか分からない。突然出たりする時もある。
- ・番組のプログラム（スケジュール）が無くては、何が放映されているのかも分からない。
- ・字幕付き番組が分からない。
- ・手話付き番組は何時からか、内容は何か情報が分からない。

■読み取る負担が大きいため

- ・ドラマに字幕が付いていても、読み取りするだけで、目が疲れるし楽しめない。手話でも100%通じないから不便。
- ・手話の読み取りが難しい（早いから）。
- ・手話は通訳者によって読み取りが難しい。

■字幕が見にくいため

- ・字幕が見にくい。字幕の位置。

- ・字幕が大事な画面にかぶる。生放送でもないのに編集が雑。利用者のことを全く考えていない。取りあえず付けておけばいい、という感じ。以前、地震関連のテレビで手話通訳が出た瞬間、字幕が切られた時は本当に頭にきた。

■手話が分からないため

- ・手話は少ししか分からないので。スピードの早い放送の手話を読み取ることは不可能。
- ・手話はまだ日常会話くらいしか覚えていないので、手話を見ていると、画面を見る余裕がなくなるため。
- ・それぞれの手話があるので、分かりにくいところもある。もう少し大きく表現すれば、分かりやすくなる（分かりやすい方法）。
- ・手話があまり理解できないことと、見ていると疲れる。

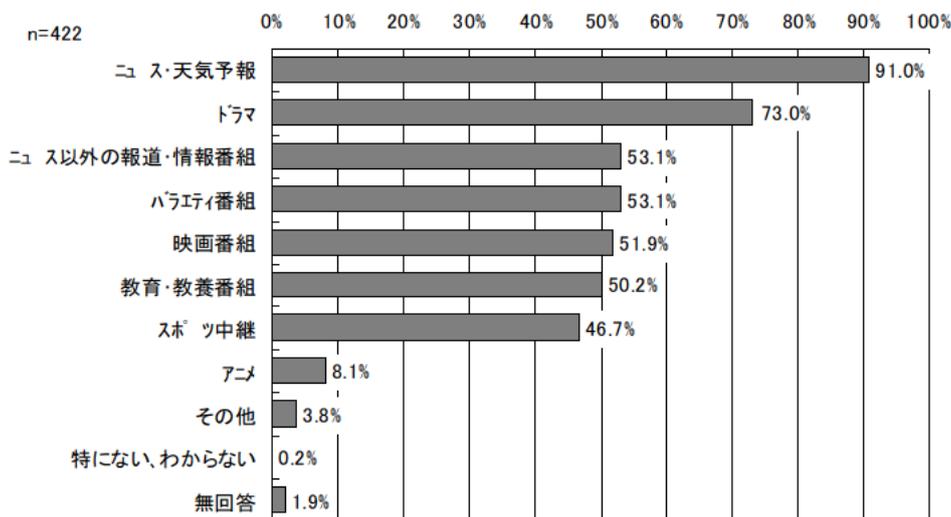
■その他

- ・手話はニュアンス的に物足りない。
- ・見たいが操作が分からない。拡声器（集音機）を使っている。

(8) 普段よく見るテレビ番組のジャンル

普段よく見るテレビ番組のジャンルについて尋ねたところ、「ニュース・天気予報」が91.0%で最も割合が高く、ついで「ドラマ」が73.0%、「ニュース以外の報道・情報番組」「バラエティ番組」が53.1%、「映画番組」が51.9%で続いている。

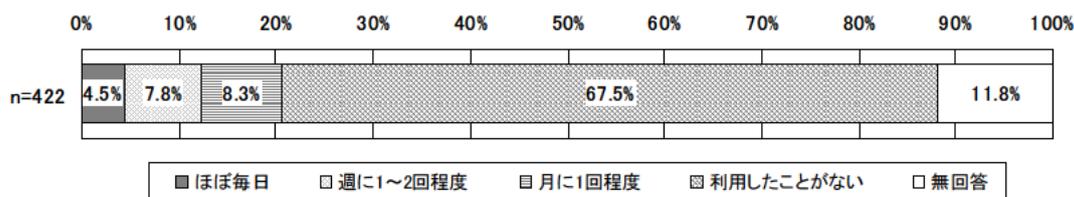
図表Ⅱ 1 27 普段よく見るテレビ番組のジャンル Q4（複数回答）n=422



(9) インターネットを通じて配信される日本のテレビ局のテレビ番組の利用状況

インターネットを通じて配信される日本のテレビ局のテレビ番組（テレビで過去に放映した番組）を、どの程度利用しているかについて尋ねたところ、「利用したことがない」が67.5%を占めている。

図表Ⅱ-1-28 インターネットを通じて配信される日本のテレビ局のテレビ番組の利用状況 Q5（単数回答）n=422

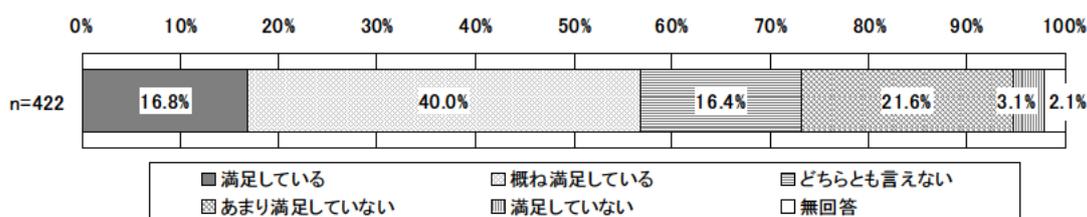


1.2.3 字幕付き番組・手話付き番組、文字情報等の見やすさ・分かりやすさ等について

(1) 字幕付き番組における字幕の見やすさへの満足度

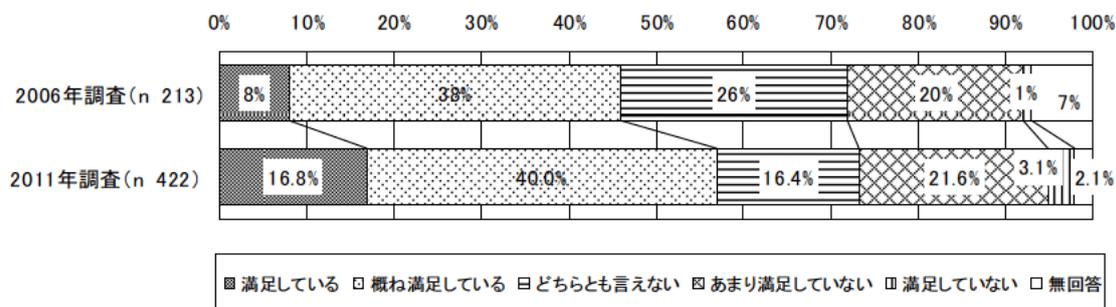
現在の字幕付き番組における字幕の見やすさ（字の大きさ、明るさ、位置等）への満足度について尋ねたところ、「満足している」（16.8%）、「概ね満足している」（40.0%）を合わせた56.8%が満足していると回答している一方、「どちらとも言えない」が16.4%で、「満足していない」（3.1%）と「あまり満足していない」（21.6%）を合わせた24.7%が満足していないと回答している。

図表Ⅱ-1-29 字幕付き番組における字幕の見やすさへの満足度 Q6（単数回答）n=422



2006年2月に実施した調査*と比較すると、字幕の見やすさについて「満足」「概ね満足」との回答は2006年時点の46%から2011年時点では56.8%に増加している。

図表Ⅱ 1 30 字幕付き番組における字幕の見やすさへの満足度の2006年調査との比較



※株式会社三菱総合研究所「国内外における視聴覚障害者向け放送に関する調査研究報告書」2006年3月24日 以下同。

現在の字幕付き番組における字幕の見やすさ（字の大きさ、明るさ、位置等）について、「あまり満足していない」「満足していない」と回答した人に満足していない理由について尋ねたところ、以下の意見があげられている。

図表Ⅱ 1 31 現在の字幕付き番組における字幕の見やすさ（字の大きさ、明るさ、位置等）について満足していない理由 Q6 1（単数回答）

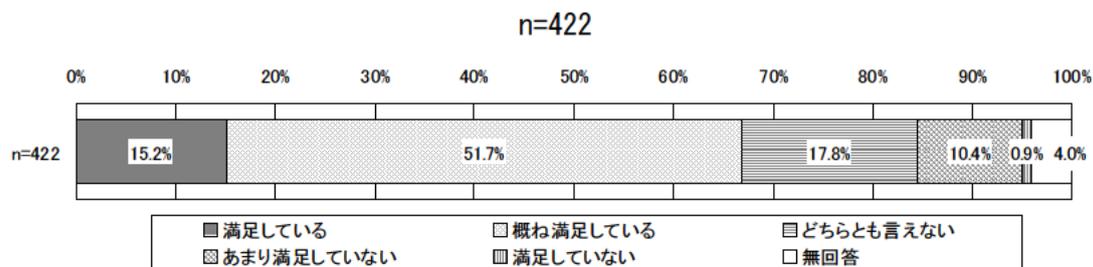
- 字幕の表示が遅い、画面とずれている
 - ・ニュース番組などで、同時通訳の場合、字幕表示がかなり遅い。
 - ・生放送でないのに字幕の表示が遅れることがある。
 - ・画面と文字情報がずれ過ぎている。
 - ・映像と字幕が同時進行しない。
- 字幕が見にくい
 - ・字幕の位置が画面中央にあったり番組のテロップなどと重なったりして見にくいことがある。
 - ・テロップと重なって見にくい。
 - ・テロップに字幕が重なることが多く、テロップが見にくいし、画面に合わせて色を変えて欲しい。
 - ・字が小さい。色が付いているのに見にくいものがある。
 - ・字がうすく。遅い。
 - ・字の色がグリーンの時、見にくい。白・黄は良い。
 - ・緑の字幕は読みにくい、見にくい。
 - ・字の大きさは適当だが、少し細い。もう少し太くした方が見やすいのでは。
 - ・位置がバラバラで見にくい。
- 字幕で画面が見にくい

- ・テロップにかからないよう、字幕を流しているため、人物の顔に字幕が付いて、肝心の画面が見えない場合が多い。
 - ・字幕付きについて見やすい番組もあるが、字幕が画面の中央に2段にして付けてある時は非常に見にくい。
 - ・字幕で出演者の顔が隠れたりして見にくい。TV機能で、画面を小さくし、画面外に字幕表示する様に設定している。
 - ・字が大きすぎて、画面いっぱい埋まる。映画と同じ下に自由に設定してほしい。
 - ・字幕の位置、色などが画像のじゃまをしている（両方見たい）。
 - ・映画・ドラマはほぼ満足だが、ニュースやバラエティーに限って字幕が見にくい位置であったり、誤変換が多い。
 - ・最初から出ているテロップと重なったり、見にくい。画面と切り離す方法がよい。
- その他
- ・私は満足しているが、家族から見ると見にくいようだ。

(2) 字幕付き番組における字幕の分かりやすさへの満足度

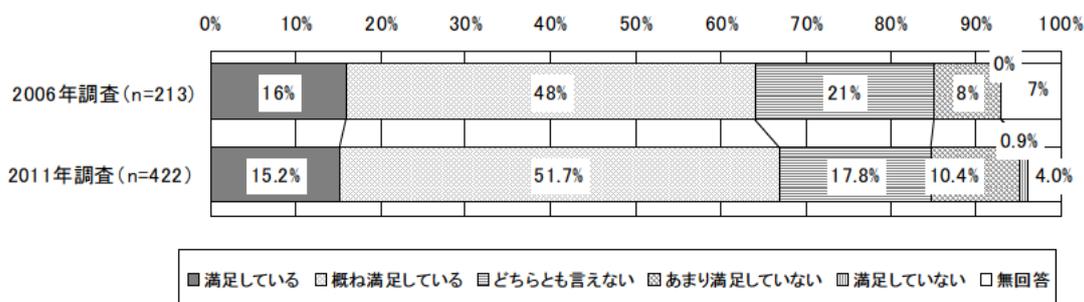
現在の字幕付き番組における字幕の分かりやすさへの満足度について尋ねたところ、「満足している」（15.2%）、「概ね満足している」（51.7%）を合わせた66.9%が満足していると回答している一方、「どちらとも言えない」が17.8%で、「満足していない」（0.9%）と「あまり満足していない」（10.4%）を合わせた11.3%が満足していないと回答している。

図表Ⅱ-1-32 字幕付き番組における字幕の分かりやすさへの満足度 Q7（単数回答）



2006年2月に実施した調査と比較すると、字幕の分かりやすさについて「満足」「概ね満足」との回答は2006年時点の64%から2011年時点では66.9%に増加している。

図表Ⅱ-1-33 字幕付き番組における字幕の分かりやすさへの満足度の2006年調査との比較



現在の字幕付き番組における分かりやすさについて、「あまり満足していない」「満足していない」と回答した人に満足していない理由について尋ねたところ、以下の意見があげられている。

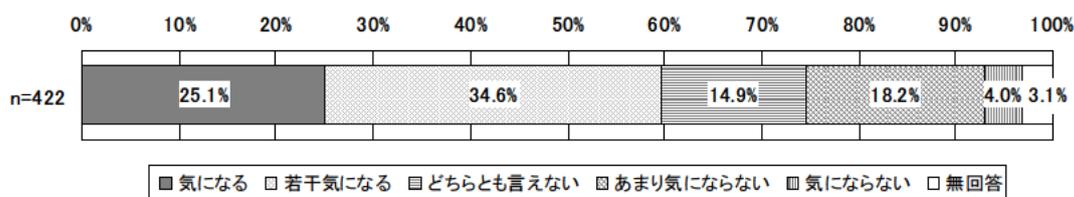
図表Ⅱ-1-34 字幕付き番組における字幕の分かりやすさに満足していない理由 Q7-1 (自由記入)

- 話者が分かりにくい
 - ・ドラマも、誰が話しているのか、字幕をみても分からない。たとえば、名前「どこかへ行く?」 名前「スーパーいきたい」というようにしてほしい。
- 字幕が途中で切れる
 - ・ニュースについて、CMで字幕が切れる(消える)。
 - ・字幕が途切れて切り替るため、内容が伝わらないことがある。
- 理解できるように要約してほしい。
 - ・長すぎる字幕は読み切れない。しっかり意図が伝わるように要約して放映してほしい。
 - ・大事なところだけ書いても、意味が分からないところがある。
 - ・字幕が出るのが遅い(ニュースなど)。短くまとめて意味がわればよい。
 - ・字幕についていけない時がある(自分自身の能力)。

(3) 生放送の字幕における時間差への意識

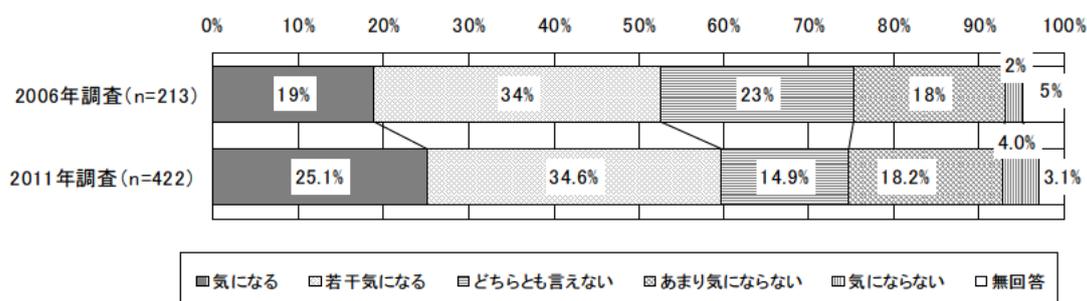
生放送の字幕付き番組の場合、出演者が実際に喋ってから少し遅れて字幕が画面に表示される。この時間差（タイムラグ）がどの程度気になるかについて尋ねたところ、「気になる」（25.1%）、「若干気になる」（34.6%）を合わせた59.7%が気になると回答している。

図表Ⅱ-1-35 生放送の字幕における時間差への意識 Q8（単数回答）n=422



2006年2月に実施した調査と比較すると、時間差（タイムラグ）がどの程度気になるかについて「気になる」「若干気になる」との回答は2006年時点の53%から2011年時点では59.7%に増加している。

図表Ⅱ-1-36 生放送の字幕における時間差への意識の2006年調査との比較



時間差（タイムラグ）について、「気になる」「若干気になる」と回答した人に気になる理由について尋ねたところ、以下の意見があげられている。

図表Ⅱ-1-37 生放送の字幕における時間差に対して気になる理由 Q8-1
（単数回答）n=422

- タイミングが遅いことに違和感がある
- ・ 話し手が（または内容が）変わっても終わっている直前のことばが出て来る。違和感がある。
- ・ 話題が変わったタイミングの遅れに、少し違和感がある。
- ・ 字幕を見て内容が理解できた時には、もう画面が変わってしまっている。
- ・ スポーツなどは、特に場面と字幕が合っていないと戸惑うことも。
- ・ 次の画面と字幕内容が合っていない。時間差字幕がいつまでも残った状態が気になる。

■文章が途中で切れる

- ・タイムラグは必ず発生することなので仕方がないが、文節処理の仕方が悪く、「ことば」が分断されるのが気になる。
- ・途中で字幕が切れてしまったり、遅れると先に進んだ番組を同時に見ることができない。
- ・最後まで聞きたい。でも仕方がないかも。
- ・文字数に関係なく早く消えたり、長すぎたり（読み切れない時がある）。
- ・途中で切れる。パソコンでももう少し早くできるのでは。講演会・例会などに比べると遅い。
- ・場面によっては、言い終わらないうちに、CMに入ったりして、内容が分からなくなる。

■内容が分かりにくい、理解しにくい

- ・画面の話し手が変わった時、誰が話した内容か分からない時がある。
- ・会話が多い時に見にくい。
- ・行動と字幕が一致しないと内容の把握が難しい。混乱してしまう。
- ・遅れることによって、その場の時間的共有ができないので理解や笑いのタイミングがずれてしまう。
- ・映像と字幕を見るのに、映像の方を先に見てしまうのでついていけない部分がたくさんある。
- ・喋る人の顔の表情など、リアクションの意味がつかみにくい。あとで字幕が出てはじめて理解することが多い。
- ・特に天気予報の場合はずれることで情報が半減してしまう。
- ・やはり、喋ってからではなく同時に字幕が付かないと、笑えない場合や、理解できない場合も。健聴者には分からないと思う。
- ・笑うタイミングが健聴者と少しずれてしまう。
- ・笑いのタイミングがずれたりすると番組自体がおもしろくなく感じてしまう。
- ・遅れるのは、仕方ないと思うが、やはり、家族と見てても、一緒に笑ったりできないので、少し淋しい。

■軽度難聴で、聞きながら字幕を見ているため混乱する

- ・軽度難聴でまあまあ聞こえるため、聞こえた内容と字幕がずれると頭が混乱するため。
- ・耳で聞こえるのと、字幕に出てくるのと両方を追うので、ずれるとかえってまとまりにくく、戸惑うことがある。
- ・聞きながら見ているので、あまり遅れると頭が混乱してしまう。
- ・しかたがないことだけど、遅れることで余計分からなくなることがある。聞き取れる部分もあるので。

■その他

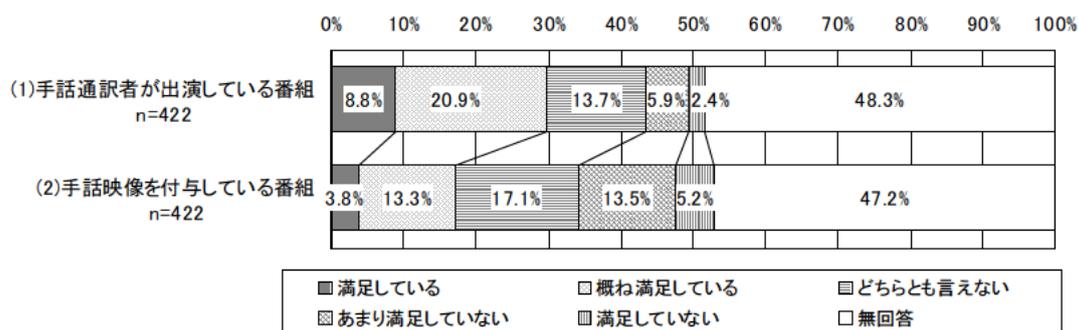
- ・やむを得ないというものの、話し言葉をそのまま表示せず、もう少し要約すればいいのでは、と思うことがある。
- ・国会の中継放送に字幕を付けて。遅れてもよいから、ぜひ。
- ・音声も少し聞こえるのでズレを感じる。

(4) 手話付き番組における手話の見やすさ・分かりやすさへの満足度

現在の手話付き番組における手話の見やすさ・分かりやすさへの満足度について尋ねたところ、「(1)手話通訳者が出演し、番組そのものを手話で構成している番組」については、「満足している」(8.8%)、「概ね満足している」(20.9%)を合わせた29.7%が満足していると回答している一方、「どちらとも言えない」が13.7%で、「満足していない」(2.4%)と「あまり満足していない」(5.9%)を合わせた8.3%が満足していないと回答している。

「(2)画面の一部に、手話映像を付与している番組」については、「満足している」(3.8%)、「概ね満足している」(13.3%)を合わせた17.1%が満足していると回答している一方、「どちらとも言えない」が17.1%で、「満足していない」(5.2%)と「あまり満足していない」(13.5%)を合わせた18.7%が満足していないと回答している。

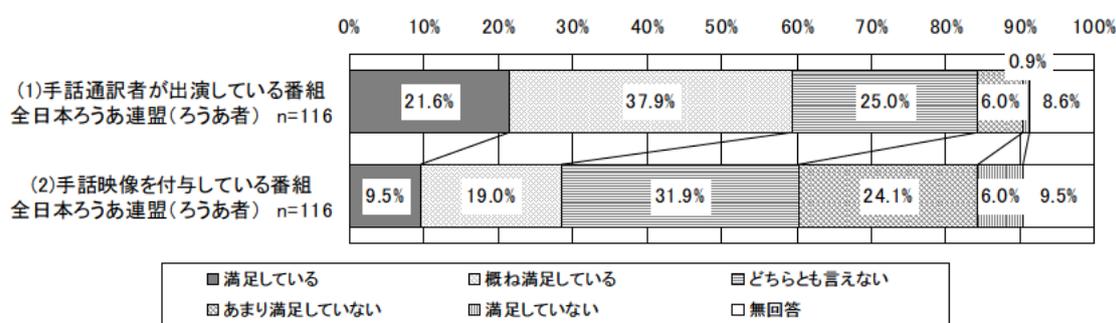
図表 II-1-38 手話付き番組における手話の見やすさ・分かりやすさへの満足度
Q9 (単数回答) n=422



全日本ろうあ連盟に加盟している方（ろうあ者）について、現在の手話付き番組における手話の見やすさ・分かりやすさへの満足度をみると、「(1)手話通訳者が出演し、番組そのものを手話で構成している番組」については、「満足している」（21.6%）、「概ね満足している」（37.9%）を合わせた59.5%が満足していると回答している。

「(2)画面の一部に、手話映像を付与している番組」については、「満足している」（9.5%）、「概ね満足している」（19.0%）を合わせた28.5%が満足している。

図表Ⅱ-1-39 手話付き番組における手話の見やすさ・分かりやすさへの満足度
（全日本ろうあ連盟：ろうあ者）Q9（単数回答）n=116



現在の手話付き番組における手話の見やすさ・分かりやすさについて、「あまり満足していない」「満足していない」と回答した人に満足していない理由について尋ねたところ、以下の意見があげられている。

図表Ⅱ-1-40 手話付き番組における手話の見やすさ・分かりやすさに満足していない理由 Q9（自由記入）

<手話通訳者が出演している番組>

- 手話が早い
 - ・手話番組は手話が早くて読み取れない。
 - ・手話通訳が早すぎて理解しにくい。
 - ・通訳者の方、もっとゆっくり訳して欲しい。初心者も多いはず。
- 手話通訳者、手話が小さい
 - ・手話通訳者が見えない時がある。画面が小さい。
 - ・通訳者が小さすぎて読み取れない。
 - ・手話通訳者の位置がよく配慮されていない。特に東日本大震災の際の内閣府の記者会見は画期的であるが、手話通訳者の位置を考えていなくて全然読めなときがあった。
 - ・小さすぎる（手話も）。
 - ・手話が小さく見にくい。

■番組進行で手話が考慮されていない

- ・手話通訳のタイムラグを考えずに司会者が番組を進めることが多いため、手話を読み取っている間、映像が見られない。

■手話で全てを伝えられない

- ・手話のみでは完全でないから。
- ・細かいニュアンスが伝わらない。手話通訳者の技術レベルの格差。

■その他

- ・手話ニュースはろう者に合わせた手話表現で速いし、中難者は字幕を見たり手話を見たり、同時読み取りは無理である。
- ・手話が付いているのに、話し手がアップになった時、手話が消えるのが不満。
- ・手話は地方によって合わない。

<画面の一部に、手話映像を付与している番組>

■手話映像が小さくて見にくい

- ・手話通訳者が小さいので見えにくい。
- ・手話映像が小さくて見にくい。もう少し大きく。
- ・ワイプでは小さくて見にくい。
- ・画面が小さすぎる。できれば 1/2 が望ましい。
- ・小さくて表現が見にくい。できれば画面の半分に平等化して欲しい。
- ・手話は顔の表情も入れて手話というもの。表情が見にくい。
- ・画面が小さいので、通訳者の手の動き、表情が読み取れない。
- ・口話が読み取れない。口の動きが小さい方が多い。
- ・口が読み取れない。
- ・手話通訳者の映像が小さい。ワイプの大きさを自分で希望する大きさに選択できるシステムがあるとよいと思う。

■映像が隠れてしまう

- ・背景が隠れていて楽しめないときもある（例えば、風景や美術などの番組で時々。大事なところが隠れてしまったような）。
- ・ニュース番組はいいが、ドラマやバラエティー番組では邪魔になる。これらは、字幕が受け入れやすい。

■その他

- ・ワイプが見にくいので、ワイプ抜きで手話映像を付けて欲しい。
- ・発言者のとなりに手話通訳者を置いて欲しい。発言者などの表情を見る余裕がない。
- ・手話はその時によって右だったり左だったりする。

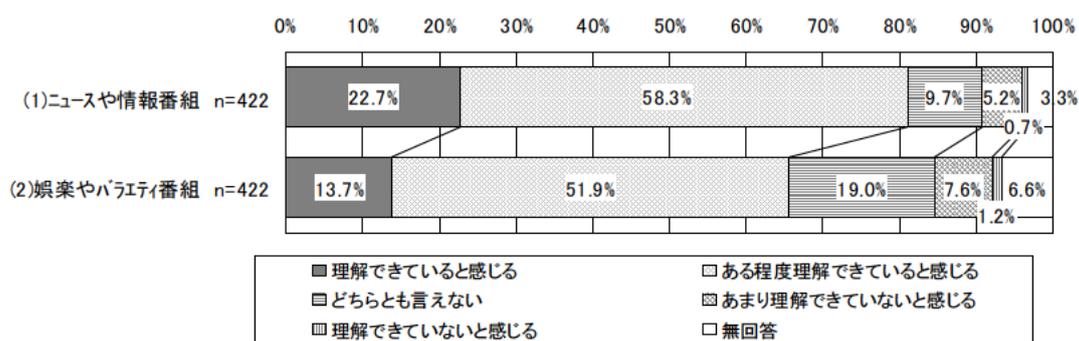
(5) 文字情報による番組の理解度

テレビ番組において、文字情報（テロップ）が、番組の内容を説明したり演出効果を高めたりしているが、こうした文字情報により番組内容をどの程度理解できていると感じているかについて尋ねたところ、「(1)ニュースや情報番組」については、「理解できていると感じる」（22.7%）、「ある程度理解できていると感じる」（58.3%）を合わせた81.0%が理解できていると感じている。

「(2)娯楽やバラエティー番組」については、「理解できていると感じる」（13.7%）、「ある程度理解できていると感じる」（51.9%）を合わせた65.6%が理解できていると感じている。

「(1)ニュースや情報番組」と「(2)娯楽やバラエティー番組」を比較すると、「(2)娯楽やバラエティー番組」の方が理解度が低くなっている。

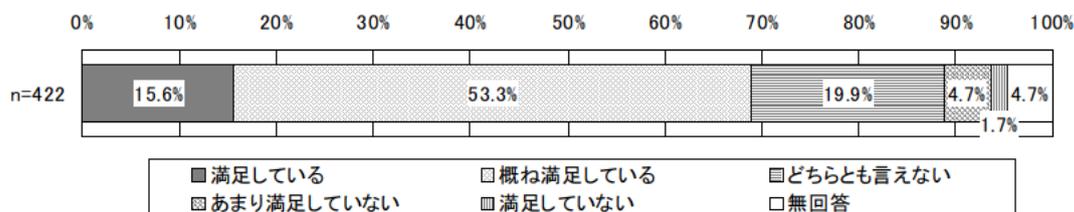
図表Ⅱ-1-41 文字情報による番組の理解度 Q10（単数回答）n=422



(6) リモコンやテレビの利用しやすさ

リモコンやテレビの利用しやすさについて尋ねたところ、「満足している」（15.6%）、「概ね満足している」（53.3%）を合わせた68.9%が満足していると回答している一方、「どちらとも言えない」が19.9%を占めている。

図表Ⅱ-1-42 リモコンやテレビの利用しやすさ Q11（単数回答）n=422



リモコンやテレビの利用しやすさについて、「あまり満足していない」「満足していない」と回答した人に満足していない理由について尋ねたところ、以下の意見があげられている。

図表Ⅱ 1 43 リモコンやテレビの利用しやすさに満足していない理由

Q11 1 (自由記入)

■操作が複雑、分かりにくい

- ・ボタン操作が複雑すぎる。
- ・リモコンが複雑で使い方が分からない。
- ・リモコンの操作が難しい。
- ・たくさんのボタンがあるが、使い方、仕組みなどが分かっていないので、活用していない。
- ・デジタル、BS、CSなど多数の局があるが、見たい番組があっても上手く選べない時がある（操作が分からない）。

■使い勝手が悪い

- ・操作ボタンの配置が悪い。
- ・自宅のリモコンは字幕ON・OFFの切り換えが「ふた」を開けないと操作できない。また、字幕付きとは画面に表示されないなので、いちいちリモコンをON・OFFに切り換えて確認している。
- ・リモコンの「字幕」ボタン、フタを開けないとアクセスできず不便。
- ・年々リモコンの文字が小さくなり、去年のTVのリモコンは、字幕ボタン等、夜に見にくい。もう少し大きく、数年前ぐらいに戻して欲しい。

■その他

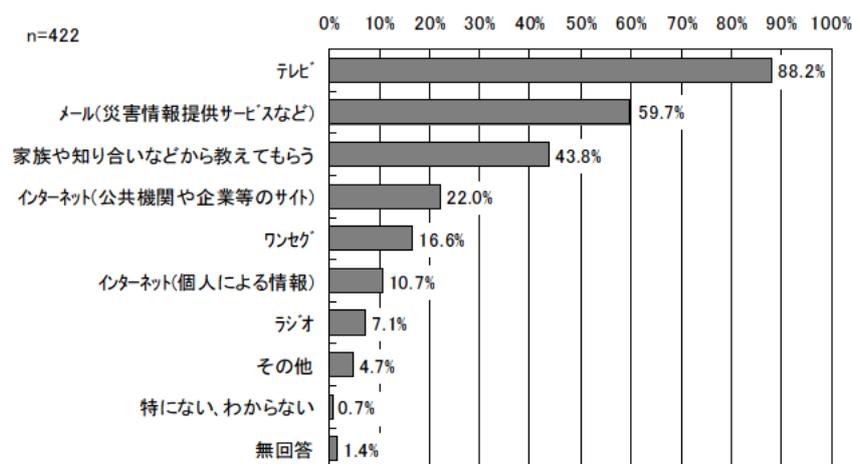
- ・テロップが字幕付き番組の字幕と重なったときに、リモコンで字幕を画面のどこにでも瞬間的に移動できるようになっていない（できれば、テレビで自動的に移動する機能があってもよい）。
- ・専用のリモコンがあればと思う。

1.2.4 緊急時・災害時の情報提供について

(1) 緊急時・災害時に情報入手手段として期待しているもの

緊急時・災害時情報入手手段として期待しているものについて尋ねたところ、「テレビ」が88.2%で最も割合が高く、ついで「メール（災害時情報提供サービスなど）」が59.7%、「家族や知り合いなどから教えてもらう」が43.8%で続いている。

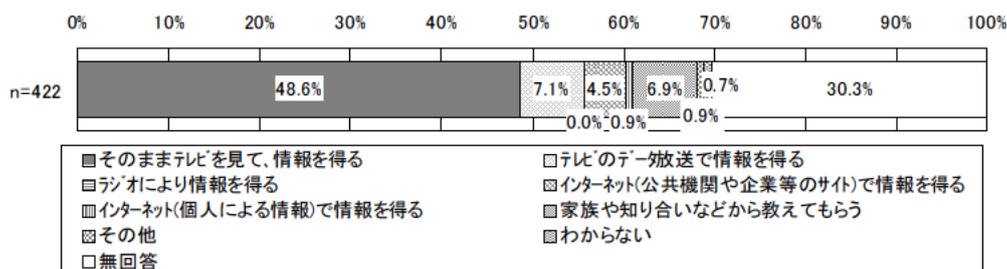
図表Ⅱ-1-44 緊急時・災害時に情報入手手段として期待しているもの Q12
(複数回答) n=422



(2) 緊急時・災害時により詳しい情報を知りたい際の対応方法

緊急時・災害時において、テレビ番組の放送中に緊急ニュース（地震発生、天気急変、重大ニュース等）が入った場合、テロップで第一報が流れ、場合によっては通常の番組を中断して臨時報道番組が放送されることがあるが、テロップで第一報を見て、より詳しい情報を知りたいと思った時、普段、どのような対応をしているかについて尋ねたところ、「そのままテレビを見て、情報を得る」が48.6%と約半数を占めている。

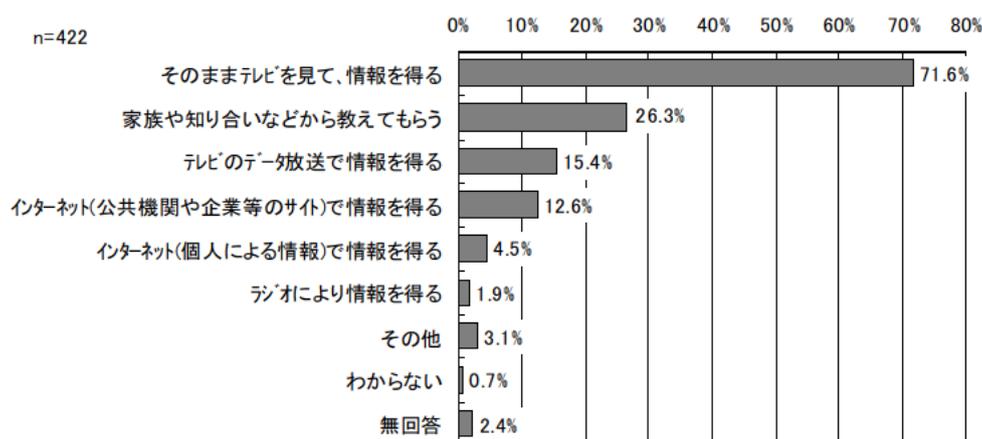
図表Ⅱ-1-45 緊急時・災害時により詳しい情報を知りたい際の対応方法 Q13
(単数回答) n=422



※単数回答の設問のため、複数回答したものは「無回答」としている。

単数回答のところ、複数選択した人が多かったため、参考値として複数回答での集計を行ったものをみると、「そのままテレビを見て、情報を得る」が71.6%で最も割合が高く、ついで「家族や知り合いなどから教えてもらう」が26.3%、「テレビのデータ放送で情報を得る」が15.4%、「インターネット（公共機関や企業等のサイト）で情報を得る」が12.6%となっている。

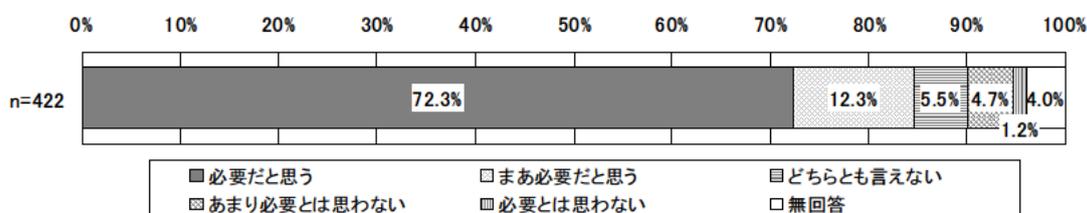
図表Ⅱ-1-46 緊急時・災害時により詳しい情報を知りたい際の対応方法 Q13
(複数回答) n=422



(3) 緊急時・災害時の臨時報道番組での字幕や手話の付与の必要性

緊急時・災害時の臨時報道番組について、画面上にL字型画面で文字情報が表示されたり、日本地図等の図表が表示されることがあるが、このように様々な情報が表示されている中で、臨時報道番組の内容について、字幕や手話を付ける必要性があるかについて尋ねたところ、「必要だと思う」(72.3%)、「まあ必要だと思う」(12.3%)を合わせた84.6%が必要だと回答している。

図表Ⅱ-1-47 緊急時・災害時の臨時報道番組での字幕や手話の付与の必要性 Q14
(単数回答) n=422



(4) 緊急時・災害時の字幕・手話付与への要望

緊急時・災害時の情報提供に関する、字幕・手話への要望について尋ねたところ、以下の意見があげられている。

図表Ⅱ 1 48 緊急時・災害時の字幕・手話付与への要望 Q15（自由記入）

- | |
|---|
| <p>■手話を付けて欲しい、手話通訳者が見えるように</p> <ul style="list-style-type: none">・メールで情報提供、TVで手話通訳を表現して欲しい。文字を見ても分かりにくい。・政府のインタビューの中継の時の手話通訳が全く見えない。生放送の時もニュースで流す時も、手話通訳がテレビ画面に入るようにして欲しい。・今回の災害で内閣府の説明に手話通訳者が脇にいながら、手話は見えずに官房長官がアップになった。何のための情報保障か理解できなかった。ずっと後になって通訳者も映ったが。字幕と手話が頼りの聴覚障害者には、一貫して映し出して欲しい。・福島原発の事故の際、政府の発表があった時、発表している人の隣に、手話通訳者がいたが、TVは発表者のみを映していた。何のための手話通訳者だったのか。・右下画面に手話をぜひ付けて欲しい。 <p>■字幕を付けて欲しい</p> <ul style="list-style-type: none">・緊急時・災害時のニュースなど同時字幕を付けて欲しい。・緊急時は緊急として字幕を付けて欲しい。・特に臨時報道番組には字幕がないので、要点でよいので、字幕を付けて欲しい。・突発的な災害時における政府の会見などには字幕がつかず、内容が全く理解できない。どんな場面でも必ず字幕を付けて欲しい。・ろう者や手話受講生の中でもまだまだ手話の勉強不足がある。字幕は大きく、分かりやすく付けるべき。・L字型情報はもちろんだが、ニュースアナウンサーなど音声も字幕化してもらいたい。情報は常に次へ次へと変わるため、その新しい情報を把握する必要がある。・L字型画面で文字情報が表示されても中の情報と同じなら必要ないが、映されている画面（臨時報道）の内容は同一とは限らない。その時には報道の内容も字幕を付けて欲しい。・緊急時・災害時であっても最低限字幕は必要。TVの場合、同じシーンが繰り返し放送されるため、キャスターの声がその都度その都度新しい情報を伝えても、耳の聞こえない人は情報が分からない。そのため、耳の聞こえない人は、聞こえる人よりも情報を得られることが少ない。 <p>■字幕と手話の両方が必要である</p> <ul style="list-style-type: none">・字幕、手話の両方が付いていないと困る。必ず必要である。・政府の行動や演説など、全てに手話・字幕を付けて欲しい。通訳付きなのに、見にくかったのが情報が取れず、すごく残念だった。・緊急時・災害時は、24時間体制（全ての番組・テレビ局）で字幕・手話を付けて欲しい（情報確保のため）。・地震後の復興期の行政情報・生活情報には必ず字幕・手話の付与が必要である。 <p>■迅速に、正確に提供して欲しい</p> <ul style="list-style-type: none">・このような場合こそ必要。内容を要約して直ちに表出して欲しい。 |
|---|

- ・テロップでもいいから迅速に。
- ・文字情報に命がかかっている人たちがいることをテレビ局は常に頭に入れて必要性に応じて即時対応できるシステムを確立して欲しい。
- ・聞こえないと目が頼り。特に緊急時・災害時には一刻も早く目による情報が欲しい。音声を変換する装置が完成して緊急ニュースは自動的に字幕が表示されるようになればと思う。
- ・より早く：アナウンスの声と同時の字幕テロップが見たい。
小さな情報：少数の人のための情報になったとしても、見逃さず情報を伝えて欲しい。

■繰り返し、継続して流して欲しい

- ・あまり速い流れではなく、ある程度の間隔で繰り返し流す形を。聞こえないため、視覚のみで捉えなければならぬとなると一度では見落すことは多い。「緊急」などには色彩的効果の研究も。
- ・とにかくずっと字幕や手話を流して欲しい。情報が欲しいので、入れたり切ったりはしないで欲しい。
- ・緊急が解除されるまで、字幕を小さく残して欲しい。
- ・何度も繰り返し同じ内容を流すのはいいと思うが、その内容を流す初日には、初めて流すということが分かればなおよい（新着情報だということ）。
- ・人によって見る時間が違うので1日単位で流して欲しい。

■情報が多すぎても理解しにくい

- ・耳の障害者は、耳の代りに視覚情報を使っている。しかし、視覚情報は、字幕・手話・映像・その他と情報が多く、逆に理解しにくいときもある。工夫を願う。
- ・L字型、テロップ、字幕と、いろいろ付けられても読み取れず画面が変わってしまうので、私は字幕に統一して欲しい（一つのもので充実した内容の情報が欲しい）。
- ・L字型画面に関して、見る人によっては、見にくいとの意見が出ると思う。難聴者やろう者のために、込み入った画面にならない字幕か、手話の放映を選択できるように工夫があるとよいかと思う。
- ・テロップや字幕が多すぎると、どこを見たらいいか分からなくなってしまう。

■ポイントだけでは分かりにくい

- ・ポイントだけでは分からないことがあるので、できるだけ説明文を付けて欲しい。
- ・付与される場合もあるが、ほとんど見出し程度で、事の詳細が分からないことが多い。もう少し詳しく内容を表示（付与）して欲しい。

■地方局でも字幕や手話を付けて欲しい

- ・災害地の地方局は緊急を要するので、ニュース等では必ず字幕、手話放送を義務づけて欲しい。
- ・地方の番組にも字幕を付けてもらいたい。福島原発爆発の時、福島テレビに字幕がなく情報が分からなくて大変困った。地方のテレビにも字幕が付くようお願いしたい。
- ・被災地近くの人が必要とする地元のニュースなどに字幕や手話がない。地方局発信番組に字幕等を付けて欲しい。

■その他

- ・映像画面にかぶせるのではなく、緊急レベルに応じて画面全部、画面の1/2、1/3というように、きっちりと分けて字幕画面の放送をお願いしたいです（できれば各局統

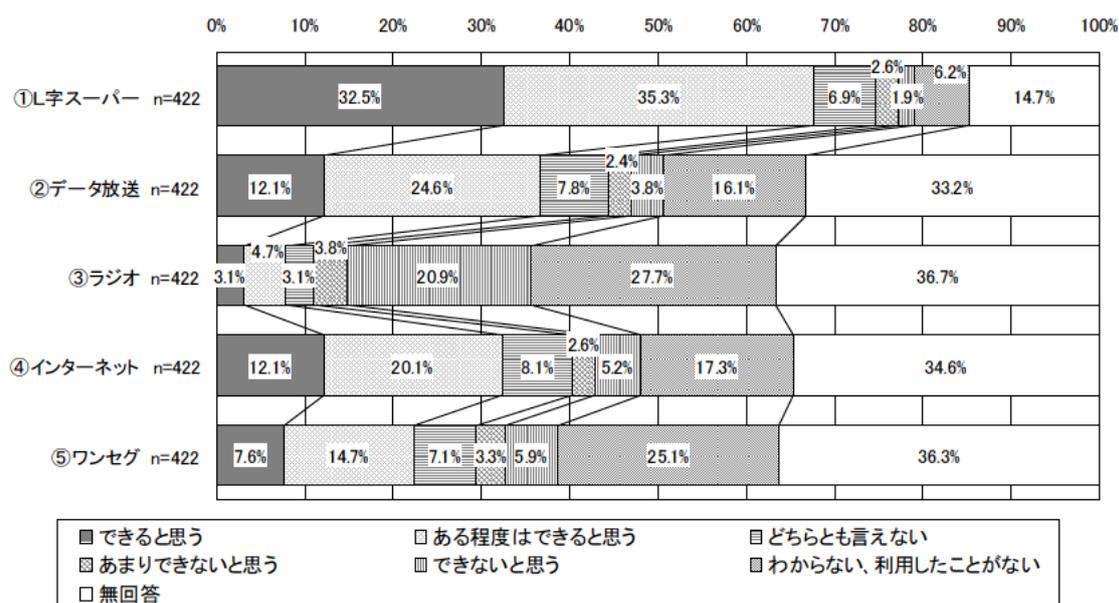
一を)。

- ・見逃した字幕はリモコン等で全体ログを見られるようにして欲しい(リモコンを押すと、画面全体で字幕(5分ぐらいまでの内容を全部)をずらりと表示して欲しい)。
- ・自分の住んでいる地域の細かい情報が欲しい。例えば東部、南部と字幕で表われても理解が難しい。〇〇区、〇〇県で表わしてもらえるとわかりやすい。
- ・大震災のとき、車内にいた。カーナビを見ようと思ったが、字幕がなく、とても困った。

(5) 緊急時・災害時における各種メディアからの必要な情報入手

緊急時・災害時において、テレビ番組に字幕や手話が付けられていない場合であっても、①L字スーパー、②データ放送、③ラジオ、④インターネット、⑤ワンセグによって情報が提供されている場合があるが、これらの方法によって必要な情報入手することができるかについて尋ねたところ、「①L字スーパー」については、「できると思う」(32.5%)、「ある程度はできると思う」(35.3%)を合わせた67.8%ができると思うと回答しているが、「②データ放送」は36.7%（「できると思う」12.1%、「ある程度はできると思う」24.6%）、「③ラジオ」は7.8%（「できると思う」3.1%、「ある程度はできると思う」4.7%）、「④インターネット」は32.2%（「できると思う」12.1%、「ある程度はできると思う」20.1%）、「⑤ワンセグ」は22.3%（「できると思う」7.6%、「ある程度はできると思う」14.7%）となっている。

図表Ⅱ-1-49 緊急時・災害時における各種メディアからの必要な情報入手
Q16 (単数回答) n=422



上記の方法による情報入手について、「あまりできないと思う」「できないと思う」と回答した人にできないと思う理由について尋ねたところ、以下の意見があげられている。

図表Ⅱ 1 50 緊急時・災害時に各種メディアからの必要な情報が入手できていないと思う理由 Q16 1 (自由記入)

■①L字ス パ

- ・情報更新があまりにも遅く、その場での情報がない。
- ・実際に被災地にいた時に特に地震が起きると、一瞬のうちに停電するので、見る事が不可能。

■②デ タ放送

- ・使い方が分からない。
- ・情報更新があまりにも遅く、その場での情報がない。

■③ラジオ

- ・「見えるラジオ」が対象だろうが、受信機を持っていることが条件に。常時「見られる」状況が難しい。持っている人は少ない。
- ・感音性難聴者にとっては言葉がはっきり区別できない。特に早口の場合はなおさら。
- ・人工内耳装用者なので、ゆっくりはっきり話してもらえないと聞き取ることができない（ラジオの場合は特に早口の傾向があるように思う）。
- ・ラジオが有効と聞くが、目で分かるラジオの開発も進めていくべきでは（特に停電時の情報源として）。

■④インタ ネット

- ・インターネットは信用性に疑問がある。パソコンを立ち上げるのに時間がかかる。
- ・インターネットは信憑性の問題で情報が正確なのか分からない。
- ・インターネットは後で見る時は便利だと思うが、急いで見る時には開けるまでに時間がかかる。
- ・緊急・災害時にはインターネットは接続しにくかった。
- ・インターネットは手元にパソコン（インターネット接続可の）がなければ利用不可。
- ・常時接続している人は少ないはず。日頃利用していないツールは緊急時等には期待できない。

■⑤ワンセグ

- ・ワンセグは画面が小さくて、文字はさらに小さいので読めない。
- ・ワンセグは、字が小さくて見にくい時がある。
- ・操作がややこしい。
- ・電波が悪いのか、ワンセグを利用したが受信できなかった。
- ・表示の乱れがあり見にくい。
- ・ワンセグは電波が悪くて映像が止まったりする。

■①～⑤全般

- ・停電した時のことを考えると、TVやラジオ・PCからの情報は難しいのではないか。

・ 停電時には、電気製品は使えない。

■ 情報入手手段を知っているかどうか

・ 情報の入手手段を知っているかが左右する。

(6) 緊急時・災害時の情報入手に関する要望・課題

緊急時・災害時の情報入手に関する要望や課題等について尋ねたところ、以下の意見があげられている。

図表Ⅱ 1 51 緊急時・災害時の情報入手に関する要望・課題 Q17 (自由記入)

■ 緊急を伝える工夫

- ・ 聞こえない人へ「緊急」をまず伝える方法は、選択する、しないに関わらず「目に入る」環境が必要である。その上で短い文章で適確に指示、注意など行動できるような簡潔な文章を。
- ・ NHK では地震情報の放映に赤色のカラーで放送していた。注目させるのに有効である。文字を大きく、ゆっくりと放映するなどの工夫をして欲しい。
- ・ 緊急時・災害時の臨時報道については、できる限り事前にホーン等で注意をうながす方法を取って欲しい。
- ・ 難聴者なので、ライト（赤色）等で情報入手する方法しかないため、家族から情報入手するよう心掛けている。家族が亡くなり一人暮らしになったら困ると思われる。
- ・ 目で見られる情報は大切だと思う。有線放送の音声のみでなく、テレビで番組放送中でも避難を呼びかけたり（強制的にテロップを流すとか）、街の有線スピーカーに赤のパトライトで光で知らせてみるなど。赤の場合ほとにかく逃げるなど、日頃から訓練したり、周知も必要である。

■ 地方局の対応

- ・ 災害地の地方局は緊急を要するので、ニュース等では必ず字幕、手話放送を義務づけて欲しい。
- ・ 被災後にローカル局（NHK も）では地域情報を流しており、役立つ内容らしいが、例えば福島県では原発事故の状況や福島市内の状況など、知りたい情報があっても、難聴・ろうの方々は字幕がなく、ほとんど分からなかったそうである。地方局にも字幕が重要となる。

■ 地域の情報提供

- ・ 住んでいる地域の災害情報を得る方法が分からない。
- ・ 自分の住んでいる地域の情報をいかに早く正確に得ることができるかが、課題だと思う。
- ・ 聞こえないと字で確認できるのは有難い。ローカルの緊急時にも対応して欲しい（字幕で）。

■ 携帯電話での情報入手

- ・ 緊急情報を個人の携帯メールに自動的に送れないか（特別な契約なしで）。
- ・ 携帯は肌身離さず持っているので、こういう時は携帯でバイブでよいので知らせてくれると有難い。あとはテレビで、即文字を流すなど。

- ・今回の地震などは携帯（のエリアメール）がいち早く知らせてくれたため、テレビをつけて（難聴者・中失者）緊急状態を把握できた。
- ・3月11日は市内の停電が長時間続いたため、テレビ、FAXなどからの情報はダメ。市内有線放送や巡回放送が聞こえない。携帯のメールで情報を流して欲しい。
- ・携帯で緊急メールを送ってもらうしか手段はないと思う。今回も外出中の出来事で運転していたため、ラジオも付けられないし、周りに人もいなくて随分と後になって災害を知った。被災地にいたなら携帯も通じず、どうなったかと思うとぞっとする。
- ・能登半島地震を経験したが、停電で一時テレビが見られなくなった。こんな時に、情報を入手できる方法は、やはり携帯等が便利なので、こういった方面で、もっと便利になって欲しいと思う。

■問い合わせ先の表示

- ・問い合わせ先は電話番号だけでなく、ファクスやメールアドレスも放送時流して欲しい。

■公共施設等での字幕・手話の表示

- ・公共施設や駅・ビル等に電光表示板（掲示板）を設置し、文字情報を流して欲しい。
- ・家だけではなく、病院や店など、どこにでも字幕・手話を付けて欲しい。
- ・人の集まる場所（駅とか公民館など）に、立看板で音声でなく文字で知らせる方法・手段を取って欲しい。耳（聴覚）でなく目（視覚）で知らせる方法だと聴覚に不自由な人は助かる。その数が多いければ多い程助かる。
- ・特に大きい街や、歩道者天国、県庁や市役所前、院内などに、大きめの電子看板を設けて欲しい。
- ・避難所や交通機関では音声情報ばかりのようなので、人が集まるようなところでは、バッテリーでも見られるようなTVや視覚情報を流せるようにすることを義務化して欲しい。

■文字情報・視覚情報の充実

- ・視覚情報をもっと増やすべき。音声に頼りすぎ。
- ・音声言語と対等のスピードで文字化情報提供を求める。
- ・こういう場合、音声情報でやっているようだが、失聴者には何の役にも立たない。せいぜい周りの様子を見て判断するしかない。避難所などで、食料や飲料水の配給その他情報は文字情報で同時に流すことが絶対必要。津波情報・地震情報も可視化が必要。
- ・難聴者は文字を見ると安心できるので、目で見ても分かるようにしてもらえると嬉しい。
- ・聞こえない私達はとにかく目で分かる情報が欲しい。災害メールなども少しずつ進んで有難いと思っているが、まだまだ不安である。

■字幕、手話の充実

- ・一番の情報源はテレビなので、即、字幕・手話で対応できるようにして欲しい。
- ・字幕放送番組の一層の充実を願う（全番組）。特に緊急時に字幕が付かないことが多い。この点をしっかり反省し、付与して欲しい。
- ・字幕にタイムラグが出ても、緊急時・災害時には気にしない。誤字・脱字も読む方で補うので、とにかく字幕を付けて欲しい。
- ・政府の公表なども全て聞こえない人にも分かるように、すぐに手話通訳の配置・字幕を付けて欲しい。日本トップにいる政府からの公表内容は日本人として聞こえる聞こえない関係なく知りたいと思う。地上デジタル放送でも手話通訳を横に付けて欲しい（ニュージーランドを参考にしたい）。

■停電時の対応

- ・停電時、情報入手はどうか。
- ・緊急時・災害時にテレビをつけていない場合。また、災害時はほとんど停電する。障害者はとても困る。
- ・万一の停電では、まったくお手上げである。先の地震では情報は全て手話通訳の方からメールでもらった。しかも、携帯が使用可能になったのは半日後だった。健常者は、必要な情報は全てラジオから入手したようだ。また、自分から、市役所などに直接行って（福祉課）情報入手するろう者もいた。その情報をさらに携帯メールで連絡するなどがあった。

■その他

- ・ライフラインとともに、障害者へのサポートができるような団体や人の情報が欲しい。
- ・現在は、健聴者と一緒に生活しているので、特に心配はない。難聴者・中途失聴者が一人生活になった時は、自分の地区の民生委員の方と前から相談しておく必要があると思う。
- ・テレビ、ラジオ等の機器だけでなく、支援団体（要約筆記・手話など）が充実し、障害者団体と連絡を取り合えること。地域の人たちが、当該地域に聴覚障害者がどこにどれだけいるかを把握していて、いざという時、情報を提供してくれることが必要。
- ・電気が使えない時に携帯の SNS の情報通信でのやりとりが盛んだったので、そういったサイトポータル強化。
- ・データ放送について、地域のお天気くらいしか利用していなかったもので、情報として今後使ってみたい。
- ・L字型画面の文字情報は有難い。
- ・文字が見えるラジオを復活させ、もっと作って欲しい。

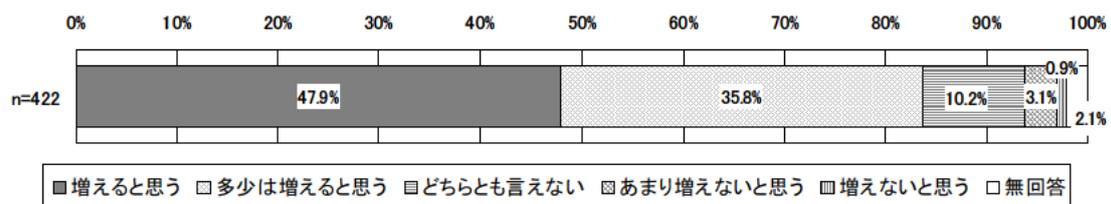
1.2.5 字幕付き番組・手話付き番組への要望等について

(1) 今後のテレビ利用の関係

①字幕付き番組と今後のテレビ利用の関係

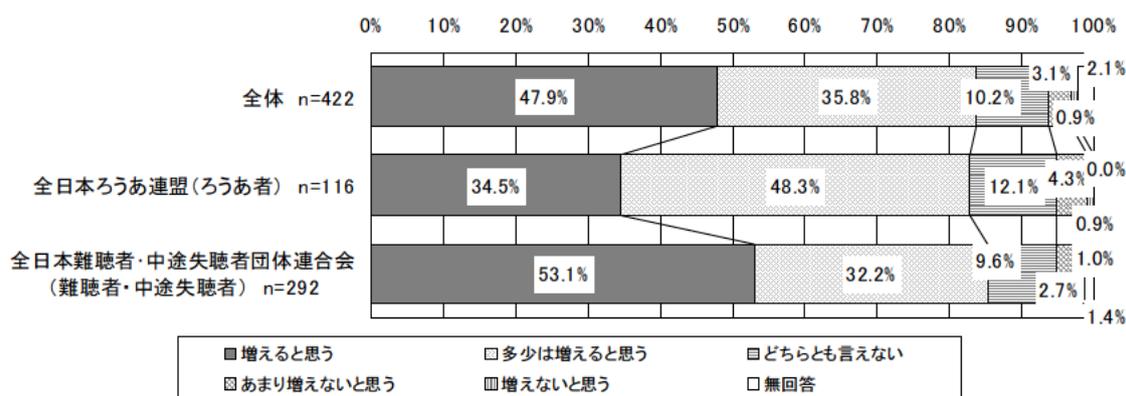
字幕付き番組が増えれば、テレビを見る時間が増えると思うかについて尋ねたところ、「増えると思う」（47.9%）、「多少は増えると思う」（35.8%）を合わせた83.7%が増えると思うと回答している。

図表Ⅱ-1-52 字幕付き番組と今後のテレビ利用の関係 Q18（単数回答）n=422



団体別に字幕付き番組が増えれば、テレビを見る時間が増えると思うかについてみると、全日本ろうあ連盟（ろうあ者）、全日本難聴者・中途失聴者団体連合会（難聴者・中途失聴者）とも、「増えると思う」「多少は増えると思う」を合わせた「増えると思う」と回答した人が8割以上を占めるが、全日本難聴者・中途失聴者団体連合会（難聴者・中途失聴者）は、「増えると思う」の割合がより高く、53.1%を占めている。

図表Ⅱ-1-53 団体別 字幕付き番組と今後のテレビ利用の関係 Q18（単数回答）n=422



字幕付き番組が増えれば、テレビを見る時間が増えると思うかについて、上記で回答した理由について尋ねたところ、以下の意見があげられている。

図表Ⅱ-1-54 字幕付き番組と今後のテレビ利用の関係の理由 Q18-1（自由記入）

- <増えると思う>
- 理解できるようになるため
 - ・字幕があれば内容を理解できるので。
 - ・内容がよく理解できるようになる。
 - ・自分でも理解できるから楽しめる。
 - ・聴覚障害者（中途失聴者・難聴者）の多くは情報に飢えているので、字幕が付くと内容を理解できるようになる。そして新しい情報を得ることができる。テレビを見る時間も増えて行くだろうと思う。
 - ・内容を把握でき、積極的に録画などを思う
 - ・やはり内容が良く理解できれば見る時間は増える。
 - 見たい番組が増える、見ることを諦めていた番組を見ることができるため
 - ・番組の選択範囲が広がるから。
 - ・見たい番組が増えるから。
 - ・字幕が付いていなくて見るのを諦めている番組もあるので。
 - ・以前から見ると字幕付き番組はずいぶん増えたが、まだまだ足りない。見たいTVも字幕なしでは諦めてしまう。

- ・実際に字幕が今までより増え、ドラマ・映画など見るようになったので、全ての番組（再放送も含めて）に字幕があればもっと見ると思う。
- ・「字幕が付けば」と思うような番組がかなりある。
- ・最近、字幕付き番組が増えたおかげで、テレビを見る時間が増えてきた。以前はほとんどテレビを見なかった。
- ・何を見ようか考え選ぶ時に、必ず「字」と表示されていることを確認し、もし表示がなければ見たくても諦めているので。

■興味がわく、楽しいため

- ・文字に興味をわき、内容が理解できるため、より知りたいと好奇心がわく。
- ・いろいろな情報が入ってくることはいいことだし自分としては楽しいことだから。
- ・やはり目に見える言葉で中身が分かると嬉しい。聞こえる方と話題を共有できるから。
- ・話題が増える。また、健常者との話にも入れそうだから。
- ・内容が理解できるので、楽しみが増える。
- ・番組の内容が理解できるから、興味のある番組は見るようになる。
- ・知りたい、勉強したいなどと思う番組が見られるようになる。実際、前より増えてきたため、見る時間も増えたから。
- ・楽しさが増えるので、字幕付きが増えると楽しみも増えると思う。
- ・現在はほぼ見たい番組に字幕が付けられていて楽しんでいる。他に興味ある番組に字幕が付けられて放映されたら、見る時間も増えると思う。
- ・今は「字」を選んで見ているので、増えれば視野が広がると思う。自然な生き物、神秘的な海山岩等、分からないことが本でなくテレビで分かれば嬉しい。

■欲しい情報が得られる

- ・テレビは、楽しいだけでなく、生活にも役立つ番組も多い。
- ・今何が流行なのか、そんなことが知りたい（同僚などと話題が合わない）。
- ・正確な情報が入りやすくなるから。
- ・普通の人と同じように情報を共有できる。

■増えると思う番組ジャンル等

- ・ドキュメンタリーやドラマを見る気になると思う。
- ・特にドキュメンタリー・トーク番組・昔の映画。諦めるものが多い。
- ・今はニュースやスポーツ中継など、見て分かるものを見ている。ドラマなども見てみたい。
- ・政治討論や国会中継など見たいと思う。
- ・ニュースの全部に字幕は付いていない。ドキュメンタリーにも字幕は付いていないものも少なくない。こうしたものは見られない。
- ・字幕が付かないドラマは全く見ないが、字幕が付けば見ると思う。
- ・私の場合、ドラマ中心だが、古いドラマは字幕が付かない。古いドラマの再放送にも字幕を付けて欲しい。付いたら見るので時間が増える。
- ・海外映画の利用の楽しみ、吹き替えではなく。
- ・生放送など、見たいと思っても字幕がないので、見ることをやめた番組も多いので。
- ・特に夜間の報道番組には字幕が付かないものが多いので、付いたら見ると思うから。在阪キー局のものは付いていないことが多い。

- ・特にニュースは、知りたい内容が多いから。CMにも字幕があったら嬉しい。
- ・CMも字幕が付いたら面白さが分かると思う。短い時間なので難しいが。
- ・再放送番組で、見たいと思っても字幕がないため、途中で諦めることがある。

<どちらとも言えない・増えないと思う>

■見る時間がない

- ・仕事柄、見る時間が限られているので。
- ・仕事をしているので見る時間帯はだいたい決まっている。
- ・忙しくて見る時間がない。
- ・普段字幕つき番組を探して見ているし、もともとTVを見る時間は限られている。

■番組内容による、見る番組が決まっている

- ・字幕が付くから見るのではなく、見たい番組に字幕が必要ということ。
- ・好きな番組だと見るがそうでないと見ないと思う。
- ・見る番組は決まっているので。
- ・見たい番組は大体字幕が付いている。

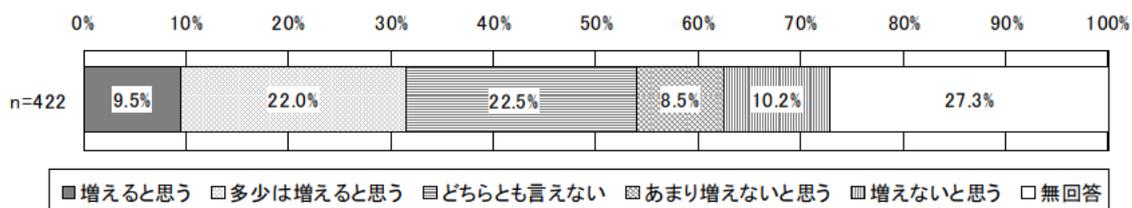
■字幕の付け方による

- ・ドラマなどは増えると思うが字幕が画面の邪魔をするようだと減。スポーツは字幕が出るタイミングが合わないので変化なし（主なデータがあればよい）。

②手話付き番組と今後のテレビ利用の関係

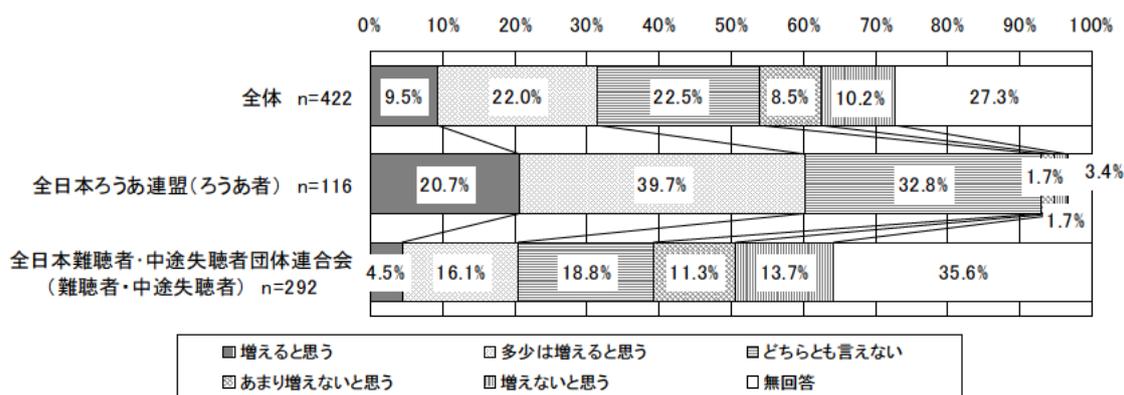
手話付き番組が増えれば、テレビを見る時間が増えると思うかについて尋ねたところ、「増えると思う」（9.5%）、「多少は増えると思う」（22.0%）を合わせた31.5%が増えると思うと回答している。

図表Ⅱ-1-55 手話付き番組と今後のテレビ利用の関係 Q19（単数回答）n=422



団体別（障害別）に、手話付き番組が増えれば、テレビを見る時間が増えると思うかについてみると、全日本ろうあ連盟（ろうあ者）をみると、「増えると思う」（20.7%）、「多少は増えると思う」（39.7%）を合わせ 60.4%が増えると思うと回答している。

図表Ⅱ-1-56 団体別 手話付き番組と今後のテレビ利用の関係 Q19（単数回答）



手話付き番組が増えれば、テレビを見る時間が増えると思うかについて、上記で回答した理由について尋ねたところ、以下の意見があげられている。

図表Ⅱ-1-57 手話付き番組と今後のテレビ利用の関係の理由 Q19-1（自由記入）

- <増えると思う>
- 理解できるようになるため
 - ・内容を理解すればこれからも多くの人が利用すると思う。
 - ・内容を把握でき、積極的に録画などをすると思う。
 - ・難しい内容でも、分かりやすいから。
 - 見たい番組が増える
 - ・見たい番組が増える。
 - 興味がわく、楽しいため
 - ・自分でも理解できるから楽しめる。
 - ・知る喜びがある。
 - ・楽しい、ストレス解消。
 - 手話の勉強になるため
 - ・手話の読み取りの練習になるし、私にとって大切なコミュニケーション方法の一つだから。
 - ・手話の単語の勉強にもなる（新しい手話がどんどん増えるので、日常会話の中から学ぶ機会が少ない）。
 - ・難聴者として手話の勉強をしているが、さらに手話学習の向上のため有難いと思う。
 - ・手話の勉強をしているので、時間があれば見ると思う。
 - ・手話の勉強になるし、世の中に手話ができる人が増える。

- ・手話表現の勉強になるので。しかし長時間は疲れて無理。

■その他

- ・字幕がないニュアンスが手話だとよく分かるので。
- ・手話の分かる人は手話が付けば見たいものが多くなるだろうと思う。
- ・手話をアピールすることにより、耳の聞こえない人も見ているという宣伝効果にもつながる。

<どちらとも言えない・増えないと思う>

■手話が分からない

- ・手話が分からないから。
- ・手話付きでは充分内容が理解できない。
- ・手話を全て理解できないから。単語一つ一つをゆっくりなら理解できるが、ドラマなどになると無理。
- ・手話の内容が分かりにくい（場所によって手話の意味が分からない）。

■手話を読みとる負担感

- ・手話を読み取って文章（日本語）を考えるのがしんどい。
- ・ドラマなど本人が使う手話は見やすいが、通訳としてつく手話は、口元を見るのと手話を見るのとで、視力が分散してしまう。
- ・手話は読み取れるが、疲れる。手話だけが付く番組はあまり見ないと思う。

■手話通訳者の技術

- ・表現者の技術不足や日本語対应手話の場合、内容が分りにくくなるため。
- ・手話通訳者にもよる。どうしても上手と言えない通訳に苛立つ。

■見る時間がない

- ・仕事柄、見る時間が限られているので。
- ・一日に見る時間枠が決まっているので、これ以上は無理かも。

■見る番組、時間が決まっている

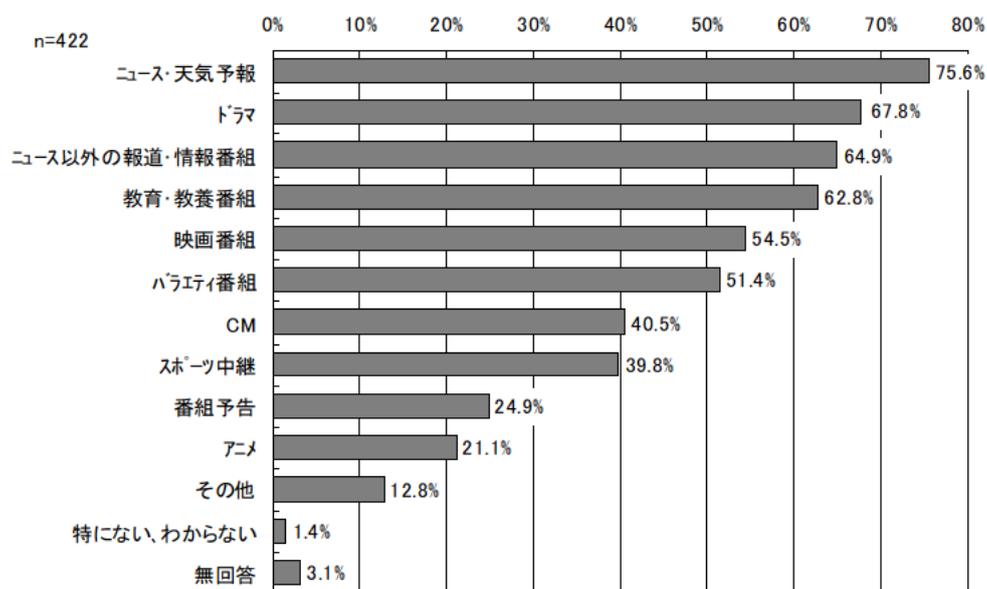
- ・テレビを見る時間は大体決まっているので、増えないと思う。
- ・TVを見る時間が増やせれば見ると思うが時間が限られているので。
- ・番組を見るものが既に限られているため、新番組等に魅力を感じない。
- ・ニュース以外は見たいと思わないので。

(2) 字幕付き番組や手話付き番組を増やして欲しい番組ジャンル

①字幕付き番組を増やして欲しい番組ジャンル

字幕付き番組を増やして欲しい番組ジャンルについて尋ねたところ、「ニュース・天気予報」が75.6%で最も割合が高く、ついで「ドラマ」が67.8%、「ニュース以外の報道・情報番組」が64.9%、「教育・教養番組」が62.8%で続いている。

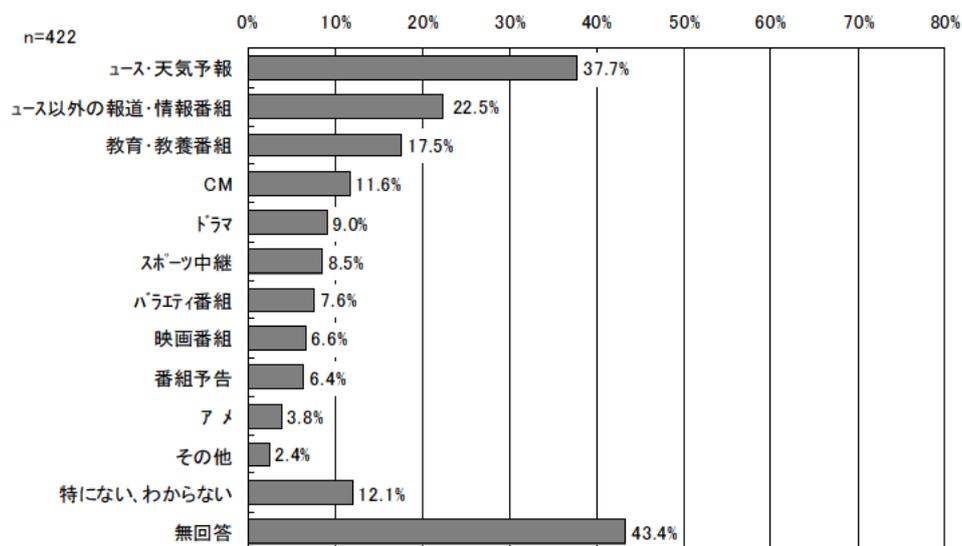
図表Ⅱ 158 字幕付き番組を増やして欲しい番組ジャンル Q20（複数回答）n=422



②手話付き番組を増やして欲しい番組ジャンル

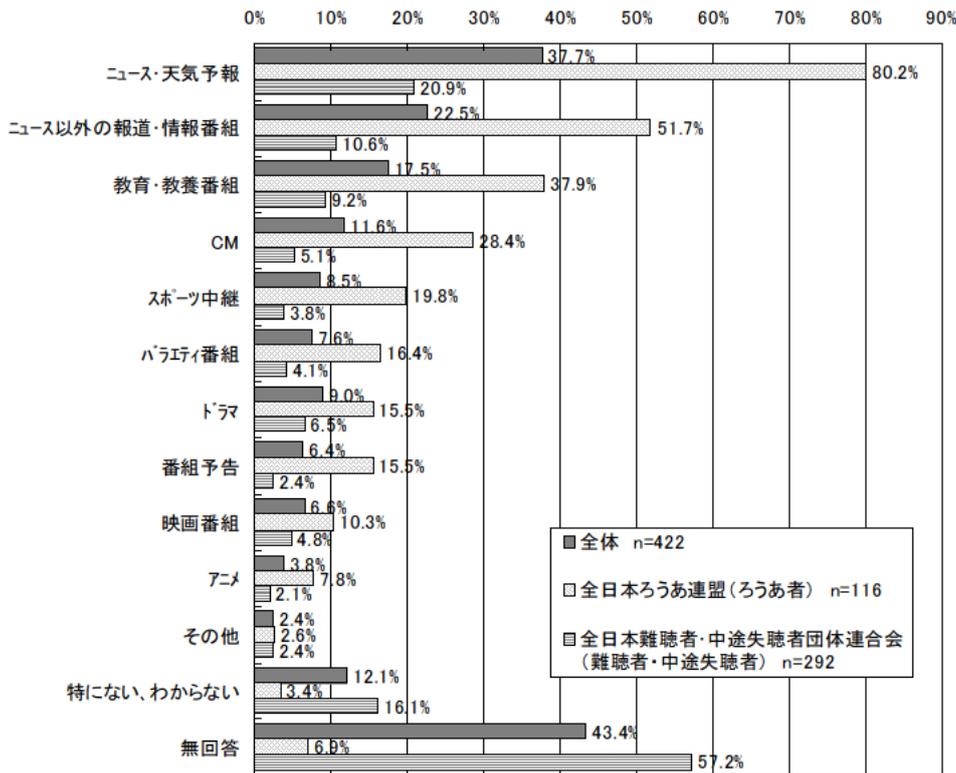
手話付き番組を増やして欲しい番組ジャンルについて尋ねたところ、「ニュース・天気予報」が37.7%で最も割合が高く、ついで「ニュース以外の報道・情報番組」が22.5%、「教育・教養番組」が17.5%で続いている。

図表Ⅱ 1 59 手話付き番組を増やして欲しい番組ジャンル Q20（複数回答）n=422



団体別（障害別）に、手話付き番組を増やして欲しい番組をみると、全日本ろうあ連盟（ろうあ者）は、「ニュース・天気予報」が80.2%で最も割合が高く、ついで「ニュース以外の報道・情報番組」が51.7%、「教育・教養番組」が37.9%、「CM」が28.4%で続いている。

図表Ⅱ-1-60 団体別 手話付き番組を増やして欲しい番組ジャンル Q20（複数回答）



(3) 字幕付き番組や手話付き番組に対する要望等

①字幕付き番組に対する要望等

字幕付き番組に対する要望等について尋ねたところ、以下の意見があげられている。

図表Ⅱ-1-61 字幕付き番組に対する要望等 Q22（自由記入）

- 字幕の位置
- ・健聴の家族と一緒に見るので字幕は邪魔だと思われない場所に付けて欲しい。画面の真中に付けるのは利用する私でさえ邪魔である。
 - ・字幕の表示位置について、数字が示されている場合の重なりが気になる。
 - ・録画したものであれば、画面の下部に字幕が流れるようになってくれば理解しやすい(アメリカのTVのやり方と同じ方法)。
 - ・顔のところに字幕がかからない工夫をして欲しい。特に主演者の場合、表情が分から

ないと興味が半減する。

- 字幕の位置について最近、出演者の顔部分に出ることも多いので位置を考えて欲しい。
- 字幕付き番組を見ていると、ニュースや、その他の情報（テロップ）が重なって見えにくくなる場合がある。このような時は重ねないで何か方法で見やすくして欲しい。
- テロップと重ならないように、L字スーパーなどのように分かりやすく字幕を入れて欲しい。
- テロップとの共存をまじめに考えて欲しい。特にバラエティー番組のテロップは比較的空間を取るため、字幕は画面中央に置かれていることが多い。画面が見えない。
- リモコンで字幕の位置が変えることのできる機能が欲しい。
- テロップに重ならないように字幕を画面中央に出すことがあるが、大切な画像が消えてしまい、結局何だか分からないことがある。サッカーの生中継は、下に出すより、サイドに縦書きに出して欲しい。サッカーは横に移動するので、ボールや選手の動きが見えなくなる。

■字幕の色、大きさ

- 言う人によって色が変わる場合がある。あれは、すばらしいと思う。分かりやすい。
- 最近は複数のセリフに色分けが見られるが統一されていない。
- できれば会話とナレーションをはっきり区別するため、ナレーションの位置と色を統一して欲しい（放送協会で統一が望ましいがせめてテレビ局ごとに）。
- 人物によって色を変えてあるが、目が疲れる。
- 字を大きくして欲しい分かりやすくきれいな字幕にして欲しい。
- 字幕の大きさを変えることができるようにして欲しい。

■字幕のタイミング

- 生番組の字幕はタイムラグをできる限り短くして欲しい。
- 字幕は可能なかぎり、消すのを遅らせて欲しい。早過ぎて読み終る前に消えてしまうので。
- 字幕が長い場合は読み終わらないうちに切れてしまうので、もうちょっと長く放映していただきたい。
- テレビニュースの字幕は、リアルタイムにできないか。
- スポーツ系の番組に対する字幕の出が遅い。故に理解するのに戸惑いを感じる。

■字幕の内容

- 話し言葉そのままではなく、内容を伝えるものであって欲しい。要約筆記のように。
- 要約をしてほしい。文章をもっと短くしないと 1/3 くらいしか読めないものがある。
- 文字数に限度があると聞いているが、喋っていることをそのままに字幕を出して欲しい。
- 誤字があるので、できるだけなくして欲しい。難しい漢字はルビを付けて欲しい。
- 字幕の制作会社によって、句読点があったり、なかったりで読みにくい。テレビの場合、句読点は不要では。関西弁はニュアンスの違いで随分変わってくる。
- 読みにくい漢字にはルビがあればよい。言葉が聞こえないので、違う読みをしてしまっていることがある（例えば韓流…ずっとかんりゅうと思いきんでいて恥をかいた。3Dもサンディーなのかな、スリーディーなのかなと悩んだ）。
- (笑)音を記載しているバラエティーは楽しめる。内容によってニュアンスも入ると

よいと思う。

- ・音楽が流れている場面では♪が出るが、その他、例えば画面には出ていないが、瀬の音、小鳥のさえずり、犬の鳴き声など「文字」でその情景を連想できるよう工夫して欲しい。
- ・（鳥の声）とか～♪と付くことがある。→チッチッとかピピとか具体的に出ているといい。どんな音、声なのかなあ、といつも思う。例えば（しんみりした音楽）とか（ワルツ）（ジャズ）とかあると。さらに題もあると嬉しい。どんな内容の音楽なのか調べられる。

■字幕を付与して欲しい番組等

- ・選挙立候補者の所信、挨拶、公報。地方局のニュース、災害地での情報の字幕。
- ・映画番組（特に日本映画）。
- ・邦画の場合は字幕が付いていないものもあり、邦画に字幕を付けて欲しい。
- ・スポーツ番組（高校野球、サッカー、世界陸上、水泳など）に字幕を入れてもらってもっと楽しめる。
- ・ニュース、スポーツ。
- ・バラエティ番組に字幕が付いたら一緒に笑えるかも。
- ・子ども番組等。子どもは楽しめても、聞こえない親と一緒に楽しめないなので、それらの歌番組にも字幕は付けて欲しい。ドラマ等で字幕付が増えているのは大変喜ばしいし、評価する。
- ・時代劇など、特に言葉遣いは略さずに確実にテロップして下さると有難い。
- ・LIVEの場合や、緊急時は大変かと思うが、できるだけ付けて欲しい。
- ・生活全般に必要な番組には字幕付きにして欲しい。国会中継など政治家たちがトークする番組にも字幕付きにして欲しい。
- ・生きていくための情報はもちろんのこと、ドラマ等の娯楽番組、旅番組も見られると心が豊かになれるような気がする。
- ・この頃のドラマにはほとんど字幕が付いていて、見るのが楽しみ。選挙の時の候補者の放送にも字幕が付けば個々の演説もよく分かり投票しやすいかと。
- ・地方の番組（地方のニュース・バラエティ・情報番組）にも字幕付きを設けて欲しいと思う。地方の方言を字幕で出すことにより、方言があることを情報として得られる効果もある。
- ・ローカルニュース・ローカル情報に字幕を付けて欲しい。

■CMへの字幕の付与

- ・CMにも字幕を付けて欲しい。
- ・CMで製品等を購入したいと思っても、内容が分からず買えない。一体何の商業的なのか分からないことが多い。見るだけで分かるのもあるが。
- ・CMも字幕を付けて欲しい。面白そうな内容なのに何を言っているのか、分からない。商品の良さも分からない。

■再放送時の字幕の付与

- ・再放送時に字幕がなくなる番組があったがナンセンス。
- ・民放各局のドラマには字幕が付くが、再放送には付かない。時間によっては再放送を見たい時がある。字幕を付けて欲しい。

- ・民放の再放送番組には字幕が付かない。東京のTV局の番組の場合、地方では、どうしても再放送になるのかもしれないが、字幕は全国同一にして欲しい。

■BSへの字幕の付与

- ・デジタル放送になり、BSをよく見る。また見たいと思うことがあるが、ほとんど字幕がない。是非付けて欲しい。
- ・どの番組も字幕化させて欲しい。特にBS放送には字幕がないがなぜなのか。知的向上をあおるようなよい番組がたくさんあるが、見られないのは残念。耳からの情報が少ない分、社会に向けた情報をTVで補いたいという気持ちも強い。是非BS放送にも字幕を広げて欲しい。教育番組には字幕も手話もないが子どもの成長のために（障害の）、是非付けて学びたい気持ちを充足させ、伸ばしてやりたい。

■全ての番組に字幕を

- ・テレビの言葉が理解できないので、字幕付きでない番組は、何を言っているのか分からないので見る気にならない。全ての番組を字幕にしていれば幸せである。
- ・開発中と聞いているが、一日も早く音声を自動で文字にして、全番組を字幕付きにして欲しい。
- ・全ての番組に字幕を付けてもらいたい。字幕を見たくない時はオフにすればいいので。

■その他

- ・字幕付き番組を楽しんでいるが、継続して字幕が付いていないことがあり、楽しめなかったことがある。付いたり、付かなかったりということがないようにして欲しい。
- ・以前と比べたら文字の大きさが大きくなり、読み取りやすくなり、大変便利になった。
- ・午後7時～10時迄の間で曜日によって字幕放送が無い時がある。均等にして欲しい。
- ・ボタン1つで字幕付を見られるようにして欲しい。
- ・見たいテレビ番組が重なり、ビデオに録画したが字幕がつかなくてちょっとショックだった。
- ・テレビ局によって表示の仕方がまちまち。統一して欲しい。民放の字幕は読みにくい表示もある。

②手話付き番組に対する要望等

手話付き番組に対する要望等について尋ねたところ、以下の意見があげられている。

図表Ⅱ 1 62 手話付き番組に対する要望等 Q22（自由記入）

■手話の大きさ

- ・枠が小さすぎる場合がある。聴覚障害者にとって、大切な枠だから、しっかり見えるように、画面から消えることのないように最後まで映して欲しい。
- ・手話通訳者をもっと大きくして欲しい。今のままだと目が疲れる。
- ・画面の中の手話、大きさを工夫して。
- ・手話の映像が小さすぎる。画面の半分位は手話にしないと見ても分からない。

■手話のスピード

- ・手話は猛烈な速さで読み取れない。もっと効率のよい方法で示して欲しい。
- ・ろう者の表わす手話は速すぎて、読み取りは無理なので、中難者の皆さんが読み取れる分かりやすい手話を使ってくると有難いが、手話の力はまちまちなので統一するのは難しいと思う。

■手話の理解不足

- ・「手話ニュース」については、手話の表現が分からず、字幕を見ないと理解できない。字幕もすぐが変わるので、口形をつけた一般的な手話もしていただきたい。
- ・手話の読み取り力が不足しているので、全てを手話で理解するのは難しいが、手話の勉強に役立つ。

■手話通訳者の技術や質の向上等

- ・表現者の技術レベルの向上。
- ・手話通訳者により表現の癖があるので、慣れるまで時間がかかる。服装はできるだけ統一して欲しい。
- ・通訳者によって表現が違うので読み取りにくい。
- ・特に手話付きについては、手話がまだ初歩の人、読み取りの難しい人のために1つ1つの手話の動作を大きくはっきりしてもらえるとさらに良く分かる。

■口話への対応

- ・手話が読み取りやすい人と読み取りにくい人がいる。唇を少しでも動かしながら表して欲しい。
- ・口の形を大きく動かすように望む。
- ・通訳者によっては、はっきり口話をしない、口元が読み取りにくい。自分は古い手話を使い慣れているため、週一回サークルに出ている。本も新しい手話を覚えるため、手元にいつも置いている。表現、表情をきちんと入れて下さることで違ってくる。
- ・難聴者なので、手話の他に口の動きも見て読み取る。なので、口を大きくゆっくり動かして欲しい。

■手話付き番組を増やして欲しい

- ・手話の読み取りは下手だが、時々、チャンネルを変えたりしている時に、たまたま手話を見てほっとする時がある。聞こえない人はあらゆるコミュニケーションの方法を学んでいる人も多いので、聞こえない人のために手話番組も増えて欲しい。

■手話と字幕の両方の付与

- ・1つの番組に字幕と手話対応のものを入れて、リモコンで選択できるようになればgood。

■手話を付与して欲しい番組等

- ・特に官公庁（首相や官房長官）の話には、画面に入れて欲しい。
- ・ニュース、スポーツ。
- ・ニュースに手話が付くと有難いと思う（特に緊急ニュースの時が一番要望したい）。
- ・手話を使った映画も増えて欲しい。
- ・小さな子ども番組に手話を付けてやりたい。聞こえない子どもに番組を楽ませてあげたいし、聞こえる子どもも小さい時から目にしていることで、手話への気持が違ってくるのでは。教育番組には字幕も手話もないが、子どもの成長のために（障害の）、是非付けて学びたい気持ちを充足させ、伸ばしてあげたい。

■その他

- ・手話付きのため、周りの健聴者からは、ワイプが邪魔だというイメージがあるようだ。リモコンでワイプをつけたり、消したり選択できればいいと思う。
- ・手話を付ける付けないを選べるようにして欲しい。

(4) BS放送やCS放送、CATVの独自チャンネルにおける字幕放送や手話放送に対する意見等

BS放送やCS放送、CATVの独自チャンネルにおける字幕放送や手話放送に対して、以下の意見があげられている。

図表Ⅱ 1 63 BS放送やCS放送、CATVの独自チャンネルにおける字幕放送や手話放送に対する意見等 Q23（自由記入）

■緊急時の情報提供

- ・CS放送の「目で聞くテレビ」では、地震発生直後からNHKニュースに手話と字幕を付けた放送をしていたので、状況をよく理解できた。これからも続けて欲しい。

■字幕や手話を付与して欲しい番組等

- ・世界ニュースなどに字幕等があればよい。
- ・BS放送は世界の情報番組が多いが、字幕が付くと嬉しい。
- ・BSテレビも、もう少し多く字幕番組を増やして欲しい。時代劇、サスペンス等。
- ・BS放送に字幕付きが少ない。昔の映画等、報道番組にも字幕を付けて欲しい。
- ・BS放送のドラマに字幕を付けて欲しい（地上波の再放送等）。
- ・BS放送のヨーロッパサッカーや米大リーグ試合に字幕を入れて欲しい。
- ・BS放送で古い日本映画を放映することがあるが、ほとんど字幕がない（時代劇など）。私の人生で、日本人なのに日本の映画を見ていない。ぜひ付けて欲しい。
- ・BSで放送される古い映画などにも字幕を付けて欲しい。懐かしい映画やドラマも字幕があれば楽しめる。
- ・BS放送には、再放送のドラマが多いが、また新作のドラマでも衛星放送受信料を負担しているのだから、公平に字幕付きにするべき。
- ・CATVを利用しているが、映画など見たい番組には字幕が付いていないのが多いのでほとんど見ていない。残念。
- ・CATVで外国のものを字幕で見ているが地域密着の番組に字幕が付いていない。
- ・BS、CS、CATVは字幕放送が非常に少ない。特に地域の情報を流すCATVには、字幕が欲しい。また有料放送の場合は全ての番組に字幕、手話をつけるべきである。そうしないと差別になるのではと感じる。

■字幕の付与

- ・字幕付き放送があれば、見るので、できるだけ多くの字幕付き番組となるようにお願いしたい。
- ・BS放送にも、字幕を付けて欲しい。
- ・BSはほとんどの番組に字幕がなく、残念を通り越して、腹が立つ。
- ・BS放送はほとんど字幕がない。見たいものが多いのに。字幕放送を増やして欲しい。

- B S放送に字幕番組をたくさん作って欲しい。字幕の番組がたくさんあれば、B Sに入ってもよいと思う。今はまだ入りたくない。
 - 地上波では字幕が付いていても、B Sで再放送される時には、字幕が付かないことが多いので、同じように付けて欲しい。
 - B S放送でも手話付き番組が増えればよいと思う。
 - B S放送は内容が良いものが多いので、字幕がもっと増えるとよい。
 - 例えば熊本のC A T Vで熊本方言の番組がある。コミュニケーション力を上げるためにもよい番組を思うが、解説に字幕が少ない。
 - C A T Vの番組には、字幕はほとんどなし。これが非常に困っている。
 - C A T Vの放送番組はテロップもないのでまったく分からない。字幕を付けて欲しい。ほとんどの番組に付いてないので見ようと思わない。地域なのにちょっとショックである。
- その他
- B S放送の色つき字幕は見やすい。C A T Vは利用したことがないので、分からない。

2. 視覚障害者アンケート調査結果

2.1 アンケート調査概要

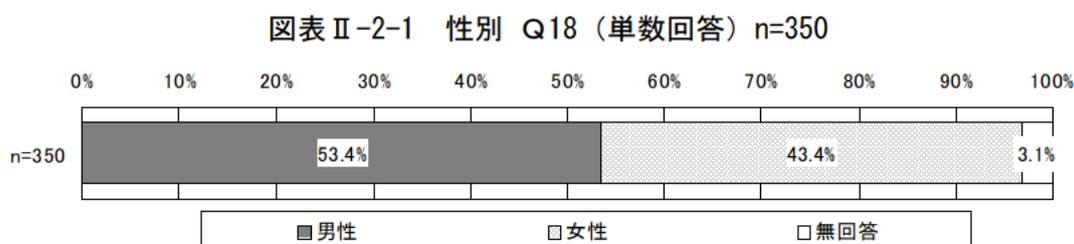
実施期間	2011年8月4日～2011年9月9日																								
対象地域	全国47都道府県																								
配布対象者	視覚障害者500名																								
配布方法	社会福祉法人日本盲人会連合（日盲連）より各地区の盲人団体にアンケートを送付。日盲連の依頼を受けた各地区の盲人団体から回答者に郵便または直接手渡しで配布。回答は郵便にて回収。点字で返送されたアンケート票については日盲連にて通常の文字に変換。																								
配布内訳	<p>配布対象者は以下のように配布した。</p> <p>■男女比</p> <p>「平成18年身体障害児・者実態調査結果」のデータを参考とし、ほぼ半数ずつのため、1対1とした。</p> <p>※性別 視覚障害者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>総数</th> <th>男性</th> <th>女性</th> <th>不詳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>315,000</td> <td>146,200</td> <td>164,800</td> <td>4,000</td> </tr> <tr> <td>100.0%</td> <td>46.4%</td> <td>52.3%</td> <td>1.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>（資料）厚生労働省「平成18年身体障害児・者実態調査結果」より概算値を作成</p> <p>■年齢構成</p> <p>年齢は20歳以上を対象とした。</p> <p>年齢構成は、「平成18年身体障害児・者実態調査結果」のデータを参考とし、「20～49歳」を15%、「50～64歳」を25%、「65歳以上」を60%で割り付ける。年齢の低い層の比率が低いため、「20～49歳」「50～64歳」の割合を実際よりも若干高めに設定した。</p> <p>※年代別 視覚障害者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>計</th> <th>20～49歳</th> <th>50～64歳</th> <th>65歳以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>303,000</td> <td>38,000</td> <td>79,000</td> <td>186,000</td> </tr> <tr> <td>100.0%</td> <td>12.5%</td> <td>26.1%</td> <td>61.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>（資料）厚生労働省「平成18年身体障害児・者実態調査結果」より概算値を作成</p>	総数	男性	女性	不詳	315,000	146,200	164,800	4,000	100.0%	46.4%	52.3%	1.3%	計	20～49歳	50～64歳	65歳以上	303,000	38,000	79,000	186,000	100.0%	12.5%	26.1%	61.4%
総数	男性	女性	不詳																						
315,000	146,200	164,800	4,000																						
100.0%	46.4%	52.3%	1.3%																						
計	20～49歳	50～64歳	65歳以上																						
303,000	38,000	79,000	186,000																						
100.0%	12.5%	26.1%	61.4%																						
有効回収数	350件（70.0%）																								

2.2 調査結果

2.2.1 回答者属性

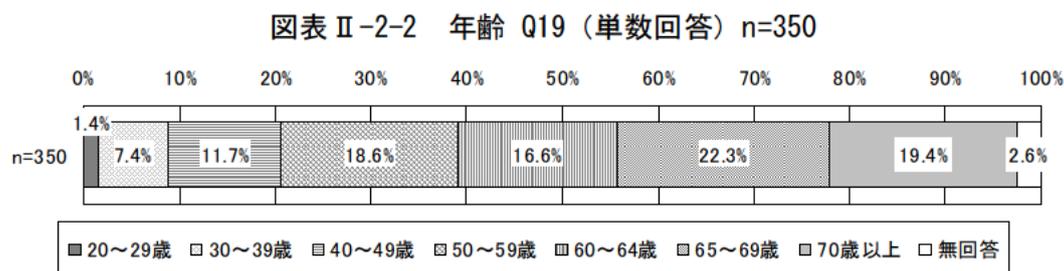
(1) 性別

性別について尋ねたところ、53.4%が男性、43.4%が女性である。



(2) 年齢

年齢について尋ねたところ、「20～29歳」「30～39歳」「40～49歳」を合わせた20～49歳が20.5%、「50～59歳」「60～64歳」を合わせた50～64歳が35.2%、「65～64歳」「70歳以上」を合わせた65歳以上が41.7%となっている。



(3) 居住地

居住している都道府県別の回収状況は下表のとおりである。

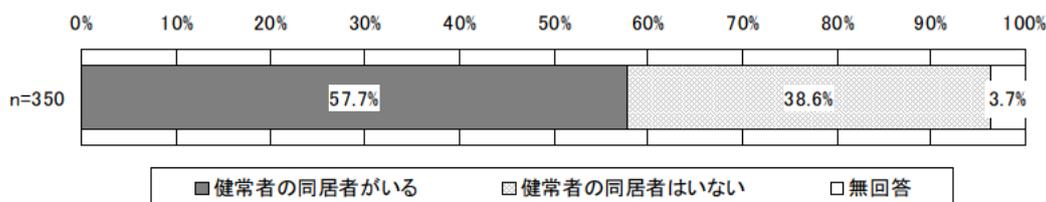
図表Ⅱ 2 3 居住地 Q20 (単数回答) n=350

都道府県名	件数	%
北海道	12	3.4
青森県	5	1.4
岩手県	5	1.4
宮城県	7	2.0
秋田県	6	1.7
山形県	0	0.0
福島県	8	2.3
茨城県	5	1.4
栃木県	5	1.4
群馬県	0	0.0
埼玉県	12	3.4
千葉県	16	4.6
東京都	21	6.0
神奈川県	33	9.4
新潟県	6	1.7
富山県	0	0.0
石川県	2	0.6
福井県	4	1.1
山梨県	2	0.6
長野県	5	1.4
岐阜県	3	0.9
静岡県	1	0.3
愛知県	16	4.6
三重県	8	2.3
滋賀県	6	1.7
京都府	7	2.0
大阪府	12	3.4
兵庫県	9	2.6
奈良県	5	1.4
和歌山県	8	2.3
鳥取県	9	2.6
島根県	4	1.1
岡山県	10	2.9
広島県	12	3.4
山口県	0	0.0
徳島県	7	2.0
香川県	5	1.4
愛媛県	7	2.0
高知県	3	0.9
福岡県	15	4.3
佐賀県	3	0.9
長崎県	5	1.4
熊本県	6	1.7
大分県	4	1.1
宮崎県	2	0.6
鹿児島県	3	0.9
沖縄県	5	1.4
無回答	21	6.0
全体	350	100.0

(4) 同居している健常者の有無

同居している健常者の有無について尋ねたところ、「健常者の同居者がいる」が57.7%、「同居の健常者はいない」が38.6%となっている。

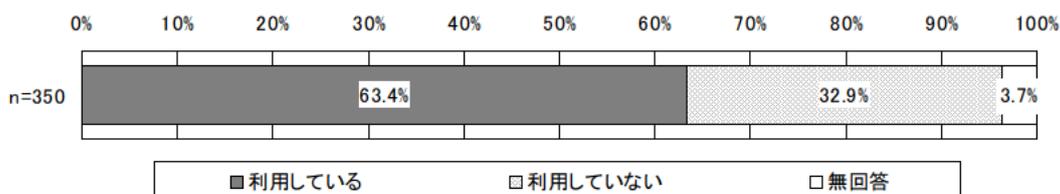
図表Ⅱ-2-4 同居している健常者の有無 Q21 (単数回答) n=350



(5) インターネットの利用状況

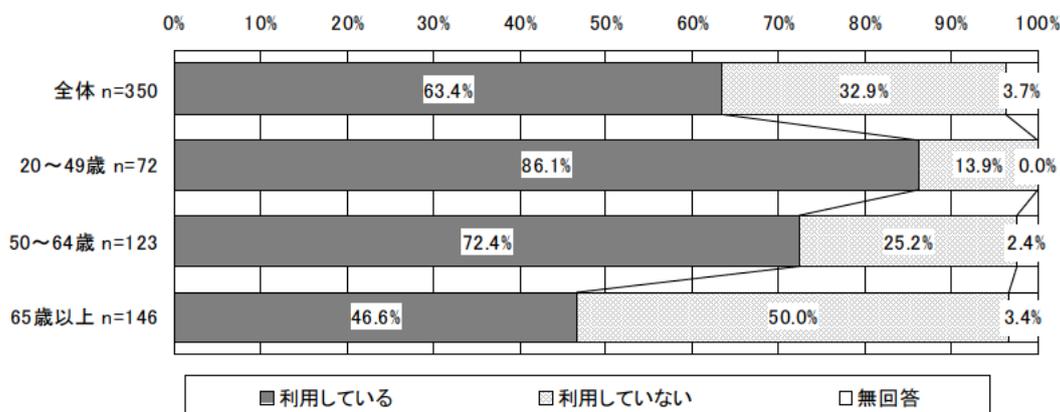
インターネットの利用状況について尋ねたところ、「利用している」が63.4%、「利用していない」が32.9%となっている。

図表Ⅱ-2-5 インターネットの利用状況 Q22 (単数回答) n=350



年齢別にインターネットの利用状況をみると、「20～49歳」は「利用している」が86.1%を占めている一方、「65歳以上」は46.6%に留まっている。

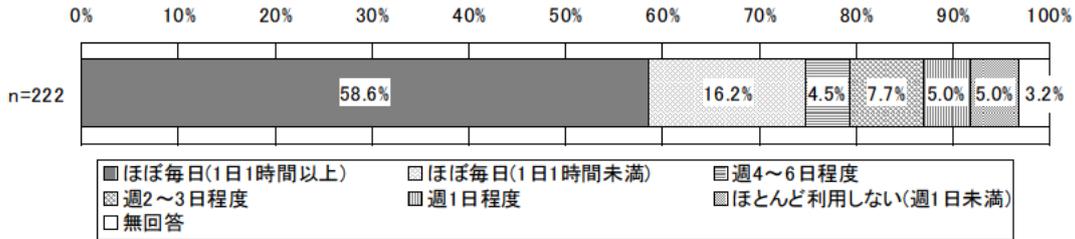
図表Ⅱ-2-6 年齢別 インターネットの利用状況 Q22 (単数回答)



(6) インターネットの利用頻度

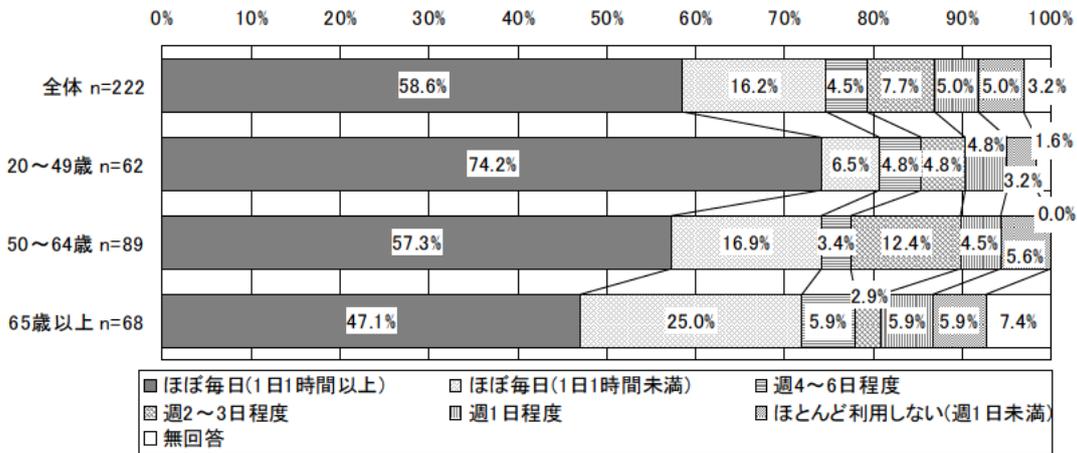
インターネットの利用頻度について尋ねたところ、「ほぼ毎日（1日1時間以上）」が58.6%で最も割合が高く、ついで「ほぼ毎日（1日1時間未満）」が16.2%で、ほぼ毎日利用している人が7割強を占めている。

図表Ⅱ-2-7 インターネットの利用頻度 Q22-1（単数回答） n=222



インターネットを利用している人について、年齢別にインターネットの利用頻度をみると、年齢が若いほど、利用頻度は高い傾向にあり、「20~49歳」は「ほぼ毎日（1日1時間以上）」が74.2%を占めている。

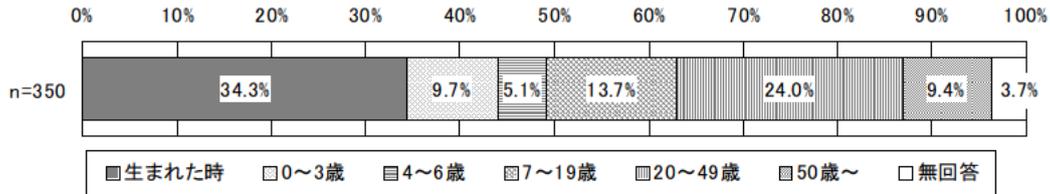
図表Ⅱ-2-8 年齢別 インターネットの利用頻度 Q22-1（単数回答）



(7) 視覚を失った年齢

いつ頃から見えにくくなったかについて尋ねたところ、「生まれた時」が34.3%で最も割合が高く、次いで、「20～49歳」が24.0%、「7～19歳」が13.7%で続いている。

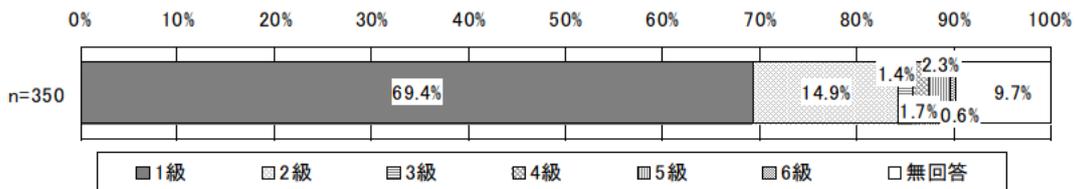
図表Ⅱ-2-9 視覚を失った年齢 Q23 (単数回答) n=350



(8) 障害の等級

視覚障害の等級について尋ねたところ、「1級[※]」が69.4%を占めている。

図表Ⅱ-2-10 障害の等級 Q24 (数値回答) n=350

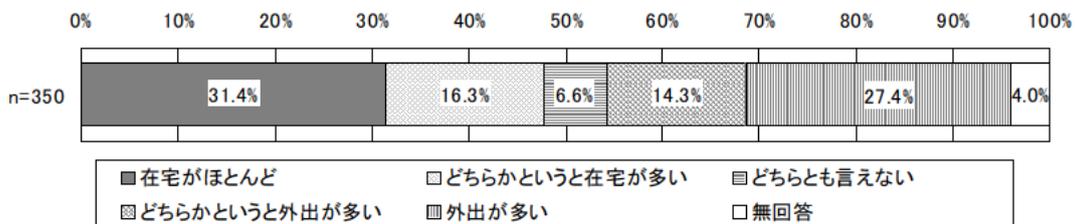


※「1級」：両目の視力の和が0.01以下。

(9) 普段の生活様式

普段の生活様式が在宅中心か外出中心かについて尋ねたところ、「在宅がほとんど」(31.4%)、「どちらかという在宅が多い」(16.3%)を合わせた在宅が多い人が47.7%、「外出が多い」(27.4%)、「どちらかという外出が多い」(14.3%)を合わせた外出が多い人が41.7%となっている。

図表Ⅱ-2-11 普段の生活様式 Q25 (単数回答) n=350

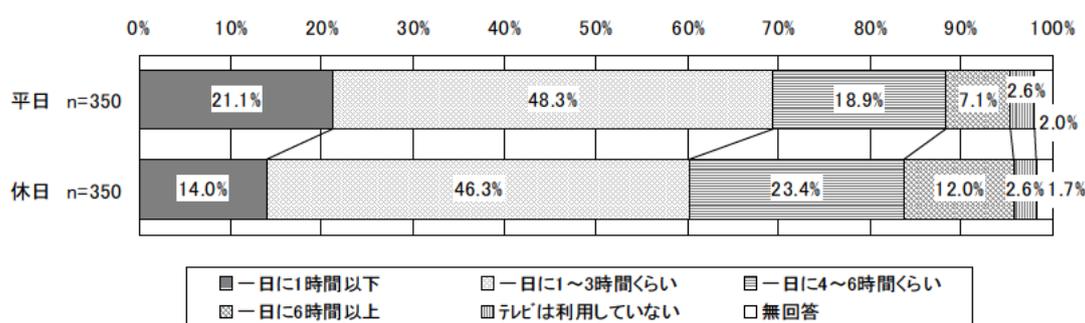


2.2.2 テレビ番組の利用状況について

(1) 普段のテレビの利用状況

平均すると、一日にどれくらいテレビを利用しているかについて尋ねたところ、平日は、「一日に1～3時間くらい」が48.3%で最も割合が高く、ついで「一日に1時間以下」が21.1%、「一日に4～6時間くらい」が18.9%で続いている。休日は、「一日に1～3時間くらい」が46.3%で最も割合が高く、ついで「一日に4～6時間くらい」が23.4%で続いている。

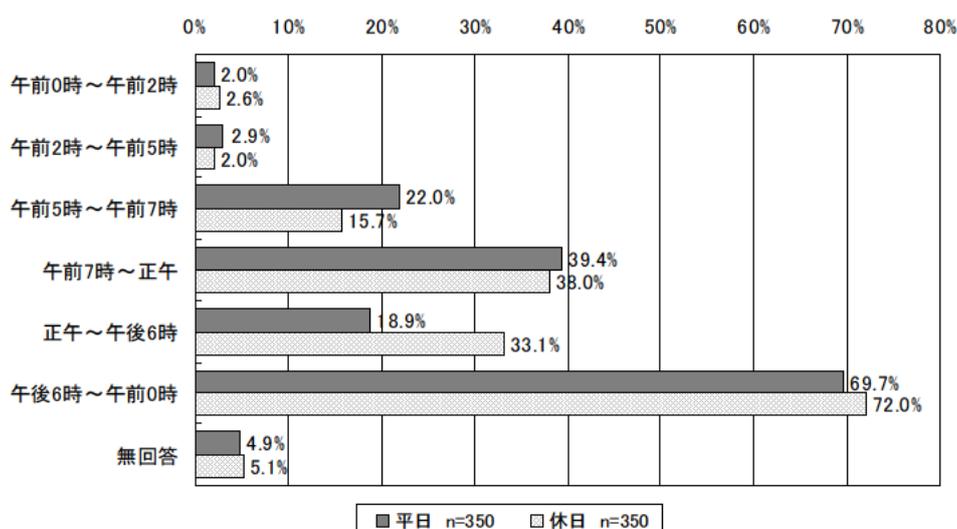
図表Ⅱ-2-12 普段のテレビの利用状況 Q1 (単数回答) n=350



(2) テレビをよく利用する時間帯

1日のうちで、テレビをよく利用する時間帯について尋ねたところ、平日、休日とも「午後6時～午前0時」の割合が高く、平日が69.7%、休日が72.0%を占めている。

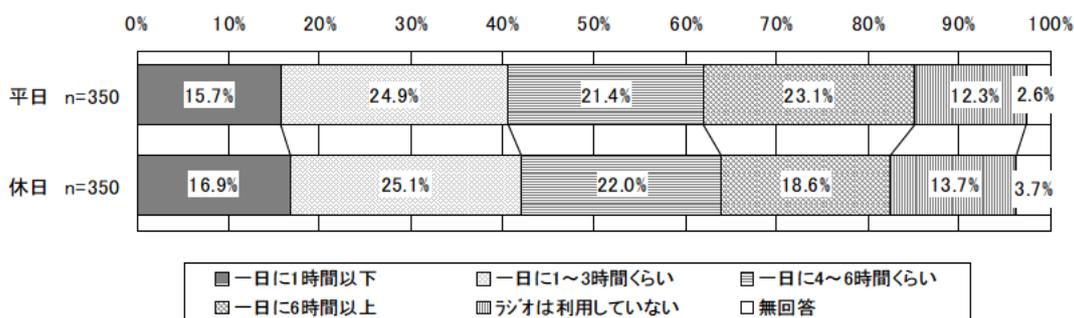
図表Ⅱ-2-13 テレビをよく利用する時間帯 Q1 (単数回答) n=350



(3) 普段のラジオの利用状況

平均すると、一日にどれくらいラジオを利用しているかについて尋ねたところ、平日は、「一日に1～3時間くらい」が24.9%、「一日6時間以上」が23.1%、「一日に4～6時間くらい」が21.4%と、それぞれ2割強を占めている。休日は、「一日に1～3時間くらい」が25.1%、「一日に4～6時間くらい」が22.0%を占めている。

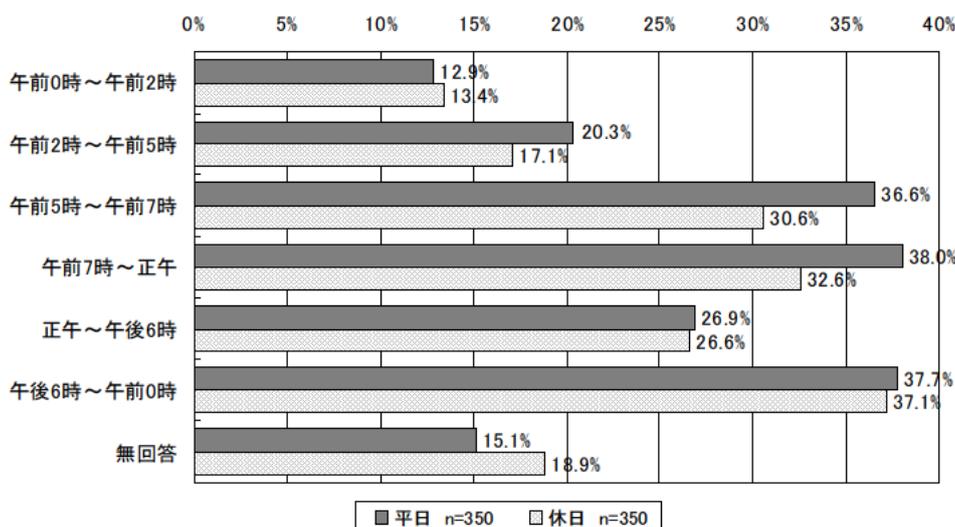
図表Ⅱ-2-14 普段のラジオの利用状況 Q2（単数回答）n=350



(4) ラジオをよく利用する時間帯

1日のうちで、ラジオをよく利用する時間帯について尋ねたところ、平日は「午前7時から正午」が38.0%で最も割合が高く、ついで「午後6時～午前0時」が37.7%、「午前5時～午前7時」が36.6%で続いている。休日は、「午後6時～午前0時」が37.1%で最も割合が高く、ついで「午前7時～正午」が32.6%、「午前5時～午前7時」が30.6%で続いている。

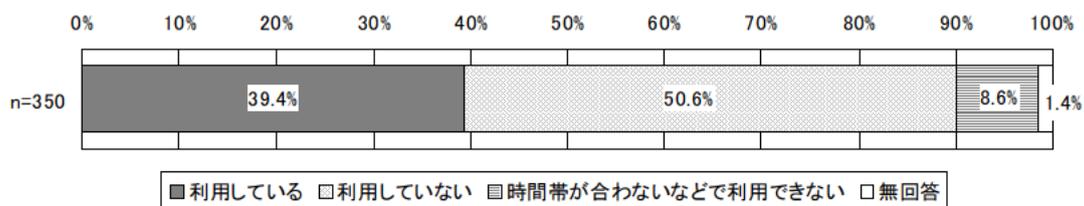
図表Ⅱ-2-15 ラジオをよく利用する時間帯 Q2（単数回答）n=350



(5) 解説放送の利用状況

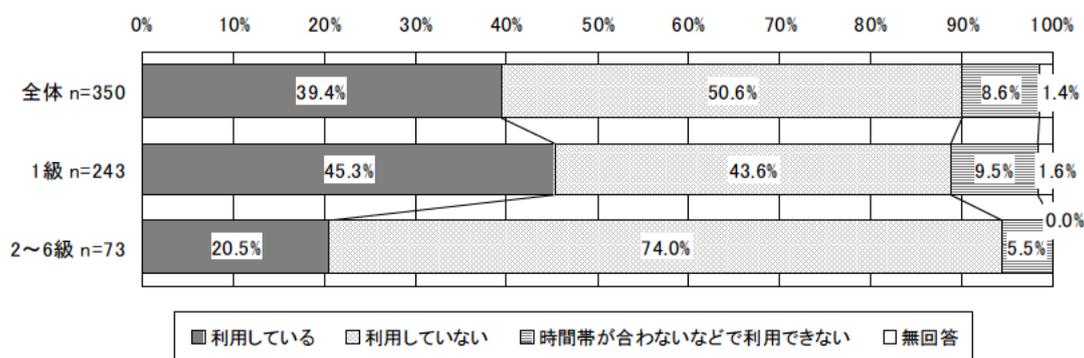
解説放送の利用状況について尋ねたところ、「利用している」が39.4%と約4割、「利用していない」が50.6%と約半数を占めている。

図表Ⅱ-2-16 解説放送の利用状況 Q3（単数回答） n=350



障害程度別に解説放送の利用状況を見ると、「1級」の人は、45.3%が「利用している」と回答している。

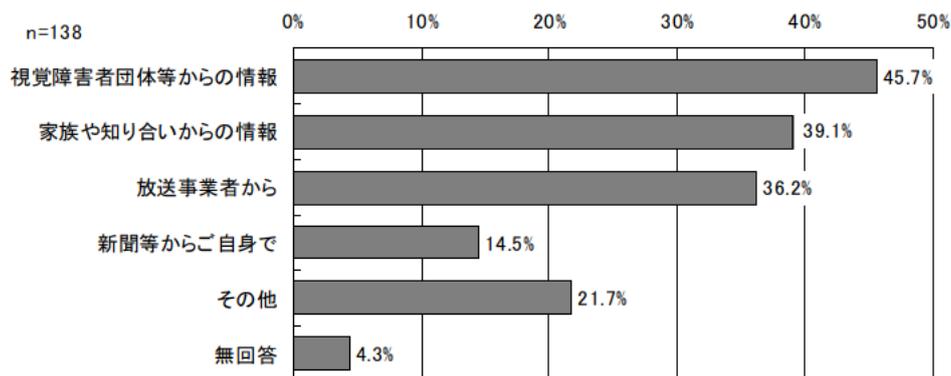
図表Ⅱ-2-17 障害程度別 解説放送の利用状況 Q3（単数回答） n=350



(6) 解説付き番組のスケジュールの入手方法

解説付き番組を利用していると回答した人に対して、解説付き番組のスケジュールの入手方法について尋ねたところ、「視覚障害者団体等からの情報」が45.7%で最も割合が高く、ついで「家族や知り合いからの情報」が39.1%、「放送事業者から」が36.2%で続いている。

図表Ⅱ 2 18 解説付き番組のスケジュールの入手方法 Q3 1 (単数回答) n=138



(7) 解説付き番組を利用していない理由

解説付き番組を利用していない人について、その理由について尋ねたところ、以下の意見があげられている。

図表Ⅱ 2 19 解説付き番組を利用していない理由 Q3 3 (自由記入)

■どの番組で利用できるのかが分からない

- ・どの番組で解説放送がされているかの情報が少ない。また情報を取得しにくい。
- ・解説している番組と時間が詳しく分からない。
- ・解説付き番組の情報が得られない。
- ・わずかの視力で画面を見て楽しもうとしてしまうためと、解説付き番組かを示すテロップが見えていないため、つい聞き逃している。
- ・知らなかった。アナログ時代「目の不自由な方へ…」と表示があったドラマ等の副音声は利用していたが、地デジになってどれが解説付きか分からなくなった。
- ・スケジュールを知らない。偶然見つけて利用する感じ。

■利用したい番組に付いていない、時間帯が合わない

- ・自分が利用したい番組には付いてないから。
- ・よく利用する番組では解説放送がされていない。ニーズに合った解説放送がされているとは思えない。
- ・番組自体が少なすぎて、興味が無いと利用しない。
- ・番組が少なく、時間が合わない。
- ・放送時間帯が合わない。

- ・時間帯やジャンルが合わない。

■解説が煩わしく感じる

- ・音声がかたがたに聞こえて非常に煩わしく迷惑だらけ。なくてよい。
- ・しつこさとリモコンを度々切りかえるのが面倒。
- ・せつかく解説していただきながら大変失礼と思うが、かえってうっとうしく感じるので利用していない。
- ・聞いていればおよそ分かる。ドラマなどは聞いていればよく分かるし、やたら解説が増えたとしらけるから。

■解説内容が不十分

- ・解説が不十分だから聞きたくない。
- ・あまり良くない解説が付いていることがある。

■使い方が分からない・分かりにくい、面倒

- ・テレビを買い換えて、使い方が分からない。
- ・新しいTVになって使用方法を把握していないため。
- ・操作が難しい。
- ・リモコンを使っただけの操作の仕方や設定のやり方が分からないので解説放送を利用していない。
- ・リモコンが複雑で操作しにくい。
- ・リモコン操作ができないから。操作を覚えたら利用しようと思っている。
- ・地デジ開始が間もないので、まだ勝手が分からず、せいぜいスイッチと音量調節とチャンネル変更しか分からないからである。
- ・設定が面倒。

■利用できない

- ・テレビに機能が付いていない。
- ・テレビが解説放送に対応していないので、解説を聴くことができない。

■解説が必要な番組は利用していない、解説がない状態で楽しんでいる

- ・ニュースや音楽番組で、特に解説は必要としない。
- ・ドラマなど解説が必要な番組は利用しない。また、どの番組が解説付きなのか分からない。
- ・ニュースが多くドラマは利用しない。
- ・見ている番組では、必要ない。
- ・解説がない状態に慣れており、なんとか番組を理解していると思っている。
- ・テレビの音声だけで楽しいから。また理解できるから。
- ・画面は見えないが、言葉から想像する楽しみを大切にしているので、静かに番組を聞きたいという気がする。
- ・自分でイメージを膨らませている。
- ・いろいろな場면을想像しながら聞くのが大好き。

■弱視のため、大よそ画面で分かる

- ・だいたい画面で分かるから。
- ・弱視で、画面に近づけば見えるから。

- ・ある程度見えているので、解説放送を利用していない。
- ・弱視なので解説がなくても画面が分かるため。

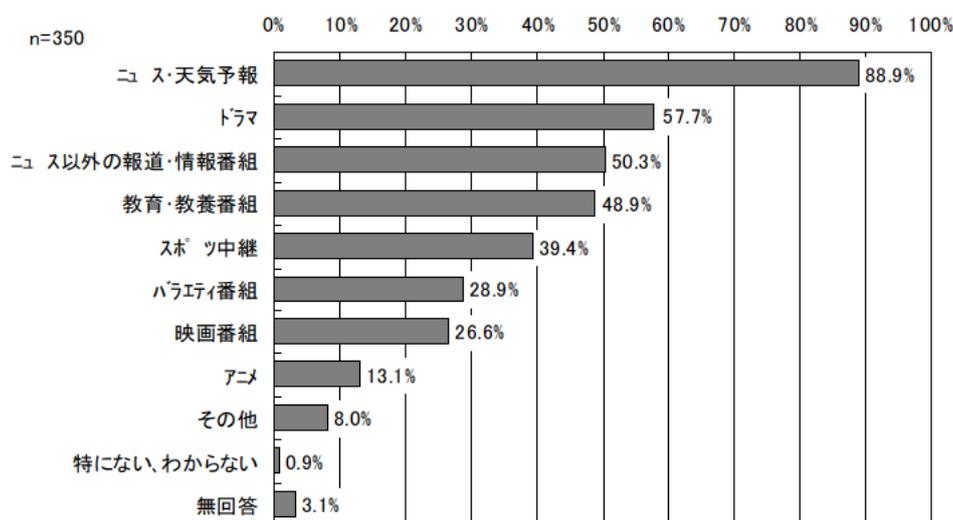
■家族に配慮して

- ・一緒に見る家族が晴眼者で少々耳が悪いので副音声を嫌がるため。
- ・地デジ化されるまでラジカセでテレビを聞いていた。家には地デジのテレビが1台あるが、家族と見たいものが違うため、今はワンセグチューナーで聞いていて、たぶんこれでは解説は聞けないと思っている。

(8) 普段よく利用するテレビ番組のジャンル

普段よく利用するテレビ番組のジャンルについて尋ねたところ、「ニュース・天気予報」が88.9%で最も割合が高く、ついで「ドラマ」が57.7%、「ニュース以外の報道・情報番組」が50.3%、「教育・教養番組」が48.9%が続いている。

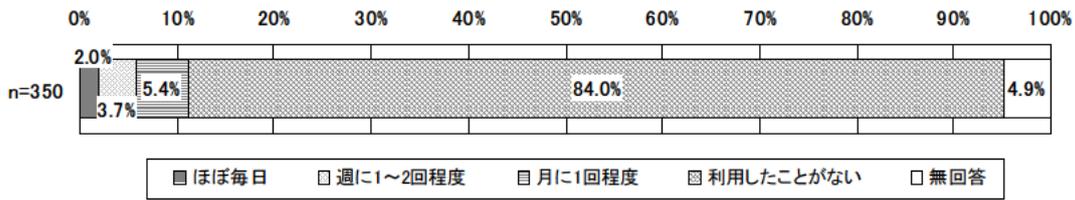
図表Ⅱ 2 20 普段よく利用するテレビ番組のジャンル Q4（複数回答） n=350



(9) インターネットを通じて配信される日本のテレビ局のテレビ番組の利用状況

インターネットを通じて配信される日本のテレビ局のテレビ番組（テレビで過去に放映した番組）を、どの程度利用しているかについて尋ねたところ、「利用したことがない」が84.0%を占めている。

図表Ⅱ-2-21 インターネットを通じて配信される日本のテレビ局の
テレビ番組の利用状況 Q5 (単数回答) n=350

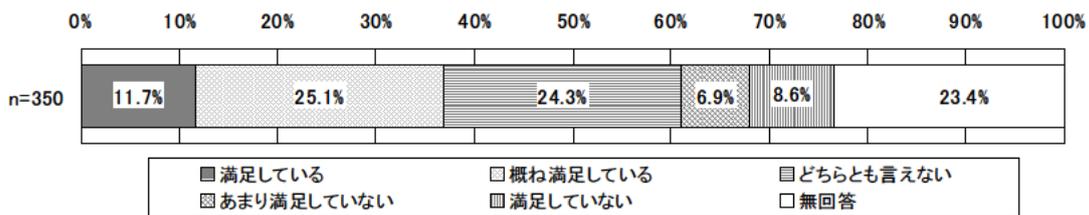


2.2.3 解説付き番組の分かりやすさ等について

(1) 解説付き番組における解説の分かりやすさへの満足度

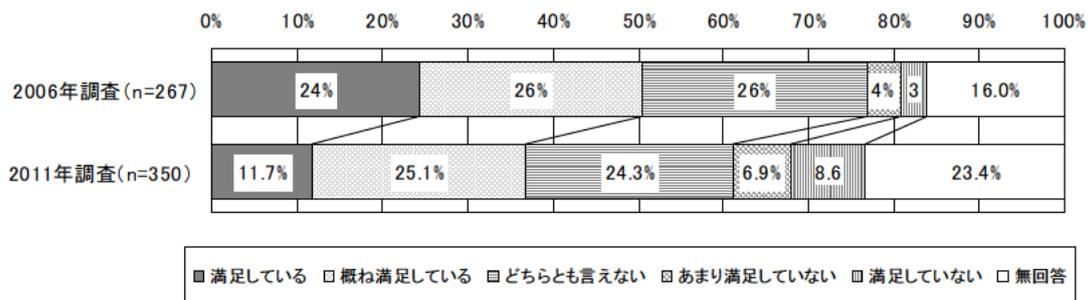
解説付き番組における解説の分かりやすさへの満足度について尋ねたところ、「満足している」(11.7%)、「概ね満足している」(25.1%)を合わせた36.8%が満足していると回答している一方、「どちらとも言えない」が24.3%で、「満足していない」(8.6%)と「あまり満足していない」(6.9%)を合わせた15.5%が満足していないと回答している。

図表Ⅱ-2-22 解説付き番組における解説の分かりやすさへの満足度 Q6
(単数回答) n=350



2006年2月に実施した調査と比較すると、解説の分かりやすさについて「満足」「概ね満足」との回答は2006年時点の50%から2011年時点では36.8%に減少している。

図表Ⅱ-2-23 解説付き番組における解説の分かりやすさへの満足度の
2006年調査との比較



現在の解説付き番組における解説の分かりやすさについて、「あまり満足していない」「満足していない」と回答した人に満足していない理由について尋ねたところ、以下の意見があげられている。

図表Ⅱ 2 24 解説付き番組における解説の分かりやすさに満足していない理由
Q6 1 (自由記入)

■解説を丁寧にして欲しい

- ・もう少し丁寧な解説が欲しい。
- ・説明が簡単すぎて理解できない。
- ・解説が簡単すぎて、いまいち分かりにくい。できれば背景や衣装など、もう少し詳しく解説して欲しい。
- ・効果音とそれにつながる描写が不足しているように思う。

■状況を上手く伝えられていない

- ・状況が適切に伝えられていない。
- ・情景があまり分からない。理解できないものが多い。
- ・状況を上手くイメージできない。

■英語が分かりにくい

- ・英語を略しているのが分かりにくい。例えば AED とかいった後に、その意味を伝えて欲しい。
- ・ニュースの中の外国語放送は解説がない。不親切である。最近、外国語がそのままニュースになっているため、ニュースが分からなくなっている。

■解説の付け方がよくない

- ・ドラマなどで、解説が欲しいところには付いていなくて、あまり必要のないところに付いていたり、出演者の名前なども全部読んでくれない。また、説明ではなく、ドラマの心の動きまで言うのは好きではないなど。
- ・本当に解説して欲しい状況を解説していないことが多い。ニーズに合っていない。
- ・実際の場面と解説の間にずれが多少あって、しっくりこないことが多い。

■聞き取りにくい

- ・解説の音量がドラマと同じなので聞き取りにくい。
- ・聞きにくいことがある。
- ・音声が二重に聞こえて非常に煩わしい。

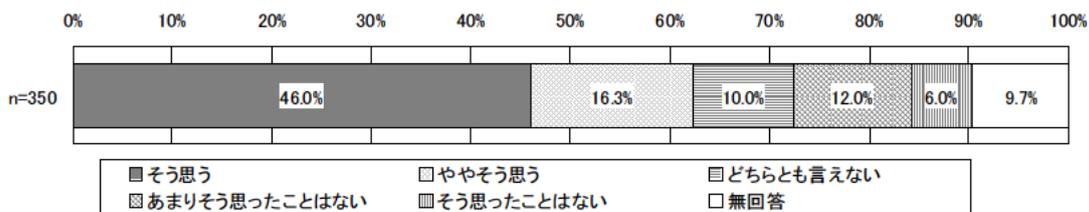
■その他

- ・見えないものにとっては、映像を音声化すると通常の会話などに影響があるので、逆に面倒くささを感じる。
- ・ドラマやアニメの人物の動きは、その前後の会話を聞いて想像できる場合が多いのでイメージを楽しみたいため。
- ・バラエティー等は分かりにくい。

(2) 通常のテレビ番組の改善の必要度

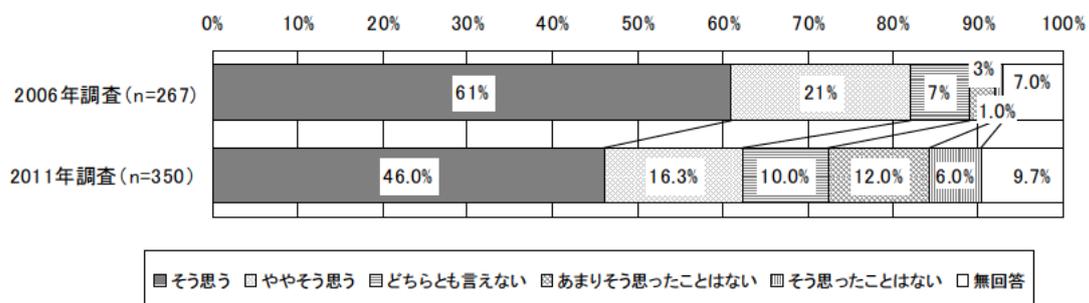
解説付き番組ではない、通常のテレビ番組（特にニュース番組）を聴いていて、分かりにくくて改善が必要と思うことがあるかについて尋ねたところ、「そう思う」（46.0%）、「ややそう思う」（16.3%）を合わせた62.3%がそう思うと回答している。

図表Ⅱ-2-25 通常のテレビ番組の改善の必要度 Q7（単数回答）n=350



2006年2月に実施した調査と比較すると、改善が必要と思うことがあるかについて、「そう思う」「ややそう思う」との回答は2006年時点の82%から2011年時点では62.3%に減少している。

図表Ⅱ-2-26 通常のテレビ番組の改善の必要度の2006年調査との比較



解説付き番組ではない、通常のテレビ番組（特にニュース番組）を聴いていて、分かりにくくて改善が必要と思うことがあるかについて、「そう思う」「ややそう思う」と回答した人のそう思う理由について尋ねたところ、以下の意見があげられている。

図表Ⅱ-2-27 通常のテレビ番組に改善が必要と思う理由 Q7-1（自由記入）

■ 画像や映像について

- ・画面を見て知りうる情報が大変多い。
- ・画面や中継の場面の説明が少ないため。
- ・図などを「こそあど言葉」を使って指し示しながらの説明が多く、分かりにくい。
- ・ドラマで特に多いが、映像だけでセリフがないと場面がよく分からなくて、内容が分かりにくいことがある。バラエティーでも状況が分かったほうが笑える。

- ・図表の説明が不十分である。「…とされています」とは誰が言ったのか、どこの団体が発表したのかははっきりしてもらいたい。
- ・黙って映像だけを見せ、音楽を流していると思われる画面がある。
- ・事故・事件の現場の様子について、映像の解説が簡単でよいので欲しい。
- ・リアルな映像、外国の方のコメントなど、できるだけ、そのまま放送する良さは理解できるが、字幕が多くなり、内容がいまいち分かりにくい。テレビとはいえ、写真やテロップのみで説明が不十分なことがあるので、解説でなくても出演者で工夫してくれると有難い。

■字幕、テロップ等への解説について

- ・テロップの部分を読みあげて欲しい。
- ・文字で表示されたものは、全て音声化していただきたい。
- ・「あて先はこちらです」のみがテロップで流れる。
- ・字幕が多くなってきているにも関わらず、それに対する説明がないので理解できないまま終わるといった感じである。
- ・字幕スーパーが出ていると、人物紹介、また、内容コメントなど言わないことが多いため。

■外国語、新語について

- ・ニュース報道番組で特に海外の人が話す場面がでた場合、通訳がない。音声で流してもらおうと分かりやすいと思う。
- ・ニュース番組に付いている副音声は日本語を英語に訳すもので、逆が可能であれば改善すべきかと思う。
- ・外人のコメントが分からない（下に言葉では出ているようだが、吹き替えにしていたきたい）。
- ・インタビューが英語だった場合、日本語訳をして欲しい(字幕だけのことがあるので)。
- ・外国語のインタビューなどで、音声での日本語訳を付けて欲しいと思う場面がある。
- ・海外のものの場合、字幕を見られないので、外国語では何を話しているのか分からない。
- ・外国人のキャスターの話に日本語の字幕が入るが、副音声で入れて欲しい。
- ・外国語や新語について、分かりやすい説明があると助かる。

■天気予報について

- ・天気予報であまりにも字幕が多い。
- ・天気予報で地域の名前は読みあげているのに内容は「ご覧の通りです」という場合。
- ・天気予報などで気温などを字幕で知らせているのが分からない。
- ・目が不自由なので、普通、見えているものとして話されているので、例えば「台風がこの方向に進む」と言われても、地名など具体的に出してくれないと分からない。
- ・解説がなく、天気予報や背景が流れている時。

■緊急速報について

- ・緊急案内のピンポン（テロップ）のような音とともに字幕が出るが、音だけでは何の速報なのか分からず不安。
- ・ニュースの途中でテロップが流れた場合、何が緊急なのか、どの地域なのか、簡単でもいいから音声で知りたい。実際、このアンケートを書いている途中でも何度となく

テロップが流れていた（東北での地震だった）。

- ・速報を知らせるビープ音だけでは、われわれ視力の無い人間は困ってしまう。目が見えないから情報を知りたくても知れないのは不公平な気がする。
- ・ニュース速報も文字と音だけでなく、言葉で伝えて欲しい。そうでないと速報としての意味がない。
- ・天気情報や警報情報が「ご覧の地域」とだけの説明では分からなかったり、緊急情報も音になるが、文字情報だけで分からない。

■「ご覧のように」について、内容を解説して欲しい

- ・「こちらをご覧下さい」と言われても分からない。
- ・「ご覧のとおりです」の言葉が、時間は十分あるのに使われる。
- ・状況が分かるように説明をして欲しい。画面上の「ここに問い合わせください」といわれても「どこに？」になってしまうので読み上げて欲しい。
- ・「詳しい情報は以下の通りです」「ご覧のような状況です」など、目で見て判断しなくてはならない表現が多い。
- ・宛先はこちらとか、お問い合わせはこちらにといつて、電話番号やメールアドレスを紹介しても視覚障害者には分からないので、やはり言葉で二度ほど繰り返し報じて欲しい。
- ・いろいろなところで思うが、特に選挙の開票速報の時など「ご覧の通りです」といわれ無音になり、見えない私達はさっぱりである。全てを読み上げるのは無理なら、せめて得票数の多い順に名前だけでも読み上げて欲しい。

■聞き取りにくい

- ・音声聞き取りにくい。
- ・声にフィルターをかけたものは聞きにくいので他の人の声にして欲しい。
- ・取材対象者の声質を変えている時、聞き取れない。
- ・ニュースを読むスピードをもう少しゆっくりにしていただけると理解しやすいと思う。

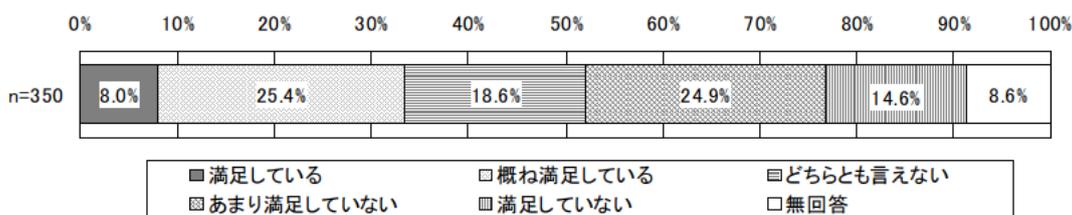
■その他

- ・繰り返して聴くことができない。
- ・誰のコメントがよく分からない。
- ・キャスター以外の方がインタビューやコメントを話している時、誰が話しているのか名前や所属を知らせて欲しい。

(3) リモコンやテレビの利用しやすさ

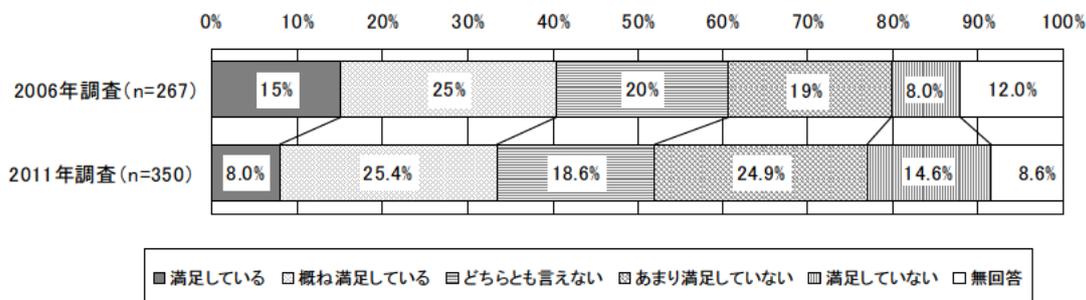
リモコンやテレビの利用しやすさについて尋ねたところ、「満足している」(8.0%)、「概ね満足している」(25.4%)を合わせた33.4%が満足していると回答している一方、「どちらとも言えない」が18.6%で、「満足していない」(14.6%)と「あまり満足していない」(24.9%)を合わせた39.5%が満足していないと回答している。

図表Ⅱ-2-28 リモコンやテレビの利用しやすさ Q8 (単数回答) n=350



2006年2月に実施した調査と比較すると、リモコンやテレビの使いやすさについて「満足」「概ね満足」との回答は2006年時点の40%から2011年時点では33.4%に減少している。

図表Ⅱ-2-29 リモコンやテレビの利用しやすさの2006年調査との比較



リモコンやテレビの利用しやすさについて、「あまり満足していない」「満足していない」と回答した人に満足していない理由について尋ねたところ、以下の意見があげられている。

図表Ⅱ-2-30 リモコンやテレビの利用しやすさに満足していない理由 Q8-1 (自由記入)

- 使い方が難しい
- ・機能がリモコン一つで便利だとは思いますが、複雑に感じてしまうので、なかなか把握できていない。視覚障害の人にはシンプルな製品がよいと思う。結局使いこなせない。
- ・リモコンについてはボタンがやたら多く、録画予約も家内にしてもらわないといけないので困っている。視覚障害者が使いやすいリモコンがあれば絶対購入したい。

- ・ボタンが多く、区別がしにくく、配列を覚えきれなかったり、忘れてしまう。
- ・リモコンボタンが多くて複雑。必要以上の機能がつきすぎて、全部利用できていない。
- ・リモコンに色々な機能が付いているのにそれが利用できない（例えばドラマをみながら天気予報や野球中継など）。
- ・ボタンが多すぎて覚えにくいものが多い。音声ガイドのあるものでも、全てを音声では操作できない。
- ・アナログの時であれば簡単だったが、地デジが難しい。弱視なので、少し見られるが大変。テレビとブルーレイと同じようで分かりにくい。

■操作しにくい

- ・視覚障害者には感知しにくい。
- ・同じ型のボタンが多くて分かりにくい。
- ・ボタンが多すぎる。0・9を探す時が大変。テンキーと隙間をあけて欲しい。
- ・ボタンの機能が分かりにくい。ボタンを押した時の反応が分かりにくい。トグル式の場合、基準点が分かりにくい。音声の説明が本体から放送音と重なって聞き取りにくい。再度機能を聴きたいときの操作が分かりにくい。
- ・ボタンを押しても音が出ないので有効かどうか分からない。ボタンが小さくて間隔がせまくて使いづらい。
- ・リモコンの操作ボタンが小さいので操作しにくい。ボタンとボタンの間がせまい。もう少しボタンを大きくしてオンオフや音の上下等を手でさわって分かるようにして欲しい。
- ・ボタンが多く、特にデジタル放送のメリットである情報が全く利用できない。しかし、録画機などのリモコンで、副音声に切り替えるボタンに5のボタンと同じ出っ張りの点が付いているので嬉しい。
- ・リモコンのボタンが多すぎて、使いこなせない。普段それほど使う必要のなさそうところは、枠の中に入れるとか、通常よく使うと思われるもののボタンを大きめにするなど、触って分かりやすい工夫をして欲しい。ただ最近のリモコンは「5」のところに印があるので参考をしている。

■音声案内が欲しい

- ・音声対応を標準化して欲しい。
- ・リモコン操作中、音声による誘導が完全でない。
- ・今使っているリモコンでチャンネル移動や音量調節はできるが、複雑なことは音声がないので確認できない。特に副音声にかえるボタンが分かりにくい。
- ・ボタンを押しても音声が出ないので、間違ったり分からなかったりする。
- ・メニューボタンを使う時、まったく音声によるガイドのないものが多い。アンケートの回答やクイズの答えなどを送信することが困難。
- ・ボタンが多すぎる。関係のないボタンを押してしまったりすることがよくあるので、間違えた場合には、いずれの場合でも音声で理由を報知して欲しいと思う。
- ・リモコンに表示されている内容が音声で確認できないのは不便だと思う。

■リモコンの共通化

- ・テレビの台数分リモコンが増えてしまうので、どのリモコンを使ってよいのか分からなくなるので、各メーカー共通の規格形状で操作できたらよいと思うため。
- ・メーカー各社により、デザイン・ボタンの形・並び順が様々で、統一性がない。あく

までも見ながら操作することが前提に作られている。

■初期設定に戻せない

- ・初期モードへ一括戻すボタンがない。
- ・指を少しでもずらしてしまっただけで誤操作をして意志に反して設定が変わってしまったけれど、画面を見なければ設定が変わったことすら気付かない。設定を初期状態に戻せないで、結局操作をして設定が仮に戻ってしまった後での自力での修正は無理である。
- ・うっかり他のボタンに触れると元に戻せなくなり、晴眼者をお願いすることになる。
- ・ミスタッチにより設定が変わり元に戻せないことがある。

■その他

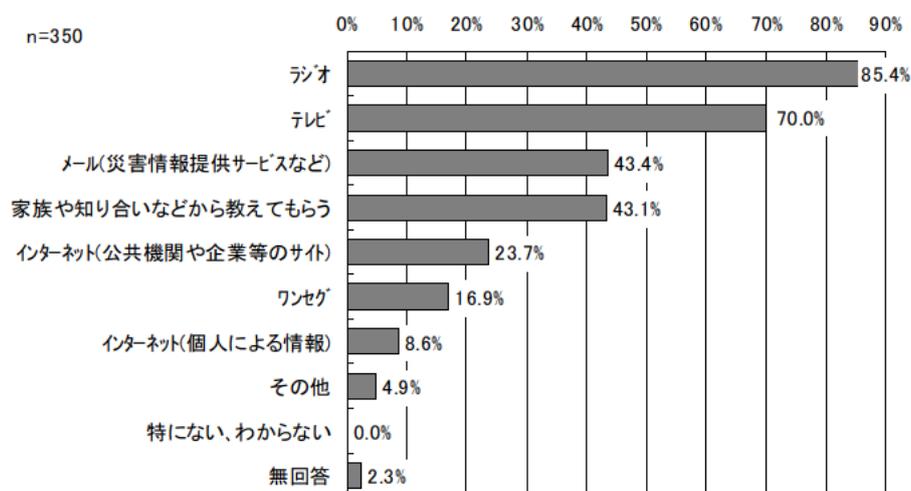
- ・動作したかどうかの確認ができない。
- ・電源を入れても音声で確認ができず表示が分からない。
- ・ボタンを押しても反応が遅いため画面がかわったか判断できず何回も押してしまう。
- ・テレビから離れた位置からリモコンを操作するときの向きが的確にできず、付かないことがある。付けてから声が出てくるまでの間があって、ついたかどうかすぐに分からない。

2.2.4 緊急時・災害時の情報提供について

(1) 緊急時・災害時に情報入手手段として期待しているもの

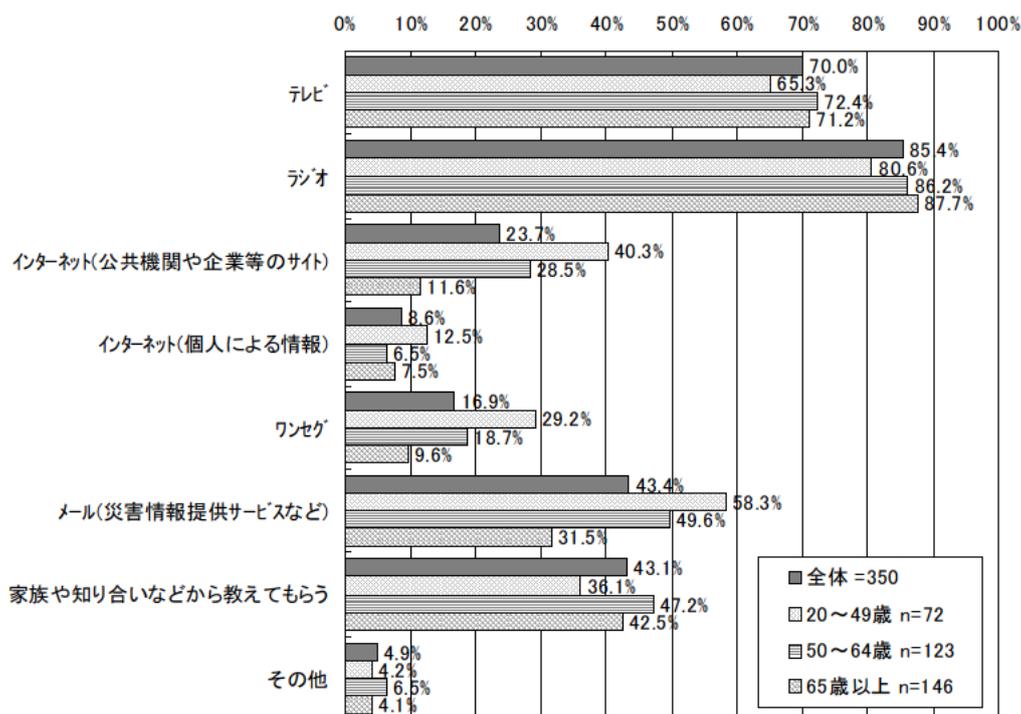
緊急時・災害時情報入手手段として期待しているものについて尋ねたところ、「ラジオ」が85.4%で最も割合が高く、ついで「テレビ」が70.0%、「メール（災害時情報提供サービスなど）」が43.4%、「家族や知り合いなどから教えてもらう」が43.1%で続いている。

図表Ⅱ 2 31 緊急時・災害時に情報入手手段として期待しているもの Q9
(複数回答) n=350



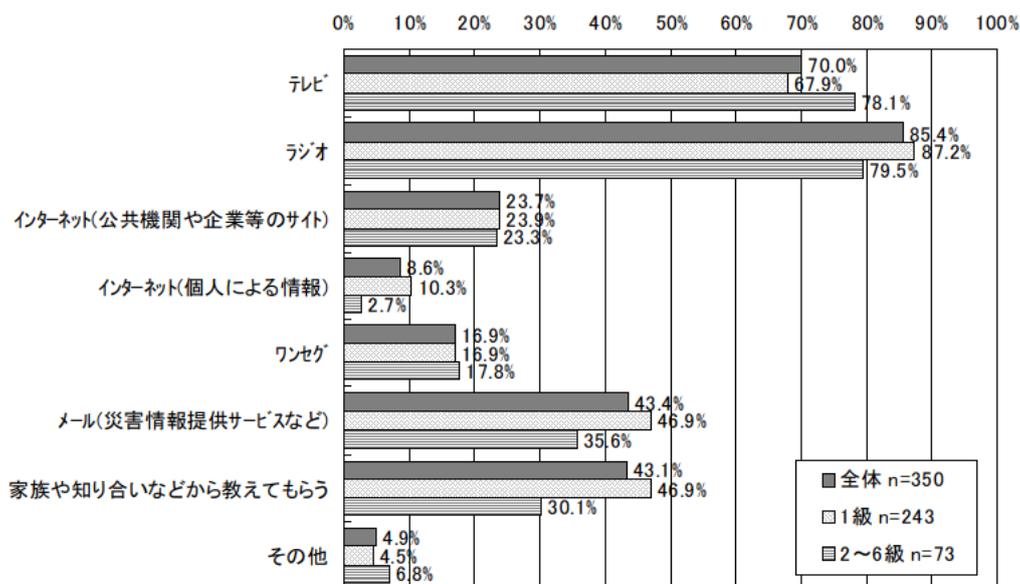
年齢別に緊急時・災害時情報入手手段として期待しているものをみると、他と比較して、「20～49歳」は「インターネット(公共機関や企業等のサイト)」(40.3%)、「メール(災害時情報提供サービスなど)」(58.3%)の割合が高くなっている。

図表Ⅱ-2-32 年齢別 緊急時・災害時に情報入手手段として期待しているもの Q9
(複数回答)



障害程度別に緊急時・災害時情報入手手段として期待しているものをみると、他と比較して、「1級」は、「メール（災害時情報提供サービスなど）」（46.9%）、「家族や知り合いなどから教えてもらう」（46.9%）、「2～6級」は「テレビ」（78.1%）の割合が高くなっている。

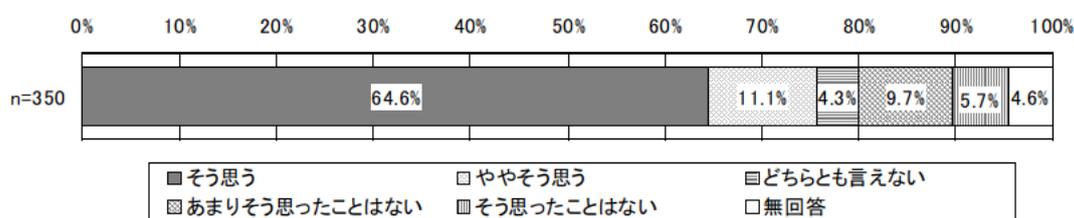
図表Ⅱ-2-33 障害程度別 緊急時・災害時に情報入手手段として期待しているもの Q9
（複数回答）



(2) 緊急時・災害時の緊急ニュースで、内容が判断できずに不便に思った経験

緊急時・災害時において、テレビ番組の放送中に緊急ニュース（地震発生、天気の急変、重大ニュース等）が入った場合、テロップで第一報が流れ、場合によっては通常の番組を中断して臨時報道番組が放送されることがあるが、警告音で第一報が流されても、どのような内容の緊急放送か（例えばニュース速報なのか、気象関係速報なのか）判断できずに、不便に思ったことがあるかについて尋ねたところ、「そう思う」が 64.6%を占めており、「ややそう思う」（11.1%）と合わせると、75.7%が不便に思ったことがあると回答している。

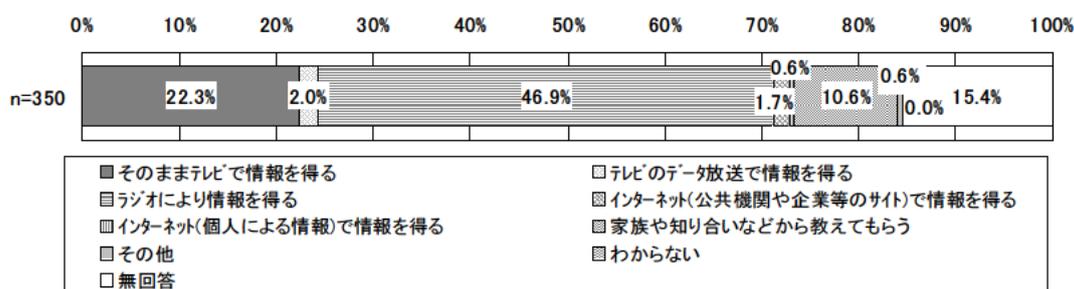
図表 II-2-34 緊急時・災害時の緊急ニュースで、内容が判断できずに不便に思った経験Q10（単数回答） n=350



(3) 緊急時・災害時により詳しい情報を知りたい際の対応方法

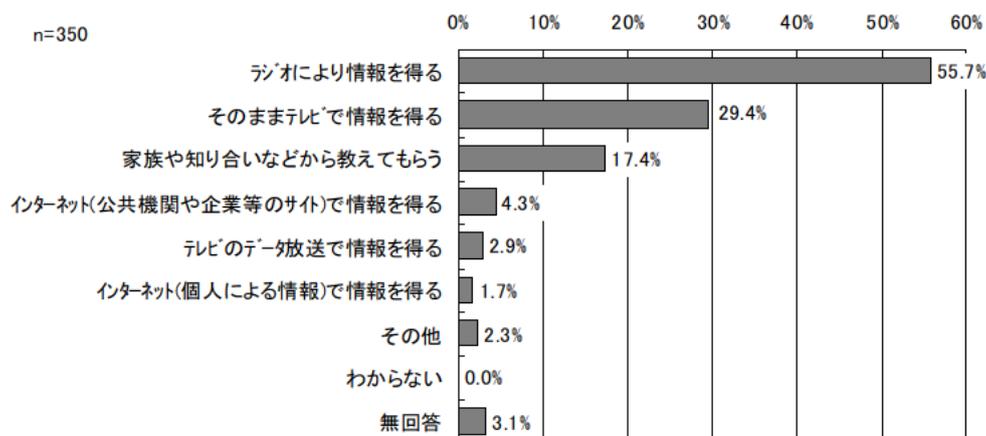
テロップで第一報を得て、より詳しい情報を知りたいと思った時、普段、どのような対応をしているかについて尋ねたところ、「ラジオにより情報を得る」が 46.9%で最も割合が高く、ついで「そのままテレビで情報を得る」が 22.3%を占めている。

図表 II-2-35 緊急時・災害時により詳しい情報を知りたい際の対応方法 Q10（単数回答） n=350



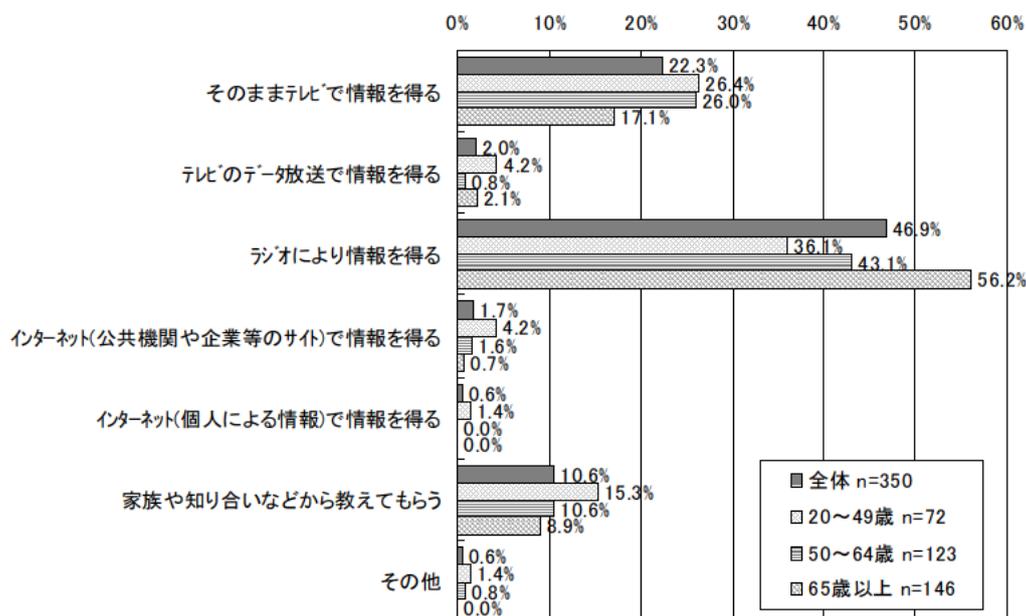
単数回答のところ、複数選択した人が多かったため、参考値として複数回答での集計を行ったものをみると、「ラジオにより情報を得る」が 55.7%で最も割合が高く、ついで「そのままテレビで情報を得る」が 29.4%、「家族や知り合いなどから教えてもらう」が 17.4%で続いている。

図表Ⅱ-2-36 緊急時・災害時により詳しい情報を知りたい際の対応方法 Q10
(複数回答) n=350



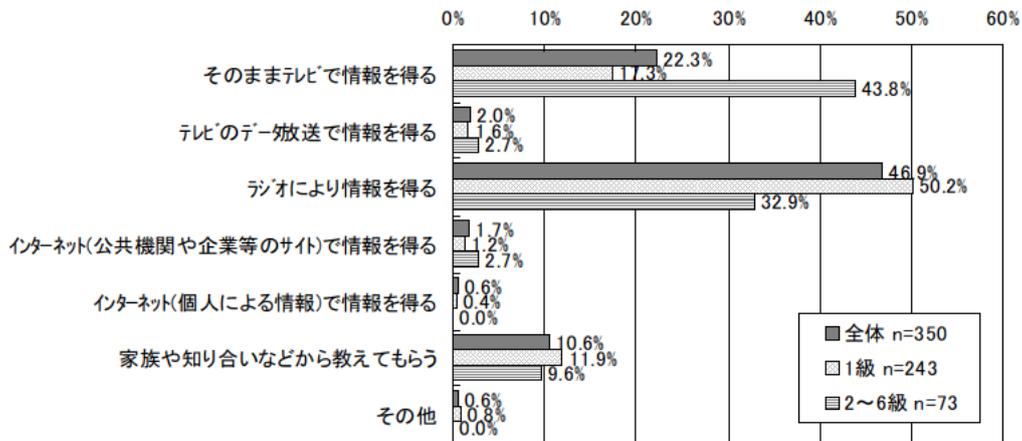
年齢別にテロップで第一報を得て、より詳しい情報を知りたいと思った時、普段、どのような対応をしているかをみると、他と比較して、「65歳以上」は「ラジオにより情報を得る」が56.2%と割合が高くなっている。

図表Ⅱ-2-37 年齢別 緊急時・災害時により詳しい情報を知りたい際の対応方法 Q10
(単数回答)



障害程度別にテロップで第一報を得て、より詳しい情報を知りたいと思った時、普段、どのような対応をしているかをみると、他と比較して、「1級」は「ラジオより情報を得る」(50.2%)、「2~6級」は「そのままテレビで情報を得る」(43.8%)の割合が高くなっている。

図表Ⅱ-2-38 障害程度別 緊急時・災害時により詳しい情報を知りたい際の対応方法
Q10 (単数回答)



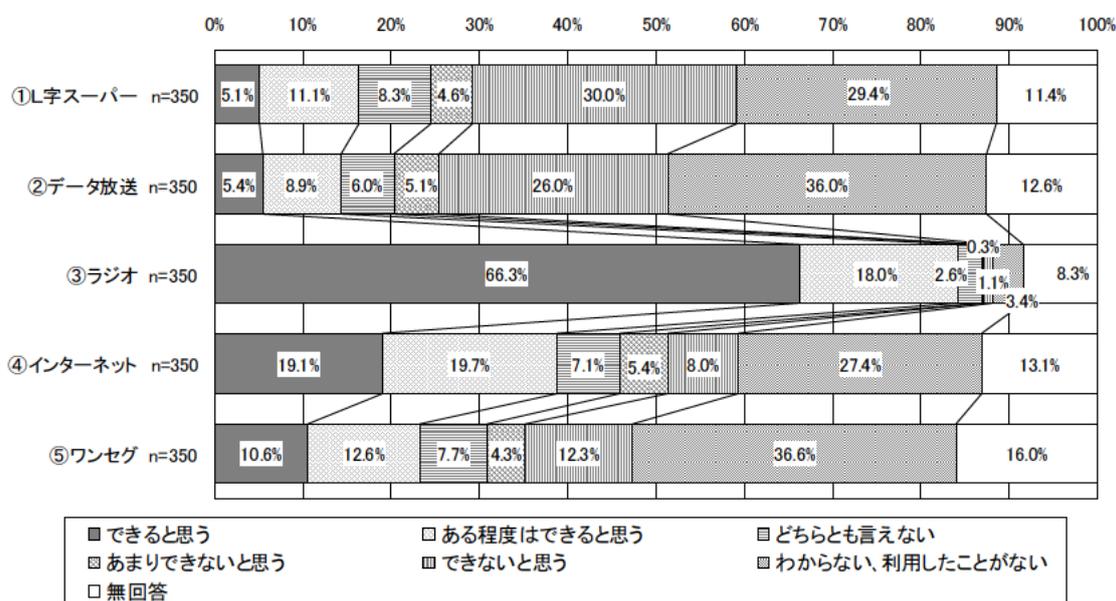
(4) 緊急時・災害時における各種メディアからの必要な情報入手

緊急時・災害時において、①L字スーパー、②データ放送、③ラジオ、④インターネット、⑤ワンセグによって情報が提供されている場合があるが、これらの方法によって必要な情報を入手することができるかについて尋ねたところ、「①L字スーパー」は、「できないと思う」(30.0%)、「あまりできないと思う」(4.6%)を合わせた34.6%ができないと思うと回答している。「②データ放送」についても、「できないと思う」(26.0%)、「あまりできないと思う」(5.1%)を合わせた31.1%ができないと思うと回答している。

「③ラジオ」は「できると思う」(66.3%)、「ある程度はできると思う」(18.0%)を合わせた84.3%ができると思うと回答している。

「④インターネット」は38.8%（「できると思う」19.1%、「ある程度はできると思う」19.7%）、「⑤ワンセグ」は23.2%（「できると思う」10.6%、「ある程度はできると思う」12.6%）が、できると思うと回答している。

図表Ⅱ-2-39 緊急時・災害時における各種メディアからの必要な情報入手
Q11（単数回答）n=350



上記の方法による情報入手について、「あまりできないと思う」「できないと思う」と回答した人にできないと思う理由について尋ねたところ、以下の意見があげられている。

図表Ⅱ-2-40 緊急時・災害時に各種メディアからの必要な情報が
入手できていないと思う理由 Q11-1（自由記入）

- ①L字スーパー
 - ・L字スーパーが見えない（音声化を切に希望する）。
 - ・L字スーパーは何についての情報が流れているのかを認識できない。
 - ・L字スーパーの場合、何の情報かは大きな文字で見やすいのだが、実際の内容は文字の流れが速くて読み取れないことが多い。
 - ・L字放送のみを読み上げる方法があればよいと思う。
- ②データ放送
 - ・ラジオ・ネットは音声での説明があるが、テレビ・データでは分からない。
 - ・文字情報だけでは、内容が分からない。
 - ・視力が無いので、視力を必要とする情報提供では、必要な情報が得られない。
- ③ラジオ
 - ・視覚障害者は耳からの情報が一番信用できるからラジオからの情報が一番よい。
- ④インターネット
 - ・普段、画面音声化ソフトを用いてネットを利用しているが、まだ音声で読めないサイトは多く、読めるものであっても目で読むよりはるかに時間がかかるので、緊急の際は間に合わない。

- ・目的のサイトへ行くまでに時間がかかりすぎる。
- ・インターネットは、回線の混雑等により情報にアクセスできない恐れがある。
- ・インターネットは、緊急時には使う余裕、暇がない。
- ・インターネットを立ち上げるまでに時間がかかるから。

■⑤ワンセグ

- ・見えないから、ワンセグは持っていない。
- ・電波障害を起こしやすい。
- ・ワンセグは電波が途切れることが多いから。
- ・ワンセグの場合は入手が困難な地域・場所がある。

■①～⑤全般

- ・メカニックなものには弱く、多機能なものが多すぎる。
- ・視覚障害であるため、音声で確認できない情報は利用できない。また、インターネットやワンセグ等は難しかったりで実用的でない。
- ・全盲であるため、字幕スーパーやデータ放送を見ることができないため。
- ・L字スーパーもデータ放送も文字情報なので視覚障害者には分かりにくいし、インターネットやワンセグについても興味のない人には操作ができない。
- ・警告音や文字だけでは情報が入手しにくい。音声でのガイドが欲しい。

(5) 緊急時・災害時の情報入手に関する要望・課題

緊急時・災害時の情報入手に関する要望や課題等について尋ねたところ、以下の意見があげられている。

図表Ⅱ 2 41 緊急時・災害時の情報入手に関する要望・課題 Q12（自由記入）

■L字ス パ 、テロップの読み上げ

- ・L字スーパーの情報の音声化を強く要望する。
- ・スーパーだけでなく、定時（30分・60分）で読み上げを。
- ・テロップの内容について音声での説明が必要。
- ・テレビでの地震速報について、テロップと同時に音声放送にして欲しい。
- ・緊急時に流れる字幕スーパーについても、音声による読み上げが可能なシステムの早急な開発と実用化を望む。

■副音声での情報提供

- ・テレビだと副音声で流して欲しい。
- ・インターネットやラジオを頼りにしているが、テレビはいつも利用しているので、字幕での速報だけでなく、副音声もしくは音声での割り込みをして欲しい。
- ・副音声でテロップを読み上げて欲しい。
- ・字幕を読んで欲しいにつきる。音声切り替えで字幕スーパーを読みあげて欲しい。
- ・特に重要な情報や身近な生活情報は音声で伝えて欲しい。テロップの内容は副音声で解説して欲しい。
- ・本来は音声で知らせていただきたいが番組の都合上そうもいかないと思うので、せめて副音声で解説して欲しい。

■音声で流して欲しい

- ・TVでも緊急の場合は設定の有無に関わらず、音声の流れたら安心である。
- ・緊急の場合は、文字だけでなく、音声情報で情報を出して欲しい。
- ・テレビでも警告音でなく、音声付で流して欲しい。
- ・テロップとして流れる際に副音声には関係なく、全て声に出してくれると有難い。
- ・緊急速報をぜひ音声化して欲しい。警告音も各局で統一された方がよいように思う。地震速報は強いゆれが予想される地域まで音声で情報提供していただければと思う。

■警告音の後の情報提供

- ・警告音のあと最低限度、「災害の種類、場所、規模」だけでも音声で伝えて欲しい。
- ・緊急速報の警告音の後に地震の場合だけでも音声で知らせてもらいたい。その時点で分かるのであれば、ある程度の地域でも知らせて欲しい。
- ・現実的には難しいと思うが、緊急速報の音声解説あるいは速報の場合は、押しボタンで音声解説が聞けるテレビリモコンの研究開発をしていただきたい。
- ・通常番組のニュース速報などに流れるチャイムは、内容が分からないことから、苛立ちと不安感をつのらせる。即時に音声での対応をお願いしたい。
- ・テロップの後データボタンを押すとその内容を読み上げてくれるようにしていただきたい。NHKはテレビにテロップ音が出た後ラジオにてフォローしていただいで大変助かっている。

■警告音について、緊急度や内容の区別がつくように

- ・速報の場合、音の違いで緊急または災害の区別がつくようにしていただきたい。
- ・緊急度や危険度によって音を変える。
- ・情報の内容によって警告音を変えてあると助かる。
- ・災害なのか、天気予報、選挙なのかなど、まず分かるようにして欲しい。内容も読んでくれるとよい。
- ・緊急速報のチャイムを「地震情報」「ニュース」「気象」など、具体的に音声にしていただくと不安が少し和らぐように思う。
- ・緊急時であることが誰にでも分かる警告音をしっかりと伝えて欲しい。
- ・前もってアラーム音を鳴らし、緊急時の報道によってメロディーの研究をして、副音声などによってその内容を伝えて欲しい。
- ・緊急放送の場合、チャイムは不安感をあおるのみである。ぜひ音声化してもらいたい。

■内容が把握できるように

- ・誰にでも分かりやすい言葉で情報を伝える必要がある。指示・勧告・命令などの正しい意味が理解されているか疑問である。外出時にあっては自分の所在地がどの情報に該当するのか理解できるか心配である。それが分かるような情報の伝達が心配である。
- ・テレビは、視覚にだけ訴えるのではなく、子どもやお年寄りの利用状況も考えて、ゆっくり話すなど工夫をして欲しい。
- ・ラジオでもTVでも細かい情報を知りたい。この町とかいった細かい情報。
- ・もっと細かく分かりやすく伝えて欲しい。

■番組を中止して情報提供

- ・聞きやすい警告音を発して簡潔に正しく知らせる。なおその時、番組での映像、声は

一時中止とする。

- ・緊急放送などは通常放送をやめて音声と文字の両方で放送し、全ての利用者が分かるようにする。

■携帯電話やインターネットでの情報入手

- ・携帯メールでデータを送信してもらいたい。
- ・緊急放送を読み上げないのであれば、メールによる情報提供を義務づけるようにして欲しい。
- ・携帯メールなどで情報を受けられるサービスを、もっと利用しやすくなるように、広報をしっかりとって欲しい。また、携帯電話契約時などに、そのサービスのことや必要と思われる情報を伝えて欲しい。
- ・東日本大震災の時は、テレビ、ラジオ、インターネットで情報を得ていた。ラジオが一番信頼できるツールである。また東北の知り合いはネットが一番に復旧したと聞く。Twitterなどリアルタイムであらゆる情報が得られるサイトは有難い。また、携帯電話は視覚障害者でも電話とメールは使っている。このことはよりメールでの情報配信は大変有用であるとする。
- ・携帯電話がもっとつながるようになって欲しい。それによるメールの情報が一番早いと思う。

■地域の情報提供、地方局からの情報提供

- ・必要な地域情報の入手方法が分からない。
- ・地元の放送局の情報を優先して音声で流して欲しい。
- ・居住地域のより詳しい情報を提供して欲しい。
- ・地域で身近で発生している災害について迅速に情報を提供して欲しい。

■公共の場、屋外での情報提供

- ・緊急時は市町村で（広報無線）放送して欲しい。
- ・自治体による屋外放送や広報車等による情報の拡散。
- ・地域の防災無線を利用することを忘れてはならないと思う。
- ・ラジオでの情報が一番確実だが、町の有線放送もあるので、できるだけ早い情報が得られたらと思う。

■ラジオによる情報入手

- ・ラジオからの情報入手が一番信頼できるので、今まで以上に充実して欲しい。
- ・ラジオの情報と携帯のメール情報を充実させて欲しい。
- ・緊急時に電源が遮断されたときに、小型で避難袋に収まるラジオ付きの地域防災放送が聴けるものがあればよい
- ・テレビ→何かがあったことが分かるが、緊急性のあるものはラジオに頼りたい。

■受信機の開発

- ・これから起こりうる東海・東南海・南海地震において、携帯電話は中継局が破壊されるので、確実に情報が入手できる独自の受信機を早急に製品化して欲しい。
- ・災害時、特に東日本大震災のような地震及び津波の際には、全ての情報手段が遮断する。その時、視覚障害者を含めた重度障害者に対する独自の信号を送れる受信機の開発をお願いしたい。
- ・緊急時における通報システムを多様化し、可能なメディアを総動員して緊急情報を伝

える努力をして欲しい。例えば、同報無線の個別受信機の普及、メールを利用した地域災害情報等。

■その他

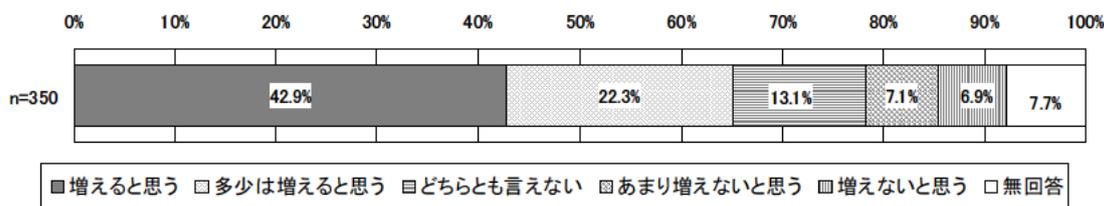
- ・場所にもよるのだろうが、ワンゼグの感度が悪い気がするが、情報入手後の問題、避難や避難所での問題の方がむしろ問題かも知れないと感じる。
- ・繰り返し情報を伝えて欲しい。
- ・地域とのつながりをもち、普段から民生委との情報交換。
- ・防災教室等で、具体的な指導が欲しい。
- ・緊急時、災害時に関してニュース専用のキャッチシステムがあればよい。

2.2.5 解説付き番組への要望等について

(1) 解説付き番組と今後のテレビ利用の関係

解説付き番組が増えれば、テレビを利用する時間が増えると思うかについて尋ねたところ、「増えると思う」(42.9%)、「多少は増えると思う」(22.3%)を合わせた65.2%が増えると思うと回答している。

図表Ⅱ-2-42 解説付き番組と今後のテレビ利用の関係 Q13 (単数回答) n=350



解説付き番組が増えれば、テレビを利用する時間が増えると思うかについて、上記で回答した理由について尋ねたところ、以下の意見があげられている。

図表Ⅱ-2-43 解説付き番組と今後のテレビ利用の関係の理由 Q13-1 (自由記入)

<増えると思う>

■内容を理解できるようになる

- ・内容がよく理解できる。
- ・情報がプラスされることで理解しやすくなる。
- ・音声解説があれば、TVを観て理解が深まると思う。今までは観ていても理解できないもどかしさや、見えないからいいやとTVを利用しないことが多いからである。
- ・場面情報が増えて理解しやすくなると思うから。
- ・情景が分かりやすくなるので助かると思う。
- ・番組(特にドラマ、映画)の内容が分かるようになるため。
- ・絵画、景色、旅行、動物の動きなどに解説が付けば、もっと利用する時間が増えると思う。

■内容を楽しめるようになる、興味を持つことができる

- ・もっと幅の広い情報が得られるようになるから。ドラマや映画をもっと楽しめるようになるから。
- ・内容がより正しく理解できて興味がわき、テレビを利用する楽しみが倍増するため。
- ・解説があることで、より分かりやすくなるので、楽しみも増えると思うため。
- ・内容が理解できることで、その番組に対する興味や関心も高まると思う。
- ・動きの激しいものや、ドラマの音のないシーンなど解説があれば、利用も楽しくなるだろうし、普通に見ている人との会話もスムーズになると思う。
- ・言うまでもなく、視覚障害者も家族や友人・知人と同じ番組を共有したいという思いが強く、解説付き放送が増えることよっての番組への興味が増してくると思う。

■番組の選択の幅が広がる

- ・現在の解説は一部であるが、全ての番組に解説が入れば、好きな番組を解説付きで聞くと考えるから。
- ・見たいと思う番組に解説が付けば、増える。
- ・理解できない番組として、諦めているものがあるから。
- ・見たい番組が増えると思う。
- ・解説があれば利用したいと思う番組がいくつかある。

■増えると思う番組

- ・ドラマなど、特に単発ドラマなどは利用すると思う。
- ・特にドラマは利用する機会が増えると思う。
- ・現在解説のないドラマはあまり見る気がしないが、解説があれば利用したいと思っている。
- ・ドラマ、ドキュメンタリーなどに解説があるといいと思う。
- ・今はドラマや映画をほとんど見ていないが、解説付きが増えると利用する機会が増えると思う。
- ・字幕のみの洋画の場合等、解説付きだと理解し易いため、利用する時間は増えると思う。
- ・外国映画などを見たいが、吹き替えでなかったりして利用することもできない。また、解説が付けば細かなところも分かり、より楽しめる。
- ・旅番組など情景が思い浮かぶようになるかと思う。
- ・もっと番組が楽しくなる。ニュース等が分かりやすくなる。

■その他

- ・弱視の者は、流れるテロップを読むのが困難で、より良い解説であれば利用したい。
- ・テレビの場合、長時間その場にいなければならないので、前もって、どの時間に何の番組を解説付きで放送すると予告していれば、利用する人が多くなると思う。
- ・解説が付けば、ラジオと同じように聴けるから。
- ・複数の方々と情報が共有できるから。
- ・目を頼りに見ていると見落とししたり、見間違えたりすることが多いので、解説があれば疲れないし、もっと楽しくなると思う。
- ・全盲者が一人でテレビ観賞している際には解説付きは大変有難いものだが、健常者とともに同番組を鑑賞する場合には、健常者にはうるさく思われるかもしれない。しか

し視覚障害者にとって、やはり解説付きはこの上なく有難いサービスなので、今後も促進して欲しいと願っている。

<どちらとも言えない・増えないと思う>

■解説の音声が悪魔になる

- ・少し賑やかすぎる。情緒がなくなる。
- ・声が悪魔になる。

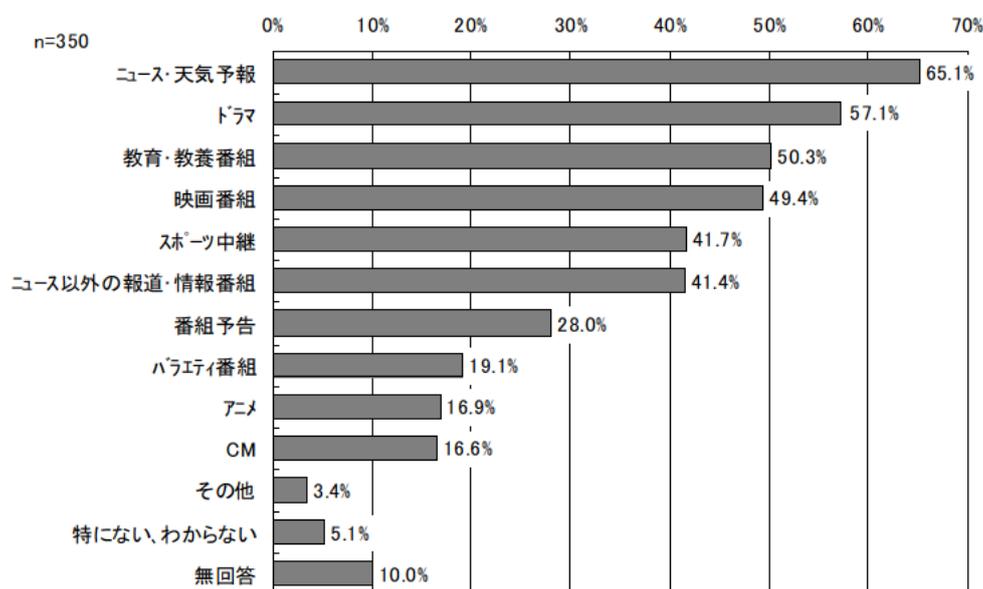
■その他

- ・ラジオの方が聞きやすい。
- ・ニュース・スポーツ以外についてあまり興味がないので。
- ・テレビを利用する時間がない。
- ・利用したいと思う番組が見つからない。面白いと思う番組が少ない。
- ・テレビでなくてもインターネット等で情報を入手すると思うから。

(2) 解説付き番組を増やして欲しい番組ジャンル

解説付き番組を増やして欲しい番組ジャンルについて尋ねたところ、「ニュース・天気予報」が65.1%で最も割合が高く、ついで「ドラマ」が57.1%、「教育・教養番組」が50.3%、「映画番組」が49.4%で続いている。

図表Ⅱ 2 44 解説付き番組を増やして欲しい番組ジャンル Q14 (複数回答) n=350



(3) 解説付き番組に対する要望等

解説付き番組に対する要望等について尋ねたところ、以下の意見があげられている。

図表Ⅱ 2 45 解説付き番組に対する要望等 Q16 (自由記入)

■文字の音声化

- ・ニュースの中の字を「ことば」に直して欲しい。
- ・料理番組では材料分量、ドラマなら主題歌名など番組に関するデータの情報が音で欲しい。
- ・ニュース速報のテロップを読んでもらいたい。

■解説付き番組を増やして欲しい

- ・デジタル化したのだから、解説放送を増やし、ユニバーサルなテレビ放送にして欲しい。
- ・解説放送が標準となるよう、番組製作の企画段階から必ず検討して欲しい。
- ・できるだけ多くの番組に付けて欲しい。
- ・副音声による解説の仕方はよく工夫されていると評価している。全ての番組に副音声の導入されることを望む。

■解説の聞きやすさ

- ・解説する人を、あまりころころと変えないで欲しい。
- ・あまり入れすぎても聞きにくい。

■解説を付けて欲しい番組等

- ・国会中継は、画面に映し出された映像を細かく説明して欲しい。
- ・特に映画、ドラマに解説を付けて欲しい。
- ・話題のドラマなどに早く解説が付くと、友人や職場でのコミュニケーションに役立つので、その日を楽しみにしている。また、長寿アニメも子どもとのコミュニケーションのため、解説が付くことを期待している。
- ・特に洋画に解説を入れて欲しい。
- ・懐かしい洋画、ドラマ(日本)(韓国)(中国)。
- ・全ての報道ニュース番組を解説付き放送にして欲しい。
- ・絵画、景色など、できる範囲で解説があると楽しさや理解度が倍増すると思う。
- ・まずニュース番組に解説放送を付けていただきたい。特に外国語については字幕で提供されるものは、視覚障害者の基本的人権に関わると思う。優先的に取り組んで欲しい。
- ・ニュース、情報番組の解説を増やして欲しい。ドキュメントやドラマも増やして欲しい。過去の番組にも解説付きを加えて欲しい。
- ・料理番組に付けて欲しい。できる限り解説が付けば助かる。
- ・相撲中継で勝敗を全て音声化して伝えて欲しい。

■解説付き番組であることの情報提供

- ・どの番組に副音声が付いているのかが、予め分かるようになっているといい。番組表とか、番組開始前に副音声であることを流して欲しい(現状では、切り替えなければ副音声であることが分からない)。
- ・番組情報、データ情報等の音声ガイドを。
- ・番組の中で(解説放送)があることを知らせて欲しい。

■解説の質の向上、分かりやすい解説に

- ・分かりやすい解説を付けて欲しい。
- ・丁寧に分かりやすくして欲しい。
- ・解説の質を上げて欲しい。また、どの解説も同じくらいの質であって欲しい。
- ・特にドラマ等、内容の流れを壊さないように雰囲気合った解説が希望である。
- ・戦いなどしている場面で誰と誰が戦っているかとか、どちらが倒れたとか解説してくれるとよい。
- ・一つでも多くの解説放送が増えることを望む。100%の解説が付けられなくても配役・曲名やドレスなどの衣装の色などだけでもあれば嬉しい。
- ・ドラマの解説で周囲の状況や登場人物の服装などを説明して欲しい。
- ・出演者の名前を読んで欲しい。
- ・動作の説明ばかりでなく服装の説明、色やデザインなどを入れて欲しい。
- ・ニュース番組等において特に言語放送については音声通訳を願う。映画、ドラマにおいては情景描写、役者の衣装や表情を詳しく。
- ・外国語の字幕読みをして欲しい。ドラマではセリフだけは理解できるが、それ以外の場面の転換や表情等の説明。何のコマーシャルかを教えて欲しい。視覚的なクイズの解説をして欲しい。
- ・音がない場面でも解説して欲しい。
- ・ニュースや外国語の用語の意味を丁寧に解説してもらいたい。旅行記や取材等は現地状況を言葉で表現して見えなくても内容が分かるようにお願いしたい。

■操作性の向上

- ・テレビ本体で（オンオフ）できるようにして欲しい。
- ・早い実現を望むとともに、利用したい時に扱いやすいものにして欲しい。
- ・女性の声、男性の声の切り替えができるとよい。解説者の音量が、自由に調整できるとよい。

■その他

- ・視覚障害の友達には、場面の説明は、例えば「悲しそうに」とか「怒って」とか受け取り方を決めるのは利用している側なのだからという意見もあるが、私はそうは思わない。やはり、表情など分からない以上、台本のように解説に組み込んでくれているほうがいい。
- ・画面よりかなり早く解説が流れて、一緒に見ている健常者に嫌がられることがある。
- ・解説付き番組を増やして欲しいことはもちろんであるが、番組制作者や出演者（アナウンサーやコメンテーターなど）がテレビ画面を見ているだけではなく、音声のみを聞いている人もいることを念頭に置いていただければ、その番組内容はいくらかでも変わっていくのではないかと思うのだが。
- ・視覚障害者にとって本当に必要な解説について、当事者をメインに検討して欲しい。第2 音声を有効に使って欲しい。

(4) BS放送やCS放送、CATVの独自チャンネルにおける解説放送に対する意見等

BS放送やCS放送、CATVの独自チャンネルにおける解説放送に対して、以下の意見があげられている。

図表Ⅱ 2 46 BS放送やCS放送、CATVの独自チャンネルにおける解説放送に対する意見等 Q17（自由記入）

■解説を付けて欲しい

- ・BS放送にも解説放送を増やして欲しい。
- ・CATVで受信して地域番組をよく利用している。身近な番組だけにいつも解説があればと思うことがある。またBS放送も解説付きの番組を増やして欲しい。
- ・BSなどには解説の付いている番組がほとんどないように思うので、ぜひ付けて欲しい。
- ・BSやCSも地上波テレビと同じく、誰が聞いても分かりやすい解説を。
- ・周囲の状況も解説して欲しい。
- ・BS放送やCS放送、CATV（ケーブルテレビ）の独自のチャンネルにおいても、地上テレビ放送と同様、解説放送を実施して欲しい。

■解説を付けて欲しい番組等

- ・特に映画、ドラマに解説を付けて欲しい。
- ・映画番組に関して日本語吹替版の方を増やして欲しい。
- ・全ての報道ニュース番組には解説付き放送にして欲しい。
- ・再放送（地上波）で解説があったのに、CSなどで放送されると解説の無いものが多くて困る。CSだからBSだからということで違いはないと思う。
- ・ショッピング番組で商品番号、電話番号を簡単に知りたい。
- ・CATVのショップチャンネルを利用しているが、商品番号が常に分かるようにして欲しい。
- ・スポーツ中継の時、もう少し詳しく解説して欲しい（サッカー・ラグビー等）。

■その他

- ・要望は地上波テレビ放送と同様であるが、地上波テレビ放送よりも視覚障害に対する配慮が遅れているように思う。速やかな対応を願いたい。
- ・視覚障害者が無料で利用できる解説放送専用のチャンネルを設けて欲しい。
- ・どんな方法や形であれ解説付き放送は増えて欲しいと思う。特に利用したい番組やどんな番組があるのかを一見で分かるような解説があれば、視覚障害者でももっともっとテレビに親しめるし活用もできるのではないか。
- ・特に有料の場合は解説を付加して欲しいと思う。
- ・有料のCS放送を受信しているが、視覚的情報の部分を少なくすると同時に、解説付き放送を増やす分については、利用者から料金を取るほうを考えて、充実に努めて欲しい。

3. 高齢者アンケート調査結果

3.1 アンケート調査概要

実施期間	2011年8月11日～2011年9月7日																		
対象地域	全国47都道府県																		
配布対象者	65歳以上の男女376人																		
配布方法	特定非営利活動法人ニッポン・アクティブライフ・クラブ（NALC）の全国本部から、各都道府県支部に対して調査票を郵便で配布し、各都道府県支部から、各回答者に郵便または直接手渡しで配布し、郵便にて回収した。																		
配布内訳	<p>配布対象者は以下のように配布した。</p> <p>■男女比</p> <p>全国の男女比はほぼ半数であることから、1対1とした。</p> <p>※高齢者の性别人口（単位：千人）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>計</th> <th>男性</th> <th>女性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>29,007</td> <td>12,401</td> <td>16,606</td> </tr> <tr> <td>100.0%</td> <td>42.8%</td> <td>57.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>（資料）総務省統計局「平成21年10月1日現在推計人口」</p> <p>■年齢構成</p> <p>65歳以上の人口の年齢構成は、平成21年10月1日現在、「65歳以上74歳以下」及び「75歳以上」で52.7%、47.3%であることから、半数ずつとした。</p> <p>※高齢者の年齢别人口（単位：千人）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>計</th> <th>65～74歳</th> <th>75歳以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>29,007</td> <td>15,295</td> <td>13,712</td> </tr> <tr> <td>100.0%</td> <td>52.7%</td> <td>47.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>（資料）総務省統計局「平成21年10月1日現在推計人口」</p>	計	男性	女性	29,007	12,401	16,606	100.0%	42.8%	57.2%	計	65～74歳	75歳以上	29,007	15,295	13,712	100.0%	52.7%	47.3%
計	男性	女性																	
29,007	12,401	16,606																	
100.0%	42.8%	57.2%																	
計	65～74歳	75歳以上																	
29,007	15,295	13,712																	
100.0%	52.7%	47.3%																	
有効回収数	339件（90.2%）																		

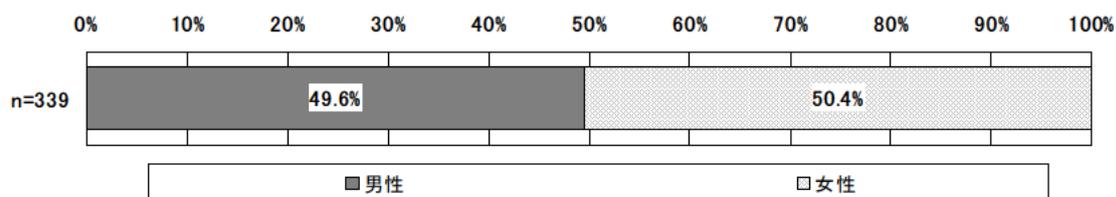
3.2 調査結果

3.2.1 回答者属性

(1) 性別

性別について尋ねたところ、49.6%が男性、50.4%が女性である。

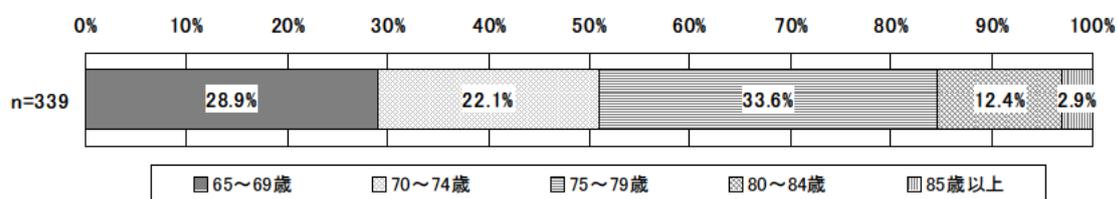
図表Ⅱ-3-1 性別 Q18 (単数回答) n=339



(2) 年齢

年齢について尋ねたところ、「65～74歳」が51.0%、「75歳以上」が48.9%となっている。

図表Ⅱ-3-2 年齢 Q19 (単数回答) n=339



(3) 居住地

居住している都道府県別の回収状況は下表のとおりである。

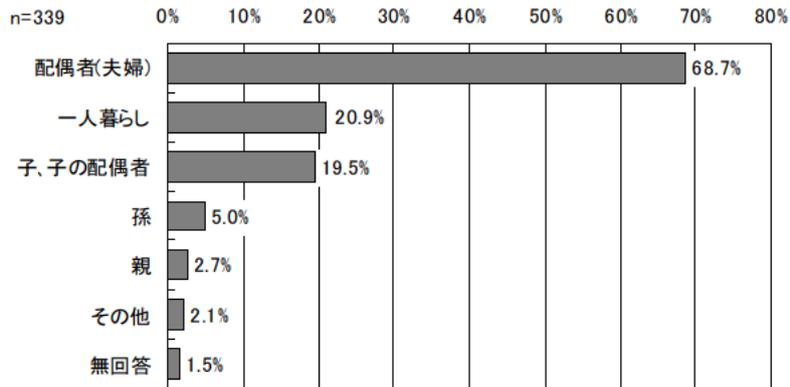
図表Ⅱ 3 3 居住地 Q20 (単数回答) n=339

都道府県名	件数	%
北海道	7	2.1
青森県	6	1.8
岩手県	6	1.8
宮城県	6	1.8
秋田県	6	1.8
山形県	9	2.7
福島県	6	1.8
茨城県	6	1.8
栃木県	8	2.4
群馬県	8	2.4
埼玉県	8	2.4
千葉県	9	2.7
東京都	15	4.4
神奈川県	6	1.8
新潟県	8	2.4
富山県	8	2.4
石川県	8	2.4
福井県	8	2.4
山梨県	5	1.5
長野県	8	2.4
岐阜県	7	2.1
静岡県	6	1.8
愛知県	7	2.1
三重県	8	2.4
滋賀県	6	1.8
京都府	6	1.8
大阪府	15	4.4
兵庫県	6	1.8
奈良県	8	2.4
和歌山県	6	1.8
鳥取県	8	2.4
島根県	6	1.8
岡山県	6	1.8
広島県	8	2.4
山口県	6	1.8
徳島県	8	2.4
香川県	6	1.8
愛媛県	8	2.4
高知県	6	1.8
福岡県	6	1.8
佐賀県	5	1.5
長崎県	6	1.8
熊本県	5	1.5
大分県	6	1.8
宮崎県	8	2.4
鹿児島県	8	2.4
沖縄県	6	1.8
無回答	1	0.3
全体	339	100.0

(4) 同居者

同居している人について尋ねたところ、「配偶者（夫婦）」が 68.7%、「一人暮らし」が 20.9% 「子、子の配偶者」が 19.5%となっている。

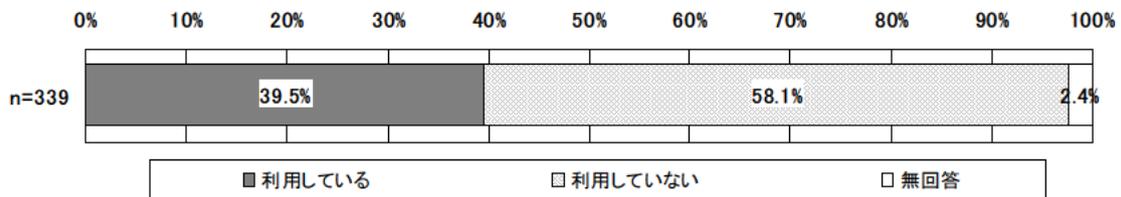
図表Ⅱ-3-4 同居者 Q21（複数回答） n=339



(5) インターネットの利用状況

インターネットの利用状況について尋ねたところ、「利用している」が 39.5%、「利用していない」が 58.1%となっている。

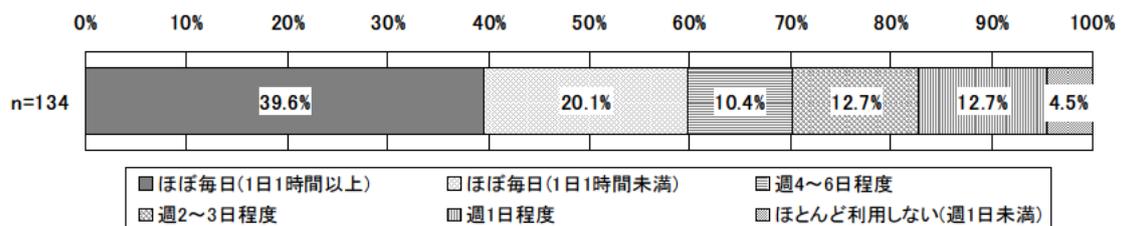
図表Ⅱ-3-5 インターネットの利用状況 Q23（単数回答） n=339



(6) インターネットの利用頻度

インターネットの利用頻度について尋ねたところ、「ほぼ毎日（1日1時間以上）」が 39.6%で最も割合が高く、ついで「ほぼ毎日（1日1時間未満）」が 20.1%で、ほぼ毎日利用している人が6割を占めている。

図表Ⅱ-3-6 インターネットの利用頻度 Q23-1（単数回答） n=134

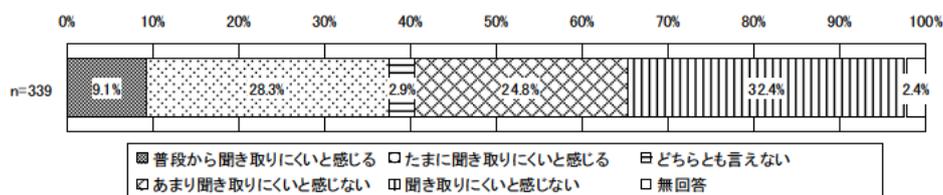


(7) 普段、テレビを視聴する際の音声の聞き取りにくさ

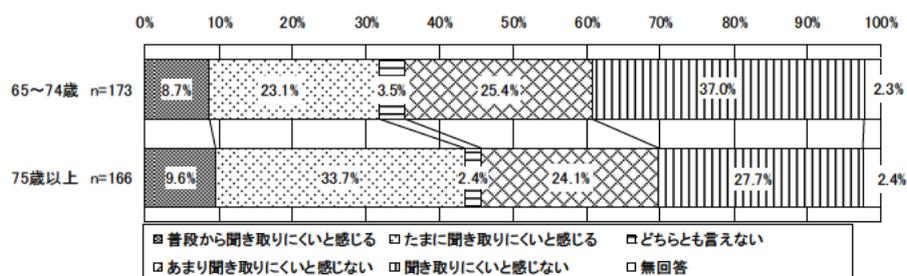
普段、テレビを視聴する時、音声の聞き取りにくさを感じるかどうかについて尋ねたところ、「普段から聞き取りにくいと感じる」(9.1%)、「たまに聞き取りにくいと感じる」(28.3%)を合わせた37.4%が聞き取りにくさを感じている。

なお、年齢別にみると、65～74歳では、「普段から聞き取りにくいと感じる」(8.7%)、「たまに聞き取りにくいと感じている」(23.1%)を合わせた3割強(31.8%)が聞き取りにくいと回答している。一方、75歳以上では、「普段から聞き取りにくいと感じる」(9.6%)、「たまに聞き取りにくいと感じている」(33.7%)を合わせた4割強(43.3%)が聞き取りにくいと回答している。

図表Ⅱ 37 普段、テレビを視聴する際の音声の聞き取りにくさ Q22(1)
(単数回答) n=339



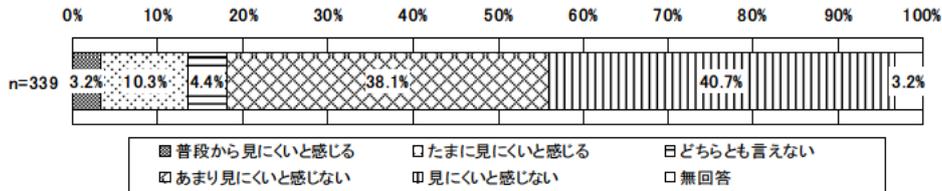
図表Ⅱ 38 年齢別 普段、テレビを視聴する際の音声の聞き取りにくさ Q22(1)
(単数回答) n=339



(8) 普段、テレビを視聴する際の画面の見にくさ

普段、テレビを視聴する時、画面の見にくさを感じるかどうかについて尋ねたところ、「普段から見にくいと感じる」(3.2%)、「たまに見にくいと感じる」(10.3%) 合わせた 13.5%が見にくさを感じている。

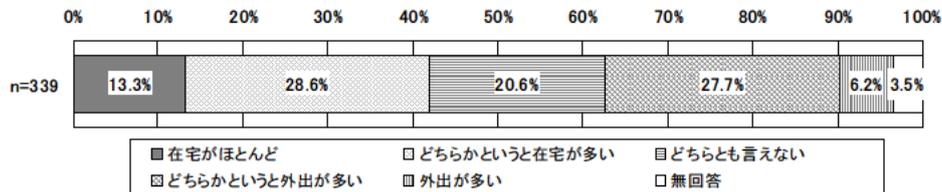
図表Ⅱ-3-9 普段、テレビを視聴する際の画面の見にくさ Q22(2) (単数回答) n=339



(9) 普段の生活様式

普段の生活様式が在宅中心か外出中心かについて尋ねたところ、「在宅がほとんど」(13.3%)、「どちらかという在宅が多い」(28.6%)を合わせた在宅が多い人が 41.9%、「外出が多い」(6.2%)、「どちらかという外出が多い」(27.7%)を合わせた外出が多い人が 33.9%となっており、在宅が多い人が若干多い。

図表Ⅱ-3-10 普段の生活様式 Q24 (単数回答) n=339

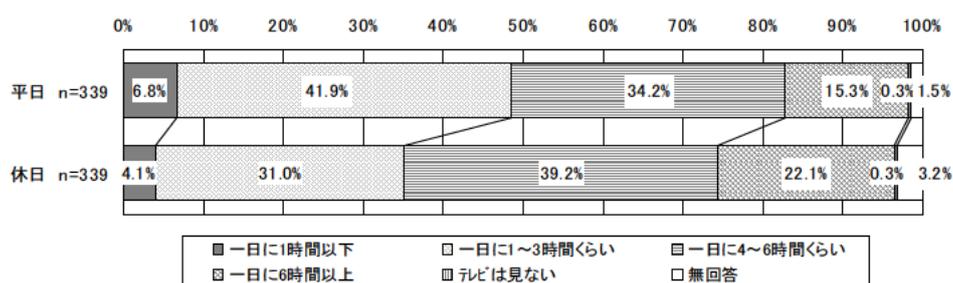


3.2.2 一般的なテレビ番組及び字幕・手話番組の視聴状況について

(1) 普段のテレビ視聴状況

平均すると、一日にどれくらいテレビをみているかについて尋ねたところ、平日は、「一日に1～3時間くらい」が41.9%で最も割合が高く、ついで「一日に4～6時間くらい」が34.2%となっている。休日は「一日に4～6時間くらい」が39.2%で最も割合が高く、ついで「一日に1～3時間くらい」が31.0%となっている。

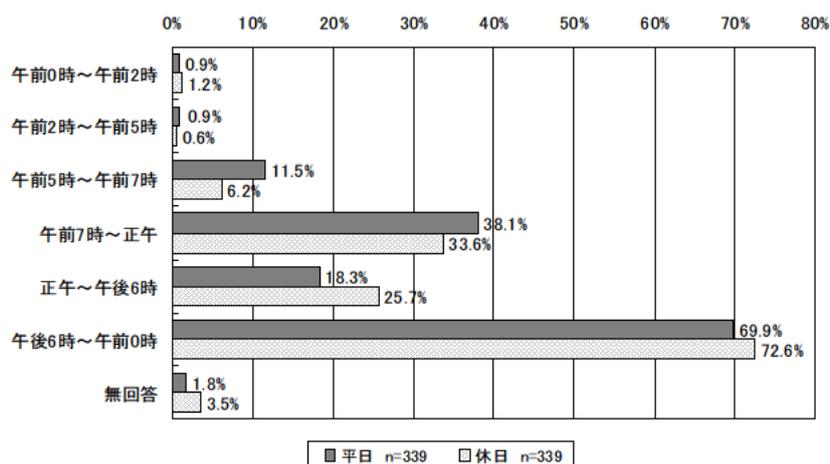
図表Ⅱ-3-11 普段のテレビ視聴状況 Q1（単数回答）n=339



(2) テレビをよく見る時間帯

1日のうちで、テレビをよく見る時間帯について尋ねたところ、平日、休日とも「午後6時～午前0時」の割合が高く、平日が69.9%、休日が72.6%を占めている。

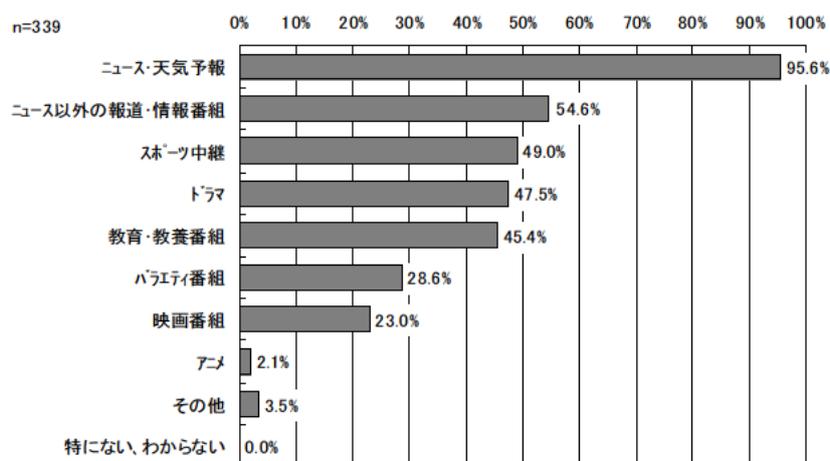
図表Ⅱ-3-12 テレビをよく見る時間帯 Q2（複数回答）n=339



(3) 普段よく見るテレビ番組のジャンル

普段よくみるテレビ番組のジャンルについて尋ねたところ、「ニュース・天気予報」が95.6%で最も割合が高く、ついで「ニュース以外の報道・情報番組」が54.6%、「スポーツ中継」が49.0%、「ドラマ」が47.5%、「教育・教養番組」が45.4%の順となっている。特に他の対象者の調査結果と比較すると、「ドラマ」の回答率が低位であることが特徴的である。

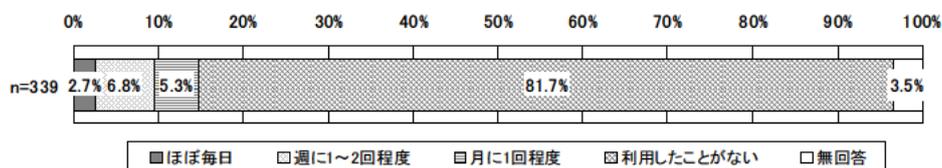
図表Ⅱ-3-13 普段よく見るテレビ番組のジャンル Q3（複数回答）n=339



(4) インターネットを通じて配信される日本のテレビ局のテレビ番組の視聴状況

インターネットを通じて配信される日本のテレビ局のテレビ番組（テレビで過去に放映した番組）を、どの程度視聴しているかについて尋ねたところ、「利用したことがない」が81.7%を占めており、一方、「利用している」は14.8%と1割強となっている。

図表Ⅱ-3-14 インターネットを通じて配信される日本のテレビ局のテレビ番組の視聴状況 Q4（単数回答）n=339

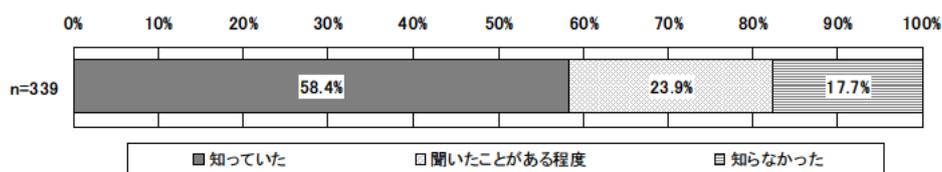


3.2.3 字幕付き番組について

(1) 字幕付き番組の認知状況

字幕付き番組の認知状況について尋ねたところ、「知っていた」(58.4%)、「聞いたことがある程度」(23.9%)、「知らなかった」(17.7%)となっており、8割の方は認知している。

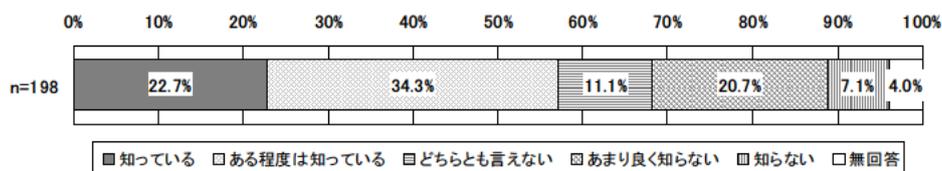
図表Ⅱ-3-15 字幕付き番組の認知状況 Q5 (単数回答) n=339



(2) 字幕付きで見られる番組の認知状況

字幕付き番組を「知っていた」と回答した人について、具体的にどんな番組を字幕付きで見られるか知っているかについて尋ねたところ、「知っている」(22.7%)、「ある程度は知っている」(34.3%)を合わせた半数(57.0%)が「知っている」と回答している。一方、「あまり良く知らない」(20.7%)、「知らない」(7.1%)を合わせた27.8%が知らないと回答している。

図表Ⅱ-3-16 字幕付きで見られる番組の認知状況 Q5-1 (単数回答) n=198

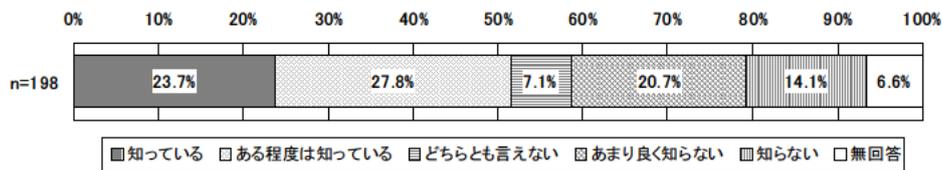


(3) 字幕を見るための操作方法の認知状況

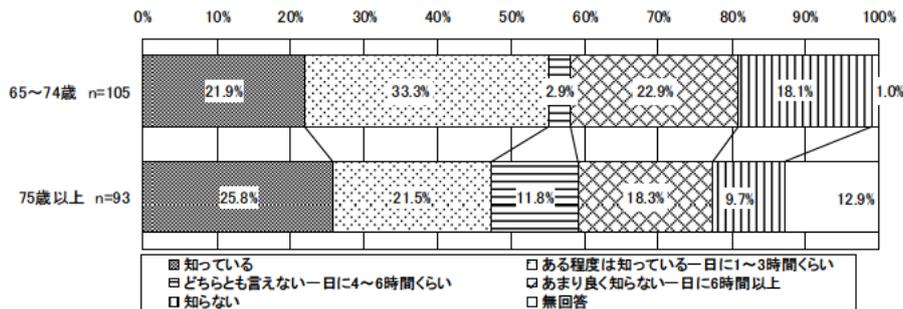
字幕付き番組を「知っていた」と回答した人について、字幕を見るための操作方法の認知状況について尋ねたところ、「知っている」(23.7%)、「ある程度は知っている」(27.8%)を合わせた半数(51.5%)が知っていると回答している。

なお、年齢別にみると、65～74歳では、「知っている」(21.9%)、「ある程度は知っている」(33.3%)を合わせた過半数(55.2%)が知っていると回答している。一方、75歳以上では、「知っている」(25.8%)、「ある程度は知っている」(21.5%)を合わせた半数弱(47.3%)が知っていると回答している。

図表Ⅱ-3-17 字幕を見るための操作方法の認知状況 Q5-2 (単数回答) n=198



図表Ⅱ-3-18 年齢別 字幕を見るための操作方法の認知状況 Q5-2 (単数回答) n=198

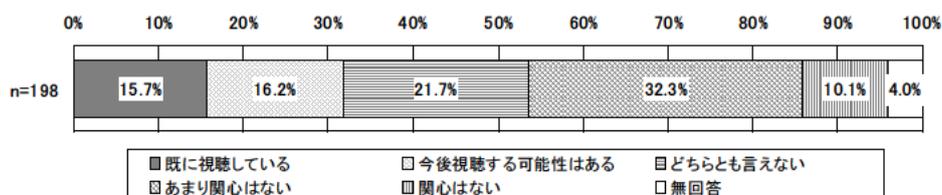


(4) 字幕付き番組を視聴することへの関心度

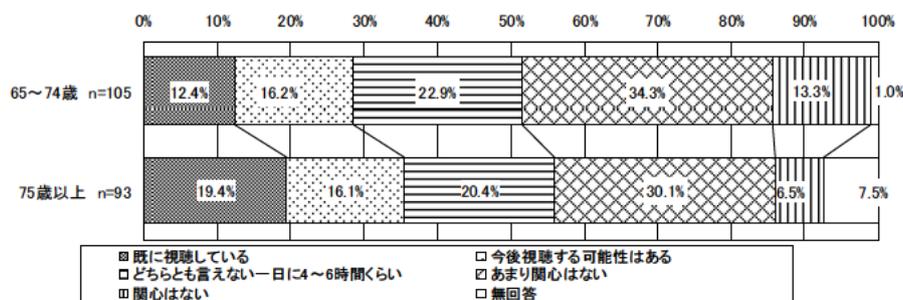
字幕付き番組を「知っていた」と回答した人について、字幕付き番組を視聴することへの関心度について尋ねたところ、「既に視聴している」(15.7%)、「今後視聴する可能性はある」(16.2%)を合わせた31.9%の人は関心を持っている。一方、「あまり関心はない」(32.3%)、「関心はない」(10.1%)を合わせた4割強(42.4%)は関心がない。

なお、年齢別にみると、65～74歳では、「あまり関心はない」(34.3%)、「関心はない」(13.3%)を合わせた半数弱(47.6%)は関心がないと回答している。一方、75歳以上では、「あまり関心はない」(30.1%)、「関心はない」(6.5%)を合わせた4割弱(36.6%)は関心がないと回答しており、75歳以上の関心の方が高い傾向がうかがえる。

図表Ⅱ-3-19 字幕付き番組を視聴することへの関心度 Q6 (単数回答) n=198

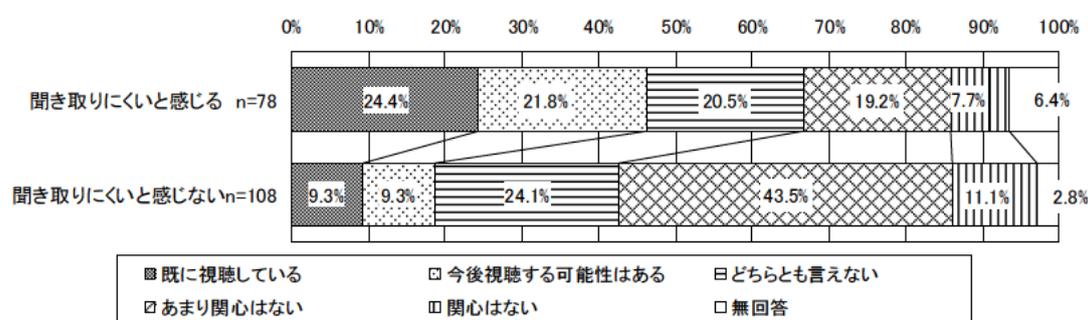


図表Ⅱ-3-20 年齢別 字幕付き番組を視聴することへの関心度 Q6 (単数回答) n=198



また、テレビを視聴する時の音声の聞き取りにくさ別にみると、聞き取りにくいと感じる人では、「既に視聴している」(24.4%)、「今後視聴する可能性はある」(21.8%)を合わせた半数弱(46.2%)の人は関心をもっている。一方、「あまり関心はない」(19.2%)、「関心はない」(7.7%)を合わせた25%強(26.9%)は関心がない。一方、聞き取りにくいと感じない人では、「あまり関心はない」(43.5%)、「関心はない」(11.1%)を合わせた過半数(54.6%)は関心がないと回答しており、聞き取りにくいと感じる人の関心が高い傾向がうかがえる。

図表 II 3 21 音声の聞き取りにくさ別 字幕付き番組を視聴することへの関心度 Q6
(単数回答) n=186



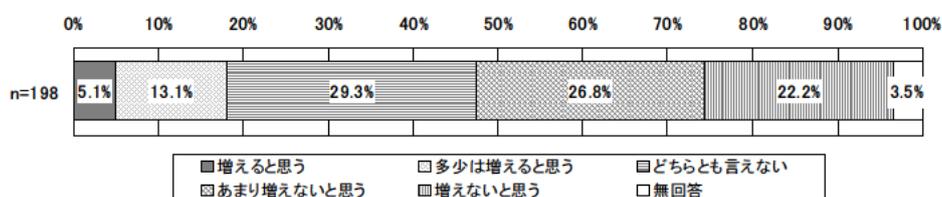
(5) 字幕付き番組の増加に伴ってテレビ視聴時間が増加すると思うか

字幕付き番組を「知っていた」と回答した人に、テレビ番組において、字幕付き番組が増えればテレビを見る時間は増えると思うかについて尋ねたところ、番組の内容を説明したり演出効果を高めたりしているが、こうした文字情報により番組内容をどの程度理解できていると感じているかをみると、「増えると思う」(5.1%)、「多少は増えると思う」(13.1%)を合わせた18.2%が増えると思うと回答している。一方、「あまり増えないと思う」(26.8%)、「増えないと思う」(22.2%)を合わせた半数(49.0%)は「増えない」と回答している。

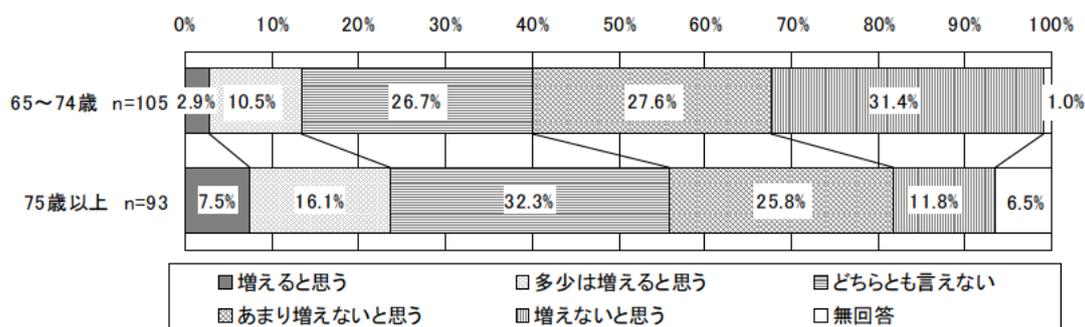
なお、年齢別にみると、65～74歳では、「増えると思う」(2.9%)、「多少は増えると思う」(10.5%)を合わせた1割強(13.4%)が増えると思うと回答している。一方、75歳以上では、「増えると思う」(7.5%)、「多少は増えると思う」(16.1%)を合わせた2割強(23.6%)が増えると思うと回答しており、75歳以上の視聴時間が増える傾向がうかがえる。

図表Ⅱ-3-22 字幕付き番組の増加に伴ってテレビ視聴時間が増加すると思うか

Q7 (単数回答) n=198

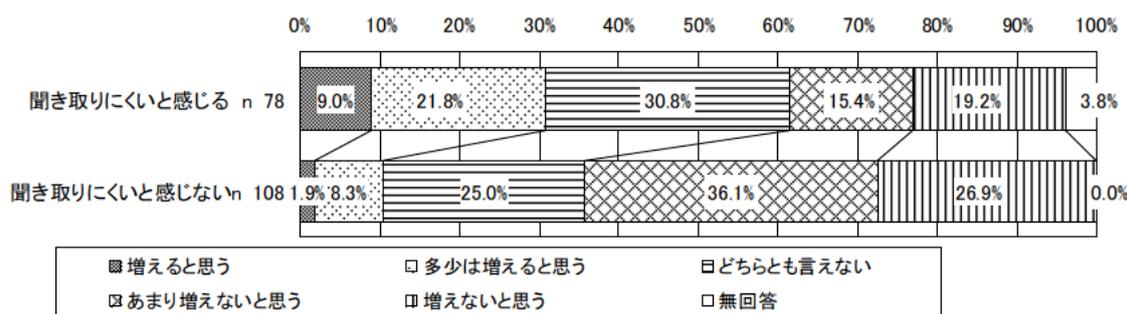


図表Ⅱ-3-23 年齢別 字幕付き番組の増加に伴ってテレビ視聴時間が増加すると思うか Q7 (単数回答) n=198



また、音声の聞き取りにくさ別にみると、聞き取りにくいと感じる人では、「増えると思う」(9.0%)、「多少は増えると思う」(21.8%)を合わせた3割(30.8%)が増えると思うと回答している。一方、聞き取りにくいと感じない人では、「増えると思う」(1.9%)、「多少は増えると思う」(8.3%)を合わせた1割(10.2%)が増えると思うと回答しており、聞き取りにくいと感じる人の視聴時間が増える傾向がうかがえる。

図表Ⅱ 3 24 音声の聞き取りにくさ別 字幕付き番組の増加に伴って
テレビ視聴時間が増加すると思うか Q7 (単数回答) n=186



字幕付き番組が増えれば、テレビを見る時間が増えると思うかについて、上記で回答した理由について尋ねたところ、以下の意見があげられている。

図表Ⅱ 3 25 字幕付き番組の増加に伴ってテレビ視聴時間が増加すると思うかの
判断理由 Q7 1 (自由記入)

- <増えると思う>
- 理解が深まる
 - ・言葉で聞き、同時に文章で見ることにより、より理解が深まるから。
 - 聴覚障害の人にとって役立つ
 - ・聴覚障害の人や難聴の人、高齢のため聞き取りにくい人にはとても役に立っているから。
 - ・耳が遠くなってきたから。耳が遠くなる人が増えるから。
- <どちらとも言えない・増えないと思う>
- 目に負担が増える
 - ・目に負担が増えるから、見る時間は減少する。
 - ・映像が付いていると、見るのに邪魔になる。
 - 文字が速すぎ追い切れない
 - ・高齢になると読解力が低下するが、現在の字幕は速すぎる。
 - ・高齢になるにつれ、文字を追ってまでしてテレビを見なくともよくなる。

■ながら仕事ができなくなる

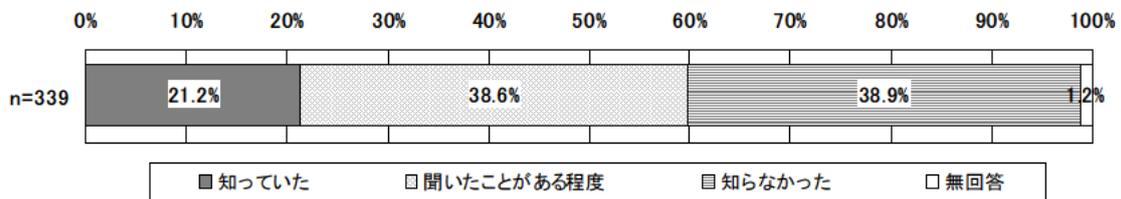
・字幕では、ながらで、他の仕事ができない。

3.2.4 解説付き番組について

(1) 解説付き番組の認知状況

解説付き番組の認知状況について尋ねたところ、「知っていた」(21.2%)、「聞いたことがある程度」(38.6%)を合わせた59.8%が認知している一方、「知らなかった」が38.9%を占めている。

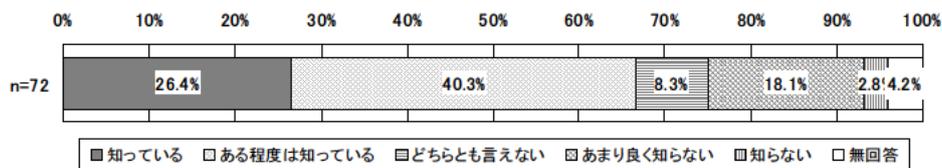
図表Ⅱ-3-26 解説付き番組の認知状況 Q8 (単数回答) n=339



(2) 解説付きで利用できる番組の認知状況

解説付き番組を「知っていた」と回答した人(21.2%)に、解説付きで利用できる番組の認知状況について尋ねたところ、「知っている」(26.4%)、「ある程度は知っている」(40.3%)を合わせた66.7%が認知している一方、「あまり良く知らない」(8.3%)、「知らない」(18.1%)を合わせた26.4%は、どんな番組が解説付きで利用できるかを認知していない。

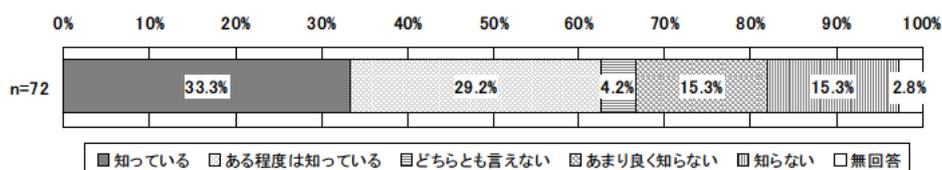
図表Ⅱ-3-27 解説付きで利用できる番組の認知状況 Q8-1 (単数回答) n=72



(3) 解説を聞くための操作方法の認知状況

解説付き番組を「知っていた」と回答した人（21.2%）に、解説を聞くための操作方法の認知状況について尋ねたところ、「知っている」（33.3%）、「ある程度は知っている」（29.2%）を合わせた62.5%が認知している一方、「あまり良く知らない」（15.3%）、「知らない」（15.3%）を合わせた30.6%は、解説を聞くための操作方法を認知していない。

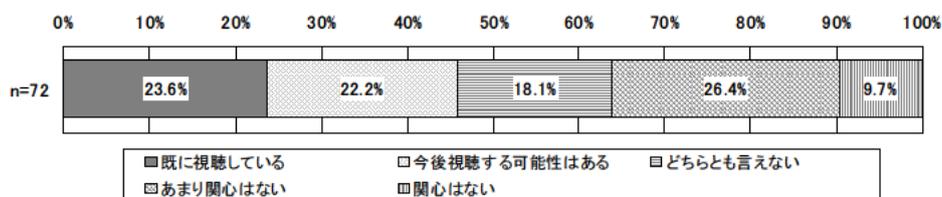
図表Ⅱ-3-28 解説を聞くための操作方法の認知状況 Q8-2（単数回答）n=72



(4) 解説付き番組を利用することへの関心

解説付き番組を利用することに関心を持っているかについて尋ねたところ、「既に視聴している」（23.6%）、「今後視聴する可能性はある」（22.2%）を合わせた45.8%は関心がある。一方、「あまり関心はない」（26.4%）、「関心はない」（9.7%）を合わせた36.1%は関心がない。

図表Ⅱ-3-29 解説付き番組を利用することへの関心 Q9（単数回答）n=72

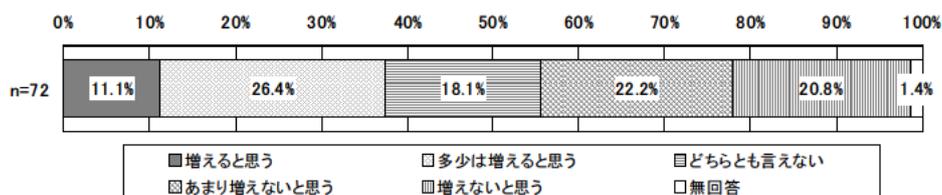


(5) 解説付き番組増加後にテレビの利用時間が変化するというか

解説付き番組が増えればテレビを利用する時間は増えるかについて尋ねたところ、「増えると思う」(11.1%)、「多少は増えると思う」(26.4%)を合わせた37.5%は増えると思っている。一方、「あまり増えないと思う」(22.2%)、「増えないと思う」(20.8%)を合わせた43.0%は増えないと思っている。

図表Ⅱ-3-30 解説付き番組増加後にテレビの利用時間が変化するというか

Q10 (単数回答) n=72



解説付き番組が増えれば、テレビを利用する時間が増えると思うかについて、上記で回答した理由について尋ねたところ、以下の意見があげられている。

図表Ⅱ-3-31 解説付き番組が増えれば、テレビを利用する時間が増えると思うかの判断理由 Q10-1 (自由記入)

<増えると思う>

- 理解が深まるから
 - ・美術、古典芸能等に解説があれば増えると思う。
 - ・番組への関心、理解がより深まる。
 - ・情報の多様化、最新の科学技術等解説が必要な場面が多くなるから。
 - ・知識が増える。
- 理解力の低下を補ってくれるから
 - ・加齢とともに理解力や認知力が低下することを補ってくれる。

<どちらとも言えない・増えないと思う>

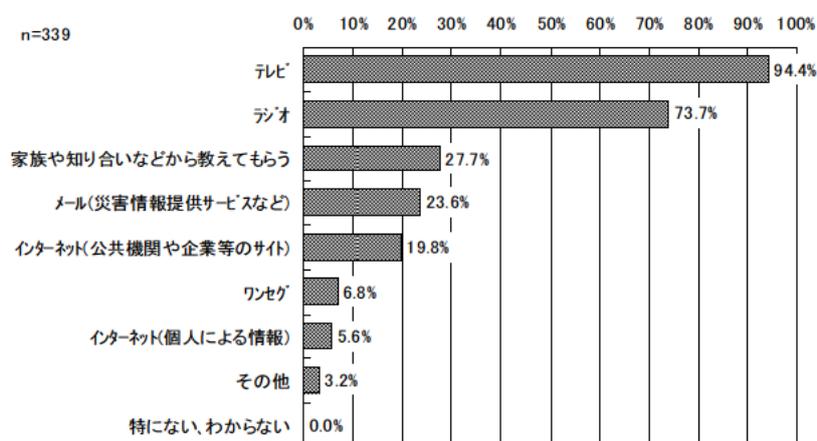
- 加齢に伴い、テレビを見ること自体減る
 - ・加齢に伴い、テレビを見る頻度が低下してきた。
- 自分の見解をまとめる自由が減る
 - ・情報を選択して自分の見解をまとめる自由が減る。
 - ・いちいち説明があると、内容の理解に集中できない。
 - ・解説者がいれば十分である。

3.2.5 緊急時・災害時の情報提供について

(1) 緊急時・災害時に情報入手手段として期待しているもの

緊急時・災害時情報入手手段として期待しているものについて尋ねたところ、「テレビ」が94.4%で最も割合が高く、「ラジオ」が73.7%が続いている。

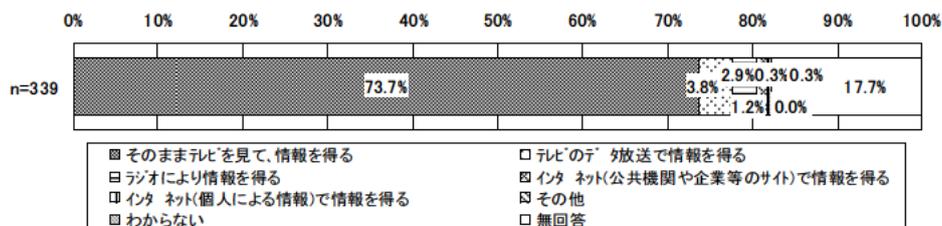
図表Ⅱ 3 32 緊急時・災害時に情報入手手段として期待しているもの Q11
(複数回答) n=339



(2) 緊急時・災害時により詳しい情報を知りたい際の対応方法

緊急時・災害時において、テレビ番組の放送中に緊急ニュース（地震発生、天気急変、重大ニュース等）が入った場合、テロップで第一報が流れ、場合によっては通常の番組を中断して臨時報道番組が放送されることがあるが、テロップで第一報を見て、より詳しい情報を知りたいと思った時、普段、どのような対応をしているかについて尋ねたところ、「そのままテレビを見て、情報を得る」が73.7%と7割強を占めている。その他の方法の回答はいずれもごくわずかである。

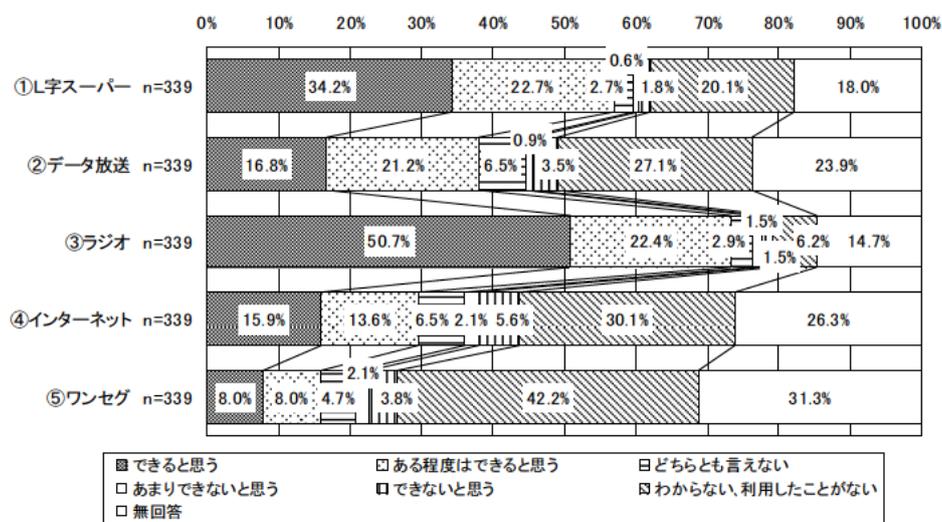
図表Ⅱ 3 33 緊急時・災害時により詳しい情報を知りたい際の対応方法 Q12
(単数回答) n=339



(3) 緊急時・災害時における各種メディアからの必要な情報入手

緊急時・災害時において、テレビ番組に字幕や手話が付けられていない場合であっても、①L字スーパー、②データ放送、③ラジオ、④インターネット、⑤ワンセグによって情報が提供されている場合があるが、これらの方法によって必要な情報を入手することができると思うかについて尋ねたところ、「①L字スーパー」については、「できると思う」(34.2%)、「ある程度はできると思う」(22.7%)を合わせた56.9%ができると思うと回答しているが、「②データ放送」は38.0%（「できると思う」16.8%、「ある程度はできると思う」21.2%）、「③ラジオ」は73.1%（「できると思う」50.7%、「ある程度はできると思う」22.4%）、「④インターネット」は29.5%（「できると思う」15.9%、「ある程度はできると思う」13.6%）、「⑤ワンセグ」は16.0%（「できると思う」8.0%、「ある程度はできると思う」8.0%）となっている。

図表 II 3 34 緊急時・災害時、各種メディアから必要な情報を入手できると思うか
Q13 (単数回答) n=339



上記の方法による情報入手について、「あまりできないと思う」「できないと思う」いずれかに回答した人は、L字スーパー2.4%、データ放送4.4%、ラジオ3.0%、インターネット7.7%、ワンセグ5.9%であった。できないと思う理由としては、以下の意見があげられている。

図表Ⅱ 3 35 緊急時・災害時、各種メディアから必要な情報が入手できるかの判断理由 Q13 1 (自由記入)

<p>■①L字ス パ</p> <ul style="list-style-type: none">・停電になればできない。 <p>■②デ タ放送</p> <ul style="list-style-type: none">・使い方が分からない。見たことがない。 <p>■③ラジオ</p> <ul style="list-style-type: none">・特に指摘事項なし。 <p>■④インタ ネット</p> <ul style="list-style-type: none">・急いで見る時は起動まで手間がかかる。・契約していない。・高齢者にとって、テレビの方が便利である。・使い方が分からない。使用経験がない。 <p>■⑤ワンセグ</p> <ul style="list-style-type: none">・移動しながらワンセグを見るのはしんどい。・使用経験がない。 <p>■①～⑤全般</p> <ul style="list-style-type: none">・停電になれば利用できない。・日頃身近に使用している機器以外では情報入手は無理。 <p>■情報入手手段を知っているかどうか</p> <ul style="list-style-type: none">・できる人もいれば、できない人もいる。要は情報の入手手段を知っているかが左右する。
--

(4)緊急時・災害時の情報入手に関する要望・課題

緊急時・災害時の情報入手に関する要望や課題等について尋ねたところ、以下の意見があげられている。

図表Ⅱ 3 36 緊急時・災害時の情報入手に関する要望・課題 Q14 (自由記入)

<p>■情報は迅速に提供</p> <ul style="list-style-type: none">・予測される被害の範囲、避難指示を迅速に出して欲しい。・携帯電話で瞬時に状況が分かるようにして欲しい。・行政から各自治会や町区に迅速に情報を提供し、それらの組織から、独居高齢者等に被災情報を知らせるようにして欲しい。

・緊急時は視聴していない場合でも自動的にスイッチが入り情報が提供されるとよい。

■情報は繰り返し流す

・できる限りテレビを消さないか、繰り返し放送して欲しい。

■住んでいる地域の情報の正確・詳細な情報提供

・交通情報、病院状況、障害者への対応等身近な地域のきめ細かな情報を繰り返し提供して欲しい。

・市等公の機関で一斉放送して欲しい。

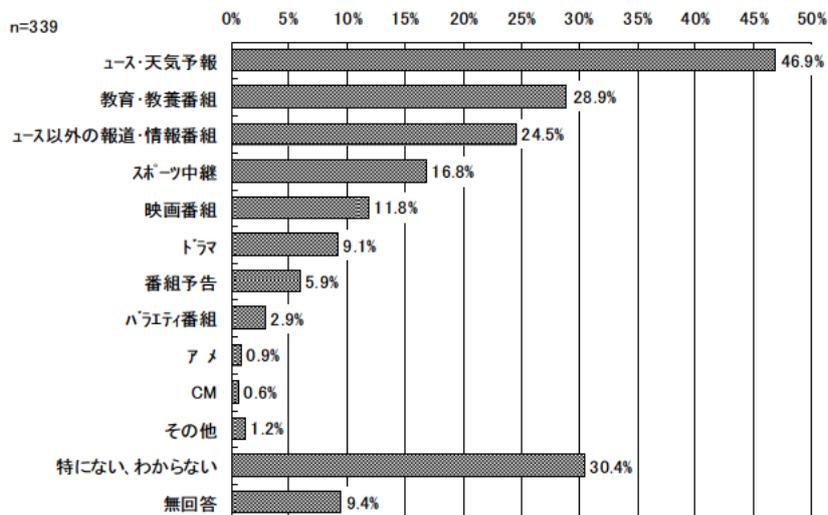
3.2.6 字幕付き番組・手話付き番組への要望等について

(1) 字幕付き番組や手話付き番組を増やして欲しい番組ジャンル

①字幕付き番組を増やして欲しい番組ジャンル

字幕付き番組を増やして欲しい番組ジャンルについて尋ねたところ、「ニュース・天気予報」が46.9%で最も割合が高く、ついで「教育・教養番組」が28.9%、「ニュース以外の報道・情報番組」が24.5%、で続いている。

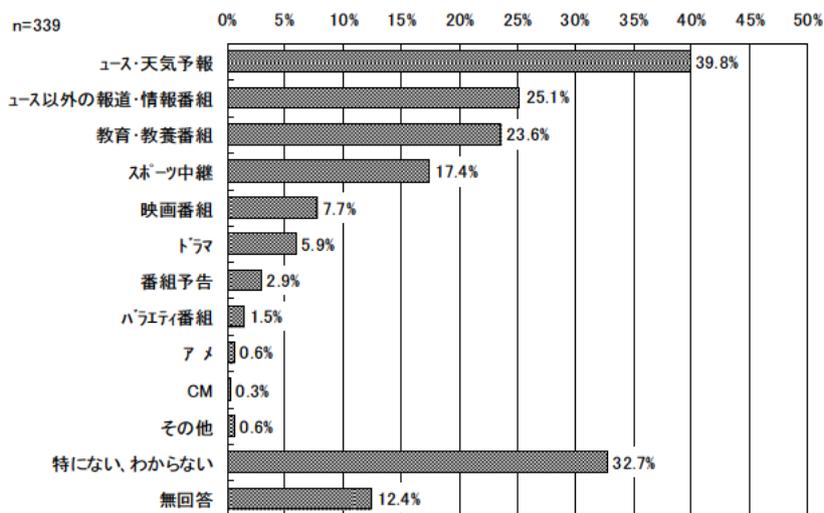
図表Ⅱ 3 37 字幕付き番組を増やして欲しい番組ジャンル Q15(1) (複数回答) n=339



②解説付き番組を増やして欲しい番組ジャンル

解説付き番組を増やして欲しい番組ジャンルについて尋ねたところ、「ニュース・天気予報」が39.8%で最も割合が高く、ついで「ニュース以外の報道・情報番組」が25.1%、「教育・教養番組」が23.6%で続いている。

図表Ⅱ 3 38 解説付き番組を増やして欲しい番組ジャンル Q15(2) (複数回答) n=339



(2) 字幕付き番組や手話付き番組に対する要望等

①字幕付き番組に対する要望等

字幕付き番組に対する要望等について尋ねたところ、以下の意見があげられている。

図表Ⅱ 3 39 字幕付き番組に対する要望等 Q16(1) (自由記入)

■字幕の位置

- ・字幕が白のゴシック書体で、画面の白服上では読めない。
- ・画面と字幕ブックを別にして欲しい。
- ・画面中央に出ることがあるがやめて欲しい。

■字幕の速さ

- ・字幕が速く消えるため読みにくい。ゆっくり流して欲しい。

■字幕の文字、文章

- ・長文ではなく簡潔な文章にして欲しい。
- ・もう少し文字の大きさを小さくしてもよいのではないか。
- ・字幕は大きい字であれば読みやすい。

②解説付き番組に対する要望等

解説付き番組に対する要望等について尋ねたところ、以下の意見があげられている。

図表Ⅱ 3 40 解説付き番組に対する要望等 Q16(2) (自由記入)

■解説の速さ

- ・ ゆっくりとした口調でお願いしたい。

■解説の簡潔さ、分かりやすさ

- ・ 要点を短く正確に、簡潔に、くどくならないようにして欲しい。

(3) BS放送やCS放送、CATVの独自チャンネルにおける字幕放送や手話放送に対する意見等

BS放送やCS放送、CATVの独自チャンネルにおける字幕放送や手話放送に対して、以下の意見があげられている。

図表Ⅱ 3 41 BS放送やCS放送、CATVの独自チャンネルにおける字幕放送や手話放送に対する意見等 Q17 (自由記入)

■字幕の文字書体

- ・ BS放送等で、画面によって字幕の文字が読みにくい場合がある。読みやすい書体でお願いしたい。

■字幕の速さ

- ・ 字幕が早く消えてしまうので、内容を十分理解できない。

■より多くの番組に対応されたい

- ・ 難聴者が増えるのであるから、より多くの番組に対応を図って欲しい。